

第2期子ども・子育て支援事業計画 策定に係るニーズ調査報告書

平成31年3月
酒田市

目次

I. 調査概要	1
1. 調査目的	1
2. 調査内容	1
3. 調査期間	2
4. 有効回答件数・回答率	2
5. 標本誤差	3
6. 調査実施機関	3
7. 注意事項	4
II. 調査のまとめ	5
III. 調査結果	7
1. 子どもと家族の状況について	7
(1)居住地区（学区）	7
(2)子どもの年齢	7
(3)子どもの性別	8
(4)きょうだい数	8
(5)回答者	8
(6)配偶関係(夫または妻)について	9
(7)子育て（教育を含む）を主に行っている方	9
2. 子どもの育成環境について	10
(1)子育て（教育を含む）に日常的に関わっている方	10
(2)子どもの子育て（教育を含む）に影響すると思われる環境	11
(3)子どもとの同居・近居の状況	11
(4)子どもをみてもらえる親族・知人	12
(5)子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人について	13
(6)気軽に相談できる場所	15
3. 子どもの保護者の就労状況について	17
(1)母親の現在の就労状況	17
(2)父親の現在の就労状況	19
(3)母親のフルタイムへの転換希望	22
(4)父親のフルタイムへの転換希望	22
(5)母親の就労したいという希望	23
(6)父親の就労したいという希望	25
(7)母親の出産前後の就労状況について	26
4. 子どもの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について	28
(1)定期的に子どもを預けるサービスを利用しているか(就学前児童調査のみ)	28
(2)「定期的に」利用したいと考える事業について(就学前児童調査のみ)	32

5.子どもの地域の子育て支援拠点事業の利用状況について	35
(1)地域子育て支援拠点事業の利用について	35
(2)今後の利用、あるいは利用日数増加の意向.....	37
(3)酒田市の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後利用したいと思うもの	40
6.子どもの土曜・休日や長期休暇中の「定期的な」教育・保育事業の利用希望について	41
(1)土曜日の定期的な教育・保育の事業の利用希望（一時的な利用は除く）	41
(2)日曜日・祝日の定期的な教育・保育の事業の利用希望（一時的な利用は除く）	42
(3)土曜日、日曜日・祝日にたまに利用したい理由(就学前児童調査のみ)	43
(4)長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用希望(就学前児童調査のみ)	43
(5)長期の休暇期間中にたまに利用したい理由(就学前児童調査のみ)	44
7.子どもの病気の際の対応について（平日の教育・保育を利用する方のみ）	45
(1)通常の事業が利用できなかったことはありますか（就学前児童調査のみ）	45
(2)「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思ったか	46
(3)病児・病後児保育施設等の望ましい事業形態.....	47
(4)病児・病後児保育施設等を「利用したいと思わない」理由	47
(5)父母が看られなかった際に「父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思ったか	48
8.子どもの不規則の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について	49
(1)不規則に利用している事業はありますか	49
(2)利用希望の有無	50
(3)泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないこと	52
9.子どもの小学校就学後の放課後の過ごし方について.....	55
(1)【小学校低学年】放課後の子どもの過ごさせ方の希望	55
(2)【小学校高学年】放課後の子どもの過ごさせ方の希望	57
(3)土曜日と日曜日・祝日の放課後児童クラブの利用希望（1）土曜日	58
(4)土曜日と日曜日・祝日の放課後児童クラブの利用希望（2）日曜日・祝日	60
(5)長期の休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望	61
10.育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について	63
(1)育児休業の取得状況	63
(2)育児休業を取得していない理由	64
(3) 育児休業給付、保険料免除の制度について	66
(4)職場復帰について.....	66
(5)職場に復帰したタイミング	67
(6)実際に育児休業を取得した子どもの年齢	68
(7)希望として育児休業を取りたかった子どもの年齢	68
(8) 3歳まで育児休業が取得できる場合の、親が休業を希望する子どもの年齢.....	69
(9)実際の希望よりも早く職場復帰した理由	70
(10)実際の希望よりも遅く職場復帰した理由	71
(11)短時間勤務制度の利用について.....	71

IV. 酒田市の子育て、および次世代育成への取り組みに対する市民意識.....	75
1. 子育ての環境や支援に対する保護者意識調査	75
(1)酒田市の子育て支援への満足感	75
(2)子育てに関する不安や負担感	76
(3)希望通りに保育サービスを利用できているか	77
(4)子どもの教育環境の整備への取り組みの評価	78
(5)環境づくりへの評価	79
(6)地域における交通安全活動や防犯活動への評価.....	80
(7)特別な支援を必要とする子どもに対しての支援体制への評価	81
(8)子どもを虐待しているのではないかと思うこと.....	82
(9)発達支援に関する相談先の認知度	84
(10)子どもの遊び場について	85
(11)子どもの外出の際、困ること	86
(12)子育て環境の充実のための支援策	87
(13)希望する生活の優先度	88
(14)現実の生活の優先度	88
2. 子育てに関する高校生意識調査	89
(1)乳幼児とふれあった経験の有無	89
(2)子育てに関するイメージ	89
(3)卒業後の進路.....	90
(4)将来の酒田市での生活や子育てをしたいと思うか.....	92
(5)進学や就職で大都市圏に転出した若者を酒田に呼び戻すためにあればいいこと	93
V. 量の見込みについて	95
1. 人口推計	95
2. 量の見込みの算出方法.....	96
3. 量の見込み	98
4. まとめ	100

I. 調査概要

1. 調査目的

第2期子ども・子育て支援事業計画（計画期間：2020年～2024年）策定の基礎資料とするためアンケートによるニーズ調査を実施する。

2. 調査内容

調査票の種類、調査対象、件数、調査内容は下表のとおり。

図表 1.1

①調査票「酒田市子ども・子育て支援事業計画ニーズ調査（就学前児童用）」	
調査対象者	就学前児童の保護者
調査件数	1,000件
調査内容	<ol style="list-style-type: none">1. 居住地域について2. 子どもと家族の状況について3. 子どもの育成環境について4. 子どもの保護者の就労状況について5. 子どもの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について6. 子どもの地域の子育て支援拠点事業の利用状況について7. 子どもの土曜・休日や長期休暇中の「定期的な」教育・保育事業の利用希望について8. 子どもの病気の際の対応について（平日の教育・保育を利用する方のみ）9. 子どもの不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について10. 子どもの小学校就学後の放課後の過ごし方について11. 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について12. 「妊娠から出産までの支援」について13. 子育てに関する不安感・負担感について14. 「学校、地域の教育環境づくり」について15. 「子育てにやさしく安全な生活環境づくり、子どもに安全なまちの環境づくり」について16. 「児童虐待やひとり親家庭、障がい児など特別な支援を必要とする子どもや家庭を支える環境づくり」について17. 「子どもの虐待」について18. 「子どもの発達支援」について19. 子育ての環境について20. 生活の優先度について21. 市の子育て支援施策について
調査方法	郵送調査
②調査票「酒田市子ども・子育て支援事業計画ニーズ調査（小学生用）」	
調査対象者	小学生の保護者
調査件数	1,000件
調査内容	<ol style="list-style-type: none">1. 居住地域について2. 子どもと家族の状況について3. 子どもの育成環境について4. 子どもの保護者の就労状況について5. 子どもの地域の子育て支援拠点事業の利用状況について6. 子どもの病気の際の対応について7. 子どもの不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について8. 子どもの小学校就学後の放課後の過ごし方について

	<ul style="list-style-type: none"> 9. 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について 10. 「妊娠から出産までの支援」について 11. 子育てに関しての不安感・負担感について 12. 「学校、地域の教育環境づくり」について 13. 「子育てにやさしく安全な生活環境づくり、子どもに安全なまちの環境づくり」について 14. 「児童虐待やひとり親家庭、障がい児など特別な支援を必要とする子どもや家庭を支える環境づくり」について 15. 「子どもの虐待」について 16. 「子どもの発達支援」について 17. 子育ての環境について 18. 生活の優先度について 19. 市の子育て支援施策について
調査方法	郵送調査
③調査票「酒田市子ども・子育て支援事業計画ニーズ調査（高校生用）」	
調査対象者	酒田西高校、酒田南高校に在籍する高校生
調査件数	350 件
調査内容	<ul style="list-style-type: none"> 1. 乳幼児とふれあった経験の有無 2. 子育てに関するイメージ 3. 予定している卒業後の進路 <ul style="list-style-type: none"> 3-1. 市内と市外のどちらを希望するか 3-2. 将来、酒田市に戻りたいと思うか 3-3. （戻りたい場合）戻りたい年齢 4. 将来、酒田市で生活や子育てをしたいと思うか <ul style="list-style-type: none"> 4-1. 「思う」理由 4-2. 「思わない」理由 5. 進学や就職で大都市圏に転出した若者を酒田に呼び戻すためにあればいいこと 6. 意見・要望
調査方法	対象高校への直接配布

※①調査票「酒田市子ども・子育て支援事業計画ニーズ調査（就学前児童用）」は、以下「就学前児童調査」と表記する。

※②調査票「酒田市子ども・子育て支援事業計画ニーズ調査（小学生用）」は、以下「小学生調査」と表記する。

※③調査票「酒田市子ども・子育て支援事業計画ニーズ調査（高校生用）」は、以下「高校生調査」と表記する。

3. 調査期間

平成 31 年 1 月 11 日（金）～平成 31 年 2 月 1 日（金）

4. 有効回答件数・回答率

調査対象	調査対象件数	有効回答件数	回答率
就学前児童調査	1,000 件	371 件	37.1%
小学生調査	1,000 件	408 件	40.8%
高校生調査	350 件	328 件	93.7%

5. 標本誤差

調査結果には統計上多少の誤差が生じるため、一般的に調査結果を見る場合には一定の幅を持たせる必要があります。その幅を標本誤差といい、信頼係数 95%における誤差は次のようになります。

(1) 就学前児童（平成24年4月2日以降生まれ）：母集団 4,384 人／サンプル数 371 人

回答比率	標本誤差	信頼範囲
10% (90%)	±1.0	9.0~11.0(89.0~91.0)
20% (80%)	±1.9	18.1~21.9(78.1~81.9)
30% (70%)	±2.9	27.1~32.9(67.1~72.9)
40% (60%)	±3.9	36.1~43.9(56.1~63.9)
50%	±4.9	45.1~54.9

(2) 小学生（平成18年4月2日~平成24年4月1日生まれ）
：母集団 4,681 人／サンプル数 408 人

回答比率	標本誤差	信頼範囲
10% (90%)	±0.9	9.1~10.9(89.1~90.9)
20% (80%)	±1.9	18.1~21.9(78.1~81.9)
30% (70%)	±2.8	27.2~32.8(67.2~72.8)
40% (60%)	±3.7	36.3~43.7(56.3~63.7)
50%	±4.6	45.4~54.6

(3) 高校生：母集団 1,704 人／サンプル数 328 人

回答比率	標本誤差	信頼範囲
10% (90%)	±1.0	9.0~11.0(89.0~91.0)
20% (80%)	±1.9	18.1~21.9(78.1~81.9)
30% (70%)	±2.9	27.1~32.9(67.1~72.9)
40% (60%)	±3.9	36.1~43.9(56.1~63.9)
50%	±4.9	45.1~54.9

※高校生調査は酒田西高、酒田南高を対象としている。

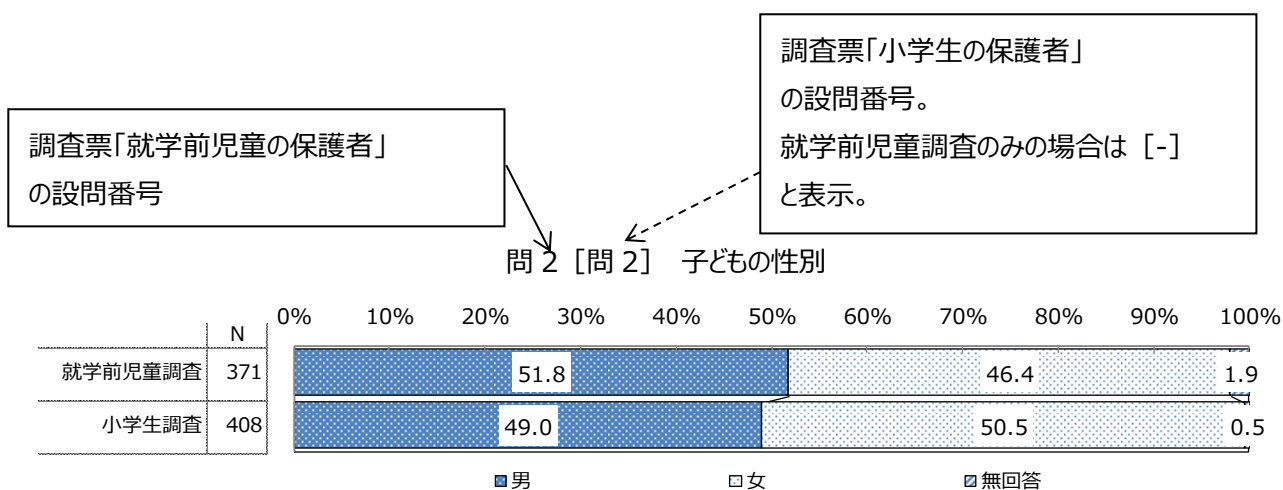
※高校生調査の N（母集団）人数は山形県学校名鑑（平成30年5月1日現在）を参照し普通科、全日制の生徒数を対象としている。

6. 調査実施機関

株式会社東京商工リサーチ

7. 注意事項

- 図表中の「N」（Number of cases の略）とは、設問に対する回答者の総数を示しており、回答者の構成比（%）を算出するための基数となる。
- 特に説明がない限り、表は表側合計のみ実数で他は構成比率（%）となる。
- 無回答及び調査票の指示より外れた回答は除外して集計している。
- 図表中の構成比は、小数点第2位以下を四捨五入しているため、必ずしも100%とならないことがある。
- 複数回答の設問は、回答が2つ以上ありうるため、合計は100%を超えることもある。
- 回答数が5件未満の設問については、参考値とし、原則コメントは控える。
- グラフの見方については下記の通り。



II. 調査のまとめ

①子育ての環境

教育を含む子育てを主に行っている人について、「両親で行っている家庭」が、就学前児童調査で過半数、小学生調査では6割と最も多く、「主に母親が行っている家庭」が、どちらの調査でも3割台で続く。また、子育てや家事の具体的な役割分担について、すべての項目で「母親」の割合が最も高くなっており、就学前児童調査では5割～7割、小学生調査でも4割～7割と、育児や家事の負担が母親に偏る傾向がみられる。(問6 [問6]、問6-1 [問6-1])

周囲からの支援については、「祖父母等の親族や友人・知人に日常的に預かってもらえる家庭」は、就学前児童調査では約4割、小学生調査では約5割、「緊急時や用事の際に親族や友人・知人に預かってもらえる家庭」は、就学前児童調査では約6割、小学生調査では約5割となっており、半数程度の家庭はなんらかの支援を受けられる状況となっている。一方で、「周囲に協力者がいない家庭」は、就学前児童調査では1割、小学生調査でも1割未満であるが存在する。また、協力を得られるとする家庭も、協力者に身体的・精神的な負担をかけることを心配する層も一定の割合で存在しており、負担の軽減につながる支援が必要と考えられる。(問10 [問10]、問10-1 [問10-1])

②子育てに関する相談相手

教育を含む子育てについての相談相手として、就学前児童調査では配偶者が約9割、配偶者以外の親族が約7割、小学生調査では配偶者が約8割、配偶者以外の親族が約6割となっている。一方で、児童センターや子育て支援センターなどの相談機能を持つ公的機関を相談相手としているのは、就学前児童調査では1割、小学生調査では2%弱となっている。(問11-1 [問11-1])

市が実施する事業の利用状況については、「ぎゅっと」(母子相談室)は、開設から2年足らずということもあり利用率は約2割に止まるが、就学前児童調査では、認知度が7割以上であり、今後の利用希望も約4割と高いため、事業の展開次第で大きな成果が期待できる。また、「教育相談室」、「家庭児童相談室」は、小学生調査では認知度が3割台、利用率はいずれも1割未満と低く、事業の周知や利活用の促進が課題といえる。(問22 [問20])

③保護者の就労状況

保護者のうち母親が就労している家庭の割合は、就学前児童調査で約8割、小学生調査で約9割(産休・育休・介護・病気休業中を含む)となっている。また、就労している母親の出勤時間は「午前8時頃」、帰宅時間は「午後6時頃」の割合が最も高くなっている。そのため、教育・保育事業の運営について、主に育児や家事を担っている母親の出勤や帰宅の現状に合ったものであるか検討が必要といえる。(問14 (1) [問14 (1)]、問14 (1) -2 [問14 (1) -2] 出勤時間、帰宅時間)

④平日の定期的な教育・保育事業の現状と今後の利用希望

平日の定期的な教育・保育事業を利用している家庭は約7割、利用していない家庭は約3割となっている。現在の利用状況と今後の利用希望で最も割合が高いのは、ともに「認可保育所」で、約6割となっている。また、現在の利用状況と今後の利用希望を比較した場合の伸び率では、「幼稚園」が25.0ポイント、「幼稚園の預かり保育」が20.3ポイント、「認定こども園」が17.8ポイントとなっており、今後利用の増加が見込まれる。(問18-1、問19)

⑤教育・保育事業を利用しない家庭

定期的な教育・保育事業を利用しない理由について、「(子どもの教育や発達のため母親等が就労していないため) 利用する必要がない」と「子どもがまだ小さいため」がともに約4割、「子どもの祖

父母や親戚の人がみている」が約3割となっている。定期的な教育・保育事業を利用しない家庭は、両親のいずれかが専業主婦(夫)として家にいるか、祖父母の支援を受けられる家庭が多い。(問 18-5)

⑥子育て支援事業

「家庭教育に関する講座」と「教育相談室」について、就学前児童調査では、利用したことがある人は1%～2%台でありながら、今後利用したい人はいずれも2割台となっており、現在の利用率を今後の利用希望の割合が20ポイント以上上回った。事業の周知を図るとともに、利用しやすい事業内容とすることで、利用の促進が可能と考えられる。また、小学生調査においては、現在の利用率を今後の利用希望の割合が20ポイント以上上回る事業はなかったが、「家庭教育に関する講座」が10ポイント以上上回っている。(問 22 [問 20])

一方で、マタニティ教室は、現在の利用率を今後の利用希望の割合が下回る結果となった。利用者の中に、今後利用したくないと考えた人がいる可能性があるため、別途、利用者アンケートを取るなどして、継続利用をためらう理由があるのか、もしくは一回の参加で満足できる内容だったのかなど理由を深掘りすることが必要と思われる。

⑦小学校児童の放課後の過ごし方

放課後の過ごし方の希望(低学年時と高学年時で区分)について、「自宅」を希望する割合は、就学前児童調査と小学生調査のどちらでも、低学年で約5割、高学年が約7割となっている。「習い事」を希望する割合は、就学前児童調査では、低学年で約4割、高学年が約5割であり、小学生調査では、低学年で約4割、高学年で約6割となっている。一方、「放課後児童クラブ(学童保育)」は、就学前児童調査では、低学年で約5割、高学年が約3割であり、小学生調査では、低学年で約4割、高学年が約2割となっている。このことから、低学年では、学童保育の需要が比較的高いが、学年に進むにつれて自宅や習い事で放課後を過ごす子どもが多くなることが推測される。(問 29[問 25]、問 30 [問 26])

⑧子育て支援への満足度

子育て支援の環境や支援に対する満足度について、就学前児童調査では「どちらかといえば満足している」が約4割、小学生調査では「どちらともいえない・わからない」が約3割で最も割合が高い。また、「満足している」と「どちらかといえば満足している」を合わせた割合では、就学前児童調査では約6割、小学生調査では約5割であり、小学生調査の方が満足度が低くなっている。(問 34 [問 30])

また、希望する生活の優先度について、「育児」の割合が、就学前児童調査では約8割、小学生調査では約7割でありともに最も高い。一方で、現実の生活の優先度は、就学前児童調査では、「育児」と「仕事」がともに約4割、小学生調査では、「仕事」が約6割で最も割合が高くなっている。このことから、仕事と家庭の両立支援もさることながら、育児(子育て)に集中できる環境づくりのための施策も肝要と考えられる。(問 46 [問 42])

⑨希望する子育て環境支援

子育て環境を充実するために希望することとして、「子連れでも出かけやすく楽しめる場所を増やしてほしい(大型遊戯施設など)」、「冬期間や雨天時に屋内で子どもが安心して遊べる場所をもっと増やしてほしい」が、就学前児童調査で約6割、小学生調査で約5割と最も高い割合となっている。また、自由記載でも、近隣の鶴岡市などの施設についての意見が散見されるなど、酒田市内に同様の施設を希望する声があることがうかがえる。(問 45 [問 41])

Ⅲ. 調査結果

1.子どもと家族の状況について

(1)居住地区（学区）

就学前児童調査では、無回答を除き「松原小学区」が11.1%と最も高く、次いで「亀ヶ崎小学区」が10.0%、「若浜小学区」が8.4%となっている。

小学生調査では、無回答を除き「亀ヶ崎小学区」が9.3%と最も高く、次いで「松原小学区」が8.6%、「松陵小学区」が8.1%となっている。

問1 [問1] 居住地区（学区）

地区	就学前児童調査		小学生調査		地区	就学前児童調査		小学生調査	
	N	%	N	%		N	%	N	%
全体	371	100.0	408	100.0	浜中小学区	4	1.1	4	1.0
琢成小学区	13	3.5	9	2.2	黒森小学区	2	0.5	3	0.7
浜田小学区	20	5.4	11	2.7	十坂小学区	11	3.0	16	3.9
若浜小学区	31	8.4	28	6.9	宮野浦小学区	29	7.8	27	6.6
富士見小学区	28	7.5	28	6.9	平田小学区	9	2.4	20	4.9
亀ヶ崎小学区	37	10.0	38	9.3	鳥海小学区	10	2.7	17	4.2
松原小学区	41	11.1	35	8.6	一條小学区	6	1.6	5	1.2
松陵小学区	12	3.2	33	8.1	八幡小学区	6	1.6	11	2.7
泉小学区	23	6.2	31	7.6	松山小学区	7	1.9	8	2.0
飛島小学区	0	0.0	0	0.0	田沢小学区	2	0.5	1	0.2
西荒瀬小学区	12	3.2	7	1.7	南平田小学区	16	4.3	15	3.7
新堀小学区	6	1.6	4	1.0	無回答	42	11.3	52	12.7
広野小学区	4	1.1	5	1.2					

■ 上位1位 ■ 上位2位 ■ 上位3位

(2)子どもの年齢

就学前児童調査では、「0歳」が18.9%と最も高く、次いで「5歳」が16.7%、「4歳」が15.1%となっている。

小学生調査では、「10歳」が18.6%と最も高く、次いで「9歳」が17.4%、「11歳」が17.2%となっている。

問2 [問2] 子どもの年齢

	N	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	無回答
就学前児童調査	371	18.9	12.9	14.3	14.0	15.1	16.7	8.1

■ 上位1位 ■ 上位2位 ■ 上位3位

	N	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳	12歳	無回答
小学生調査	408	3.4	13.7	16.7	17.4	18.6	17.2	11.8	1.2

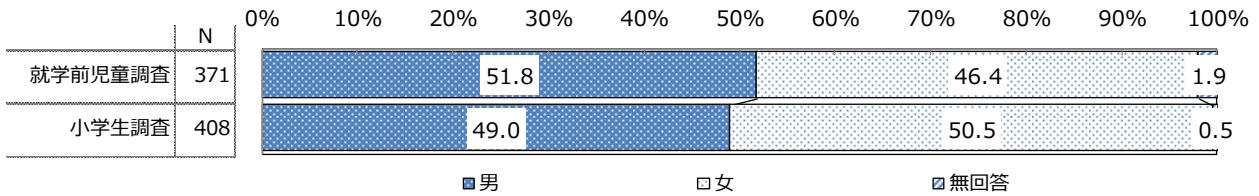
■ 上位1位 ■ 上位2位 ■ 上位3位

(3)子どもの性別

就学前児童調査では、「男」が51.8%、「女」が46.4%、「無回答」が1.9%となっている。

小学生調査では、「女」が50.5%、「男」が49.0%、「無回答」が0.5%となっている。

問2 [問2] 子どもの性別

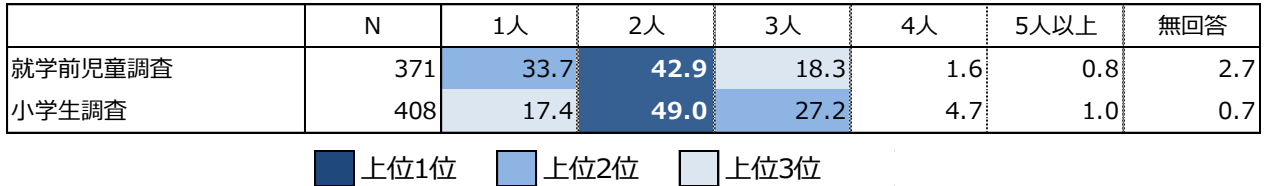


(4)きょうだい数

就学前児童調査では、「2人」が42.9%と最も高く、次いで「1人」が33.7%、「3人」が18.3%となっている。

小学生調査では、「2人」が49.0%と最も高く、次いで「3人」が27.2%、「1人」が17.4%となっている。

問3 [問3] きょうだい数

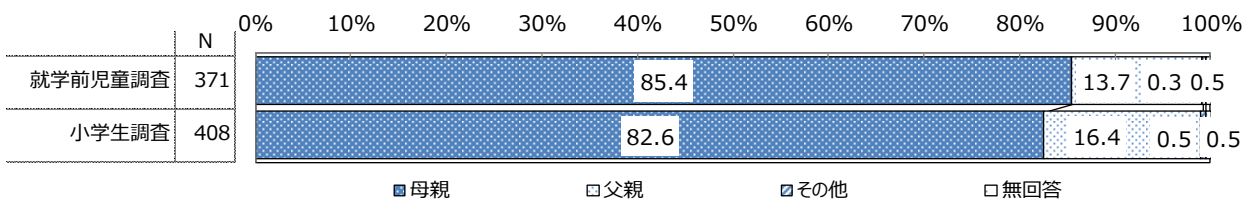


(5)回答者

就学前児童調査では、「母親」が85.4%と最も高く、次いで「父親」が13.7%、「無回答」が0.5%となっている。

小学生調査では、「母親」が82.6%と最も高く、次いで「父親」が16.4%、「その他」及び「無回答」が0.5%となっている。

問4 [問4] 回答者

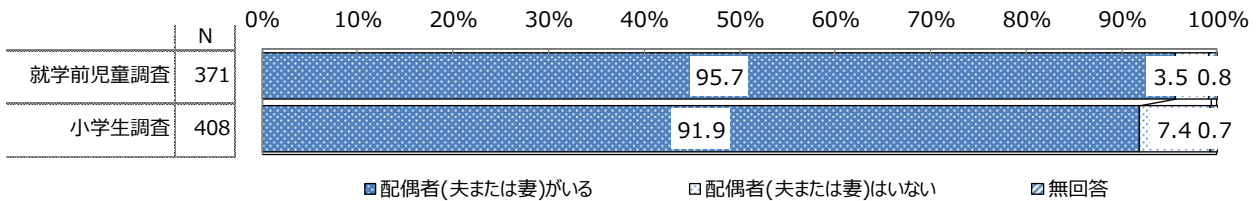


(6)配偶関係(夫または妻)について

就学前児童調査では、「配偶者(夫または妻)がいる」が95.7%、次いで「配偶者(夫または妻)はいない」が3.5%となっている。

小学生調査では、「配偶者(夫または妻)がいる」が91.9%、次いで「配偶者(夫または妻)はいない」が7.4%となっている。

問5 [問5] 配偶関係(夫または妻)について

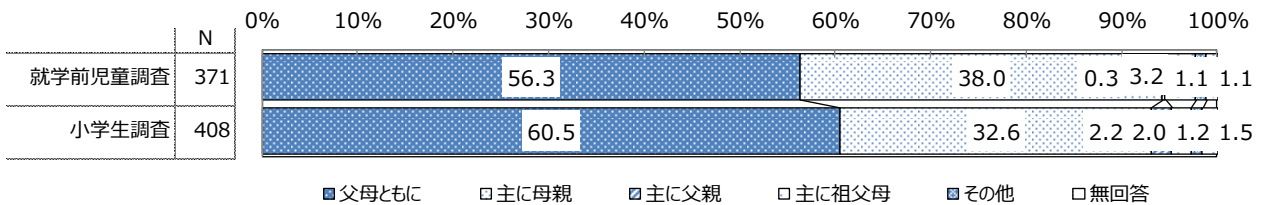


(7)子育て(教育を含む)を主に行っている方

就学前児童調査では、「父母ともに」が56.3%と最も高く、次いで「主に母親」が38.0%、「主に祖父母」が3.2%となっている。

小学生調査では、「父母ともに」が60.5%と最も高く、次いで「主に母親」が32.6%、「主に父親」が2.2%となっている。

問6 [問6] 子育て(教育を含む)を主に行っている方



問6-1 [問6-1] 子育て(教育を含む)を主に行っている方(具体的な項目別)

就学前児童調査

小学生調査

具体的な子育てや家事の分担	N	母親	父親	祖父母	その他	無回答	具体的な子育てや家事の分担	N	母親	父親	祖父母	その他	無回答
ア. 食事を作る	371	74.9	3.2	16.2	5.1	0.5	ア. 食事を作る	408	67.6	2.5	22.1	7.4	0.5
イ. 洗濯をする	371	69.3	11.1	11.3	7.8	0.5	イ. 洗濯をする	408	72.3	9.6	11.0	6.4	0.7
ウ. 掃除をする	371	73.0	8.4	8.6	9.4	0.5	ウ. 掃除をする	408	70.3	9.8	12.5	6.6	0.7
エ. 買い物をする	371	76.3	5.4	12.4	5.4	0.5	エ. 買い物をする	408	72.1	3.9	15.7	7.6	0.7
オ. 子どもをお風呂に入れる	371	45.3	41.0	2.4	10.8	0.5	オ. 子どもをお風呂に入れる	408	50.5	23.5	2.0	23.0	1.0
カ. 子どもを寝かしつける	371	74.4	14.0	0.8	10.2	0.5	カ. 子どもを寝かしつける	408	58.6	14.5	1.5	24.3	1.2
キ. 保育園等の送迎をする	371	54.2	9.2	10.8	18.9	7.0	キ. 保育園等の送迎をする	408	54.9	15.9	12.0	14.0	3.2
ク. 子どもと遊ぶ	371	51.8	21.6	5.4	20.2	1.1	ク. 子どもと遊ぶ	408	40.4	34.6	3.4	19.6	2.0

■ 上位1位 ■ 上位2位 □ 上位3位

■ 上位1位 ■ 上位2位 □ 上位3位

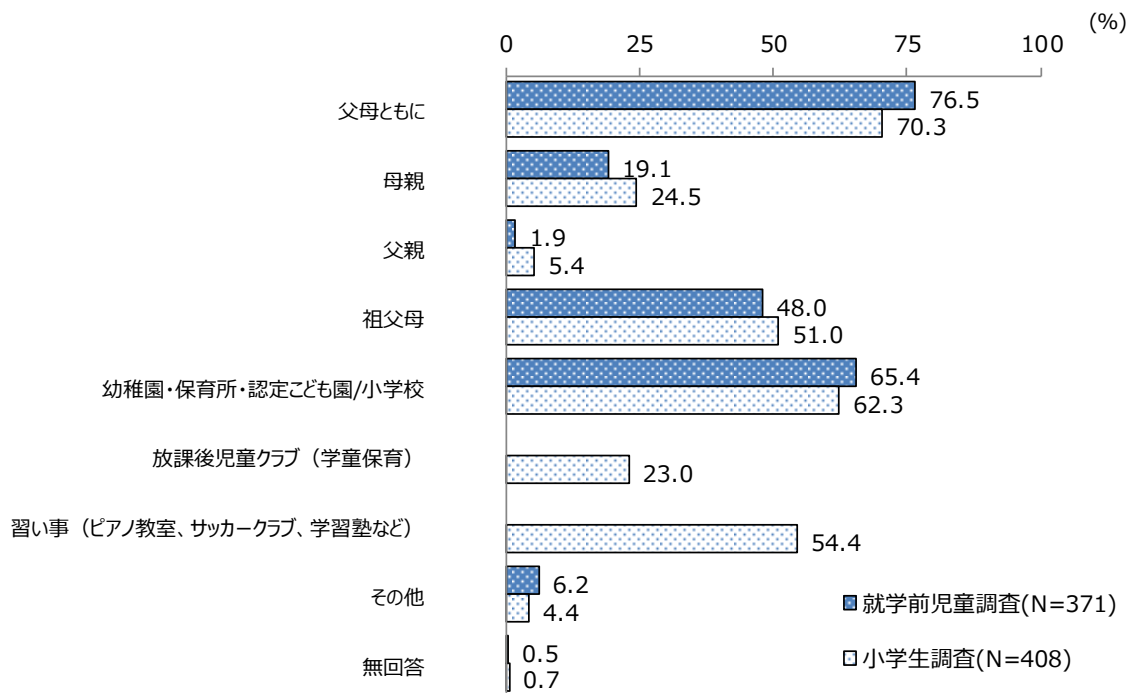
2.子どもの育成環境について

(1)子育て（教育を含む）に日常的に関わっている方

就学前児童調査では、「父母ともに」が76.5%と最も高く、次いで「幼稚園・保育所・認定こども園/小学校」が65.4%、「祖父母」が48.0%となっている。

小学生調査では、「父母ともに」が70.3%と最も高く、次いで「小学校」が62.3%、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」が54.4%となっている。

問7 [問7] 子育て（教育を含む）に日常的に関わっている方



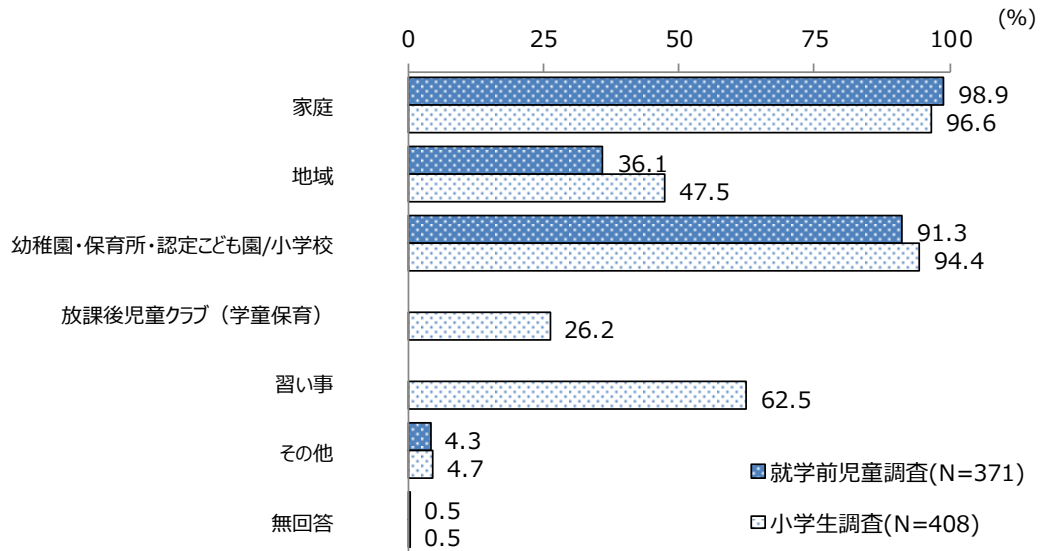
※「放課後児童クラブ（学童保育）」、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」は小学生調査のみの項目。

(2)子どもの子育て（教育を含む）に影響すると思われる環境

就学前児童調査では、「家庭」が98.9%と最も高く、次いで「幼稚園・保育所・認定こども園/小学校」が91.3%、「地域」が36.1%となっている。

小学生調査では、「家庭」が96.6%と最も高く、次いで「小学校」が94.4%、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」が62.5%となっている。

問8 [問8] 子どもの子育て（教育を含む）に影響すると思われる環境



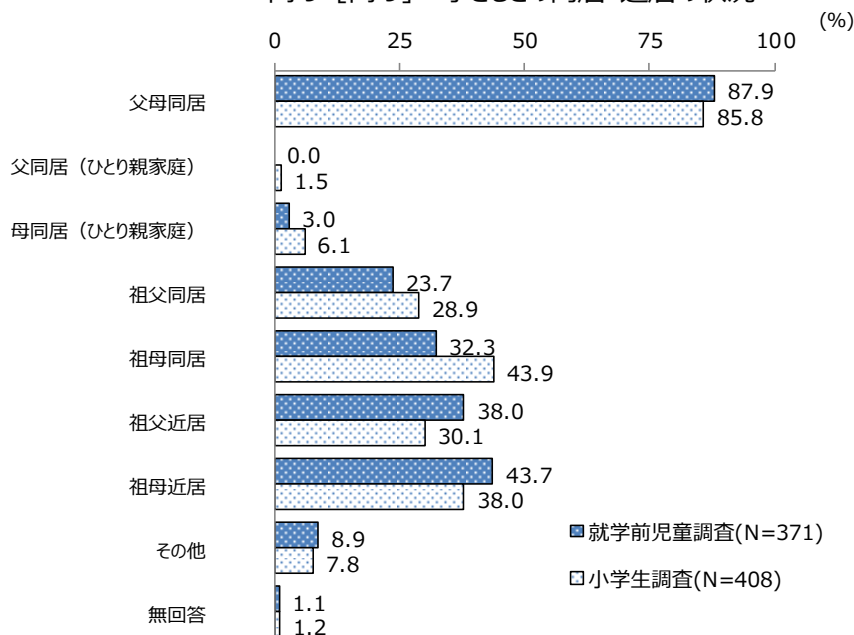
※「放課後児童クラブ（学童保育）」、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」は小学生調査のみの項目。

(3)子どもとの同居・近居の状況

就学前児童調査では、「父母同居」が87.9%と最も高く、次いで「祖母近居」が43.7%、「祖父近居」が38.0%となっている。

小学生調査では、「父母同居」が85.8%と最も高く、次いで「祖母同居」が43.9%、「祖母近居」が38.0%となっている。

問9 [問9] 子どもとの同居・近居の状況

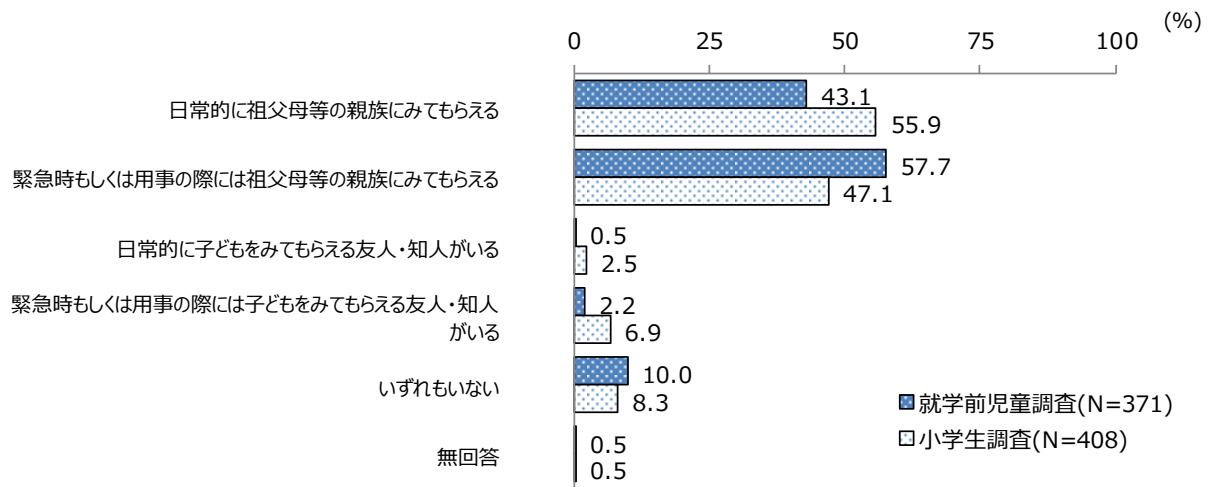


(4)子どもをみてもらえる親族・知人

就学前児童調査では、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が57.7%と最も高く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が43.1%、「いずれもない」が10.0%となっている。

小学生調査では、「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が55.9%と最も高く、次いで「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が47.1%、「いずれもない」が8.3%となっている。

問 10 [問 10] 子どもをみてもらえる親族・知人

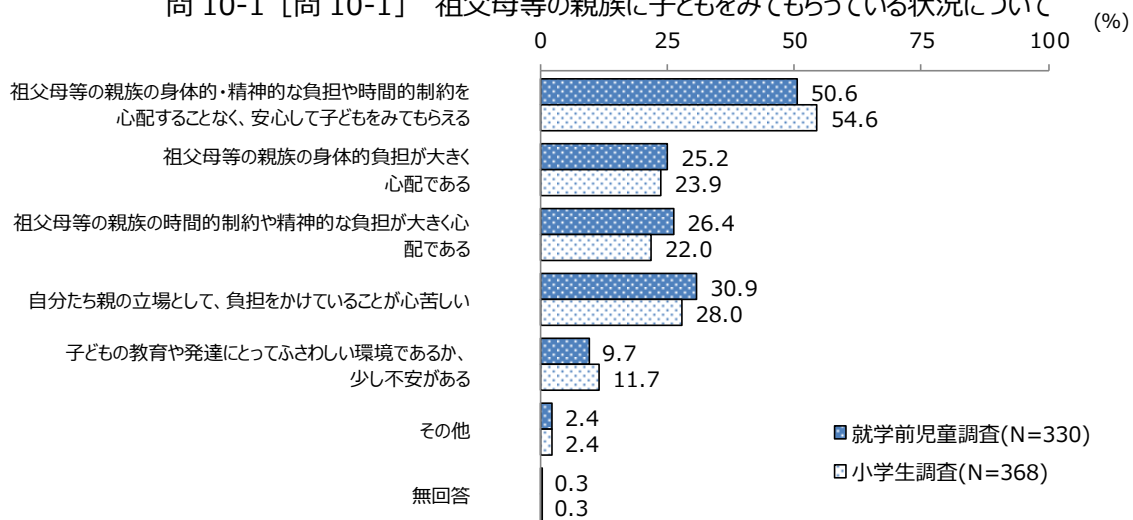


(4)-1 祖父母等の親族に子どもをみてもらっている状況について

就学前児童調査では、「祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することがなく安心して子どもをみてもらえる」が50.6%と最も高く、次いで「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」が30.9%、「祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」が26.4%となっている。

小学生調査では、「祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することがなく安心して子どもをみてもらえる」が54.6%と最も高く、次いで「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」が28.0%、「祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である」が23.9%となっている。

問 10-1 [問 10-1] 祖父母等の親族に子どもをみてもらっている状況について

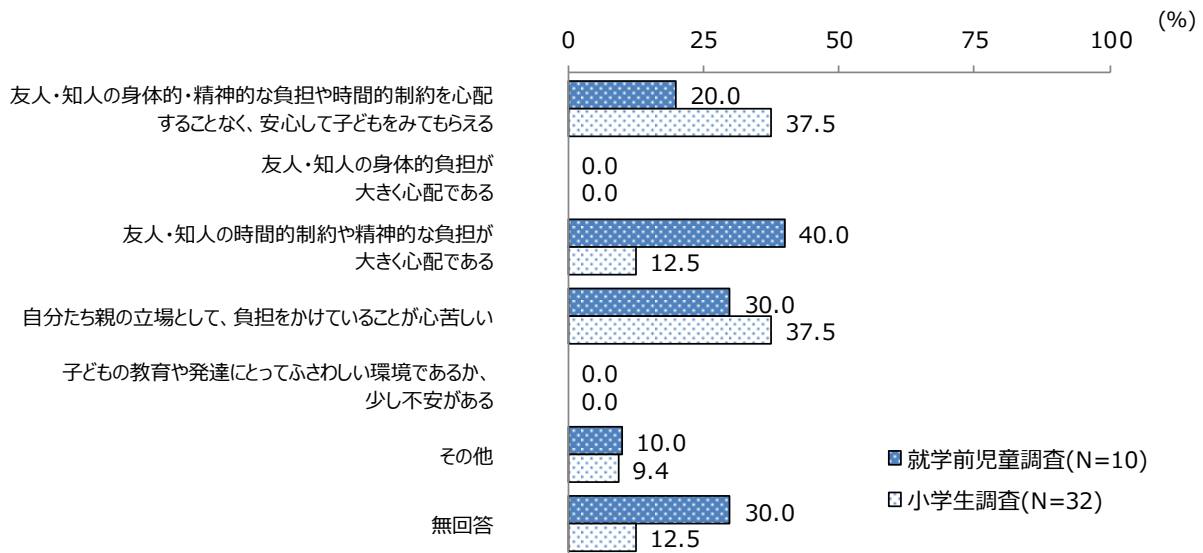


(4)-2 友人・知人に子どもをみてもらっている状況について

就学前児童調査では、「友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」が40.0%と最も高く、次いで「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」及び「無回答」が30.0%となっている。

小学生調査では、「友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」及び「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」が37.5%と最も高く、次いで「友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」及び「無回答」が12.5%となっている。

問 10-2 [問 10-2] 友人・知人に子どもをみてもらっている状況について

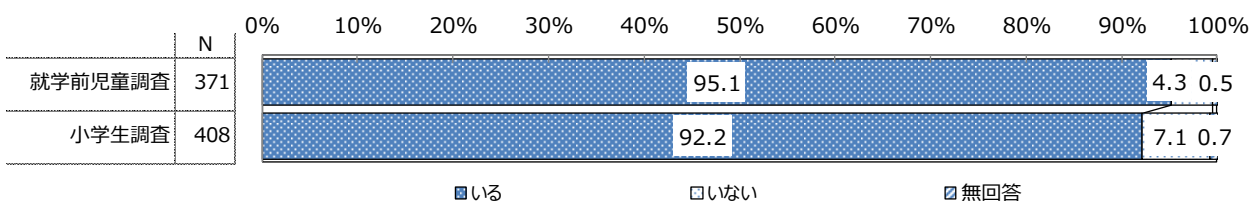


(5)子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人について

就学前児童調査では、「いる」が95.1%、次いで「いない」が4.3%となっている。

小学生調査では、「いる」が92.2%、次いで「いない」が7.1%となっている。

問 11 [問 11] 子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人について

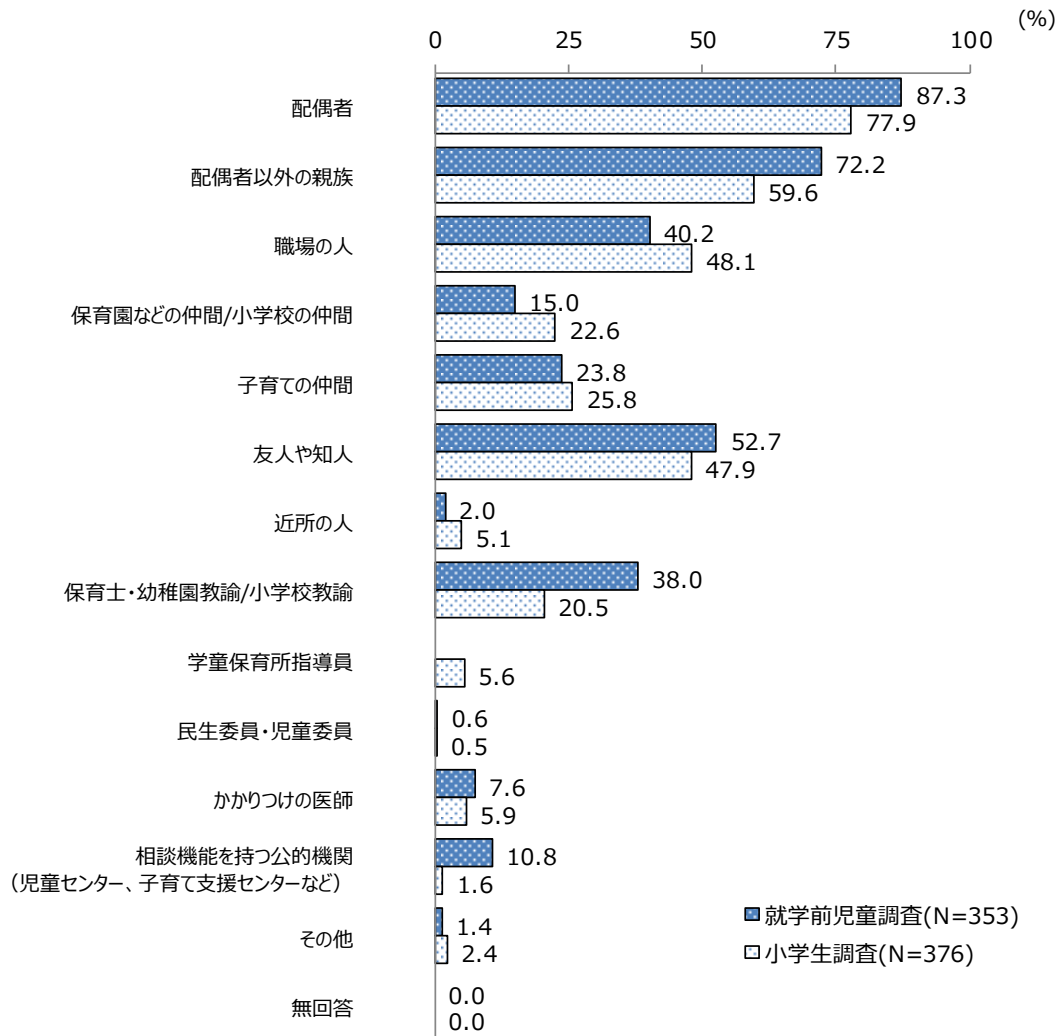


(5)-1 子どもの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる人について

就学前児童調査では、「配偶者」が87.3%と最も高く、次いで「配偶者以外の親族」が72.2%、「友人や知人」が52.7%となっている。

小学生調査では、「配偶者」が77.9%と最も高く、次いで「配偶者以外の親族」が59.6%、「職場の人」が48.1%となっている。

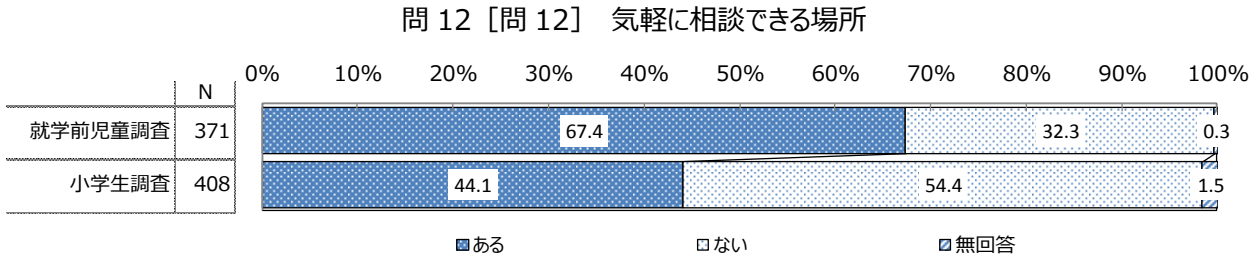
問 11-1 [問 11-1] 子どもの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる人について



※「学童保育所指導員」は小学生調査のみの項目。

(6)気軽に相談できる場所

就学前児童調査では、「ある」が67.4%、小学生調査では、「ある」が44.1%となっている。

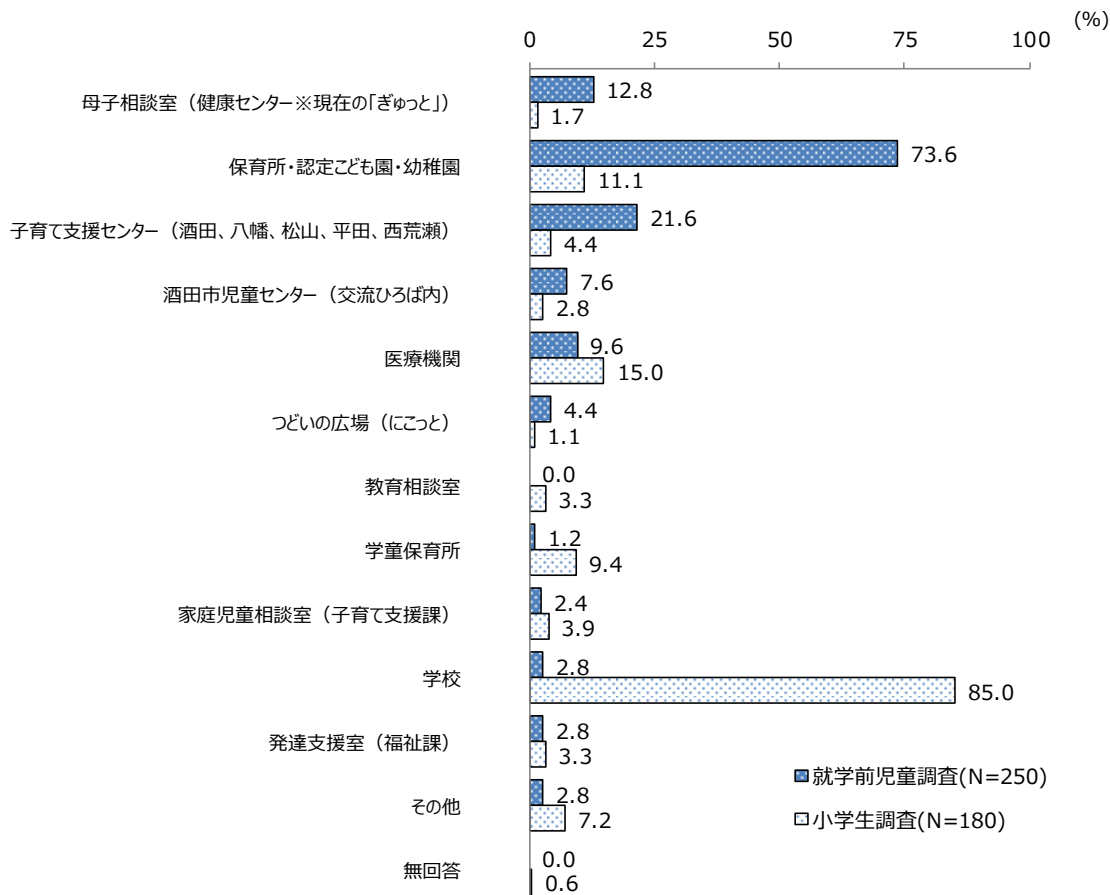


(6)-1 子どもの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる場所について

就学前児童調査では、「保育所・認定こども園・幼稚園」が73.6%と最も高く、次いで「子育て支援センター（酒田、八幡、松山、平田、西荒瀬）」が21.6%、「母子相談室（健康センター※現在の「ぎゅっと）」が12.8%となっている。

小学生調査では、「学校」が85.0%と最も高く、次いで「医療機関」が15.0%、「保育所・認定こども園・幼稚園」が11.1%となっている。

問 12-1 [問 12-1] 子どもの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる場所について

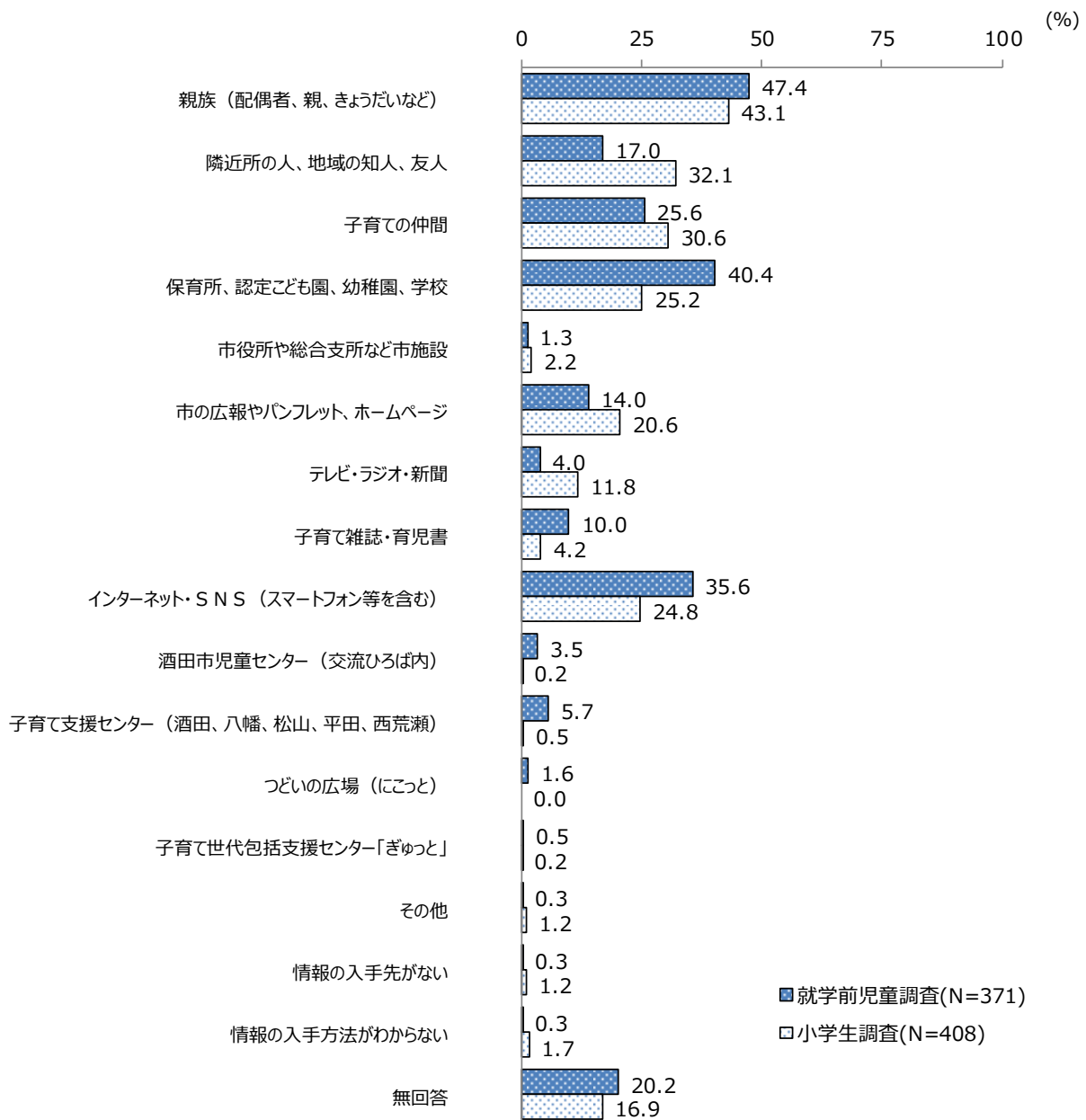


(6)-2 子育てに関する情報の入手先

就学前児童調査では、「親族（配偶者、親、きょうだいなど）」が47.4%と最も高く、次いで「保育所、認定こども園、幼稚園、学校」が40.4%、「インターネット・SNS（スマートフォン等を含む）」が35.6%となっている。

小学生調査では、「親族（配偶者、親、きょうだいなど）」が43.1%と最も高く、次いで「隣近所の人、地域の知人、友人」が32.1%、「子育ての仲間」が30.6%となっている。

問 12-2 [問 12-2] 子育てに関する情報の入手先



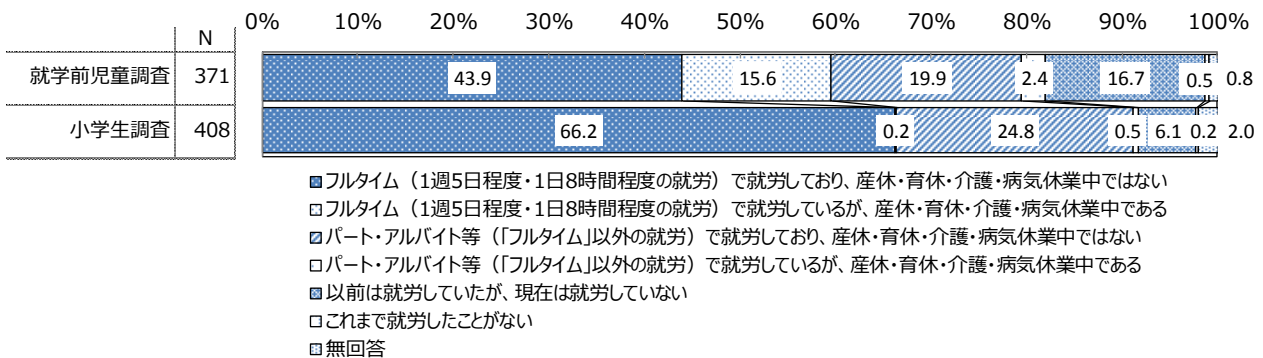
3.子どもの保護者の就労状況について

(1)母親の現在の就労状況

就学前児童調査では、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護・病気休業中ではない」が43.9%と最も高く、次いで「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護・病気休業中ではない」が19.9%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が16.7%となっている。

小学生調査では、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護・病気休業中ではない」が66.2%と最も高く、次いで「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護・病気休業中ではない」が24.8%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が6.1%となっている。

問 14 (1) [問 14 (1)] 母親の現在の就労状況



(1)-1 母親の1週当たりの就労日数

就学前児童調査では、「5日」が72.0%と最も高く、次いで「6日」が21.1%、「4日」が3.9%となっている。

小学生調査では、「5日」が71.7%と最も高く、次いで「6日」が21.1%、「4日」が2.7%となっている。

問 14 (1) -1 [問 14 (1) -1] 母親の1週当たりの就労日数

	N	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	無回答
就学前児童調査	304	0.0	0.7	1.3	3.9	72.0	21.1	0.3	0.7
小学生調査	374	0.0	0.8	0.8	2.7	71.7	21.1	1.3	1.6

■ 上位1位 ■ 上位2位 ■ 上位3位

(1)-2 母親の1日当たりの勤務時間

就学前児童調査では、「8時間」が44.1%と最も高く、次いで「7時間」が13.8%、「6時間」が11.8%となっている。

小学生調査では、「8時間」が48.1%と最も高く、次いで「7時間」が12.0%、「9時間」が9.9%となっている。

問 14 (1) -1 [問 14 (1) -1] 母親の1日当たりの勤務時間

	N	1時間	2時間	3時間	4時間	5時間	6時間	7時間	8時間	9時間
就学前児童調査	304	0.0	0.3	0.3	3.6	7.9	11.8	13.8	44.1	9.5
小学生調査	374	0.5	0.3	1.6	4.3	6.4	8.6	12.0	48.1	9.9
		10時間	11時間	12時間	13時間	14時間	15時間	16時間	17時間	18時間
		5.9	1.0	1.0	0.0	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0
		4.5	0.0	0.3	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		19時間	20時間	21時間	22時間	23時間	24時間	無回答		
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3		
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.9		

■ 上位1位 ■ 上位2位 ■ 上位3位

(1)-3 母親の家を出る時刻

就学前児童調査では、「8:00」が31.9%と最も高く、次いで「7:30」が31.6%、「8:30」が12.5%となっている。

小学生調査では、「8:00」が33.4%と最も高く、次いで「7:30」が25.4%、「8:30」が16.8%と、就学前児童と同様の順位となっている。

問 14 (1) -2 [問 14 (1) -2] 母親の家を出る時刻

	N	1:00	1:30	2:00	2:30	3:00	3:30	4:00	4:30	5:00
就学前児童調査	304	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
小学生調査	374	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.1
		5:30	6:00	6:30	7:00	7:30	8:00	8:30	9:00	9:30
		0.0	0.7	1.3	9.2	31.6	31.9	12.5	5.9	2.6
		0.3	0.8	1.1	5.1	25.4	33.4	16.8	4.5	2.7
		10:00	10:30	11:00	11:30	12:00	12:30	13:00	13:30	14:00
		0.7	0.3	0.7	0.3	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0
		1.6	0.5	0.3	0.3	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0
		14:30	15:00	15:30	16:00	16:30	17:00	17:30	18:00	18:30
		0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		0.0	0.5	0.0	0.8	0.0	0.0	0.3	0.0	0.0
		19:00	19:30	20:00	20:30	21:00	21:30	22:00	22:30	23:00
		0.0	0.0	0.0	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		0.0	0.0	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		23:30	24:00	無回答						
		0.0	0.0	1.0						
		0.0	0.0	3.7						

■ 上位1位 ■ 上位2位 ■ 上位3位

(1)-4 母親の帰宅時刻

就学前児童調査では、「18:00」が28.9%と最も高く、次いで「18:30」が16.1%、「19:00」が10.2%となっている。

小学生調査では、「18:00」が25.1%と最も高く、次いで「18:30」が15.2%、「19:00」が11.5%と、就学前児童と同様の順位となっている。

問 14 (1) -2 [問 14 (1) -2] 母親の帰宅時刻

	N	1:00	1:30	2:00	2:30	3:00	3:30	4:00	4:30	5:00
就学前児童調査	304	0.0	0.3	0.0	0.3	0.0	0.7	0.0	0.0	0.0
小学生調査	374	0.0	0.3	0.3	0.3	0.0	0.0	0.3	0.0	0.0
		5:30	6:00	6:30	7:00	7:30	8:00	8:30	9:00	9:30
		0.0	0.7	0.7	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		0.5	1.1	0.3	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0
		10:00	10:30	11:00	11:30	12:00	12:30	13:00	13:30	14:00
		0.0	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0	1.0	0.7	1.3
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.5	0.5	0.8	1.6	2.4
		14:30	15:00	15:30	16:00	16:30	17:00	17:30	18:00	18:30
		0.3	2.0	2.0	5.3	5.6	5.6	9.2	28.9	16.1
		1.1	1.1	2.7	2.7	2.9	7.5	9.9	25.1	15.2
		19:00	19:30	20:00	20:30	21:00	21:30	22:00	22:30	23:00
		10.2	3.9	1.3	0.7	1.0	0.0	0.3	0.0	0.0
		11.5	4.5	2.1	0.8	0.0	0.0	0.3	0.0	0.0
		23:30	24:00	無回答						
		0.0	0.0	1.3						
		0.0	0.0	3.5						

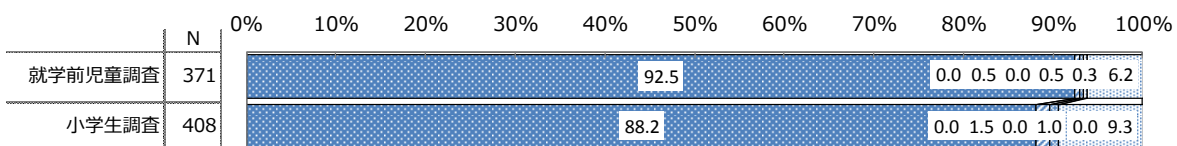
■ 上位1位 ■ 上位2位 ■ 上位3位

(2)父親の現在の就労状況

就学前児童調査では、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護・病気休業中ではない」が92.5%と最も高く、次いで「無回答」が6.2%、「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護・病気休業中ではない」及び「以前は就労していたが、現在は就労していない」が0.5%となっている。

小学生調査では、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護・病気休業中ではない」が88.2%と最も高く、次いで「無回答」が9.3%、「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護・病気休業中ではない」が1.5%となっている。

問 14 (2) [問 14 (2)] 父親の現在の就労状況



- フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護・病気休業中ではない
- フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、産休・育休・介護・病気休業中である
- パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護・病気休業中ではない
- パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、産休・育休・介護・病気休業中である
- 以前は就労していたが、現在は就労していない
- これまで就労したことがない
- 無回答

(2)-1 父親の1週当たりの就労日数

就学前児童調査では、「5日」が52.5%と最も高く、次いで「6日」が35.9%、「7日」が4.3%となっている。

小学生調査では、「5日」が54.1%と最も高く、次いで「6日」が36.3%、「無回答」が3.3%となっている。

問 14 (2) -1 [問 14 (2) -1] 父親の1週当たりの就労日数

	N	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	無回答
就学前児童調査	345	0.3	0.3	1.4	2.6	52.5	35.9	4.3	2.6
小学生調査	366	0.0	0.0	1.4	2.2	54.1	36.3	2.7	3.3

■ 上位1位 ■ 上位2位 ■ 上位3位

(2)-2 父親の1日当たりの勤務時間

就学前児童調査では、「8時間」が38.3%と最も高く、次いで「10時間」が16.2%、「9時間」が13.0%となっている。

小学生調査では、「8時間」が46.4%と最も高く、次いで「10時間」が18.3%、「9時間」が13.7%となっている。

問 14 (2) -1 [問 14 (2) -1] 父親の1日当たりの勤務時間

	N	1時間	2時間	3時間	4時間	5時間	6時間	7時間	8時間	9時間
就学前児童調査	345	0.0	0.3	0.3	0.0	0.0	0.0	5.8	38.3	13.0
小学生調査	366	0.3	0.0	0.5	0.0	0.0	0.5	0.8	46.4	13.7

	10時間	11時間	12時間	13時間	14時間	15時間	16時間	17時間	18時間
	16.2	6.1	12.2	1.2	1.7	0.6	0.3	0.0	0.0
	18.3	3.8	6.8	1.4	0.5	0.3	0.3	0.3	0.3

	19時間	20時間	21時間	22時間	23時間	24時間	無回答
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.9	3.2
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	5.5

■ 上位1位 ■ 上位2位 ■ 上位3位

(2)-3 父親の家を出る時刻

就学前児童調査では、「7:30」が36.5%と最も高く、次いで「8:00」が21.7%、「7:00」が17.7%となっている。

小学生調査では、「7:30」が28.4%と最も高く、次いで「7:00」が21.3%、「8:00」が18.9%となっている。

問 14 (2) -2 [問 14 (2) -2] 父親の家を出る時刻

	N	1:00	1:30	2:00	2:30	3:00	3:30	4:00	4:30	5:00
就学前児童調査	345	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.9	0.3	0.9
小学生調査	366	0.0	0.0	0.3	0.0	0.5	0.0	0.0	0.0	0.5
		5:30	6:00	6:30	7:00	7:30	8:00	8:30	9:00	9:30
		0.3	1.4	5.5	17.7	36.5	21.7	5.2	2.0	0.6
		1.9	2.5	3.8	21.3	28.4	18.9	9.0	2.7	0.5
		10:00	10:30	11:00	11:30	12:00	12:30	13:00	13:30	14:00
		0.6	0.3	0.3	0.0	0.3	0.0	0.6	0.0	0.0
		0.5	0.5	0.0	0.0	0.5	0.0	0.0	0.0	0.5
		14:30	15:00	15:30	16:00	16:30	17:00	17:30	18:00	18:30
		0.3	0.0	0.6	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0
		0.0	0.3	0.0	0.3	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0
		19:00	19:30	20:00	20:30	21:00	21:30	22:00	22:30	23:00
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0
		23:30	24:00	無回答						
		0.0	0.0	3.8						
		0.0	0.0	6.3						

■ 上位1位 ■ 上位2位 ■ 上位3位

(2)-4 父親の帰宅時刻

就学前児童調査では、「19:00」が17.4%と最も高く、次いで「18:00」が13.3%、「18:30」が12.5%となっている。

小学生調査では、「19:00」が16.9%と最も高く、次いで「18:00」が15.6%、「18:30」が14.2%となっている。

問 14 (2) -2 [問 14 (2) -2] 父親の帰宅時刻

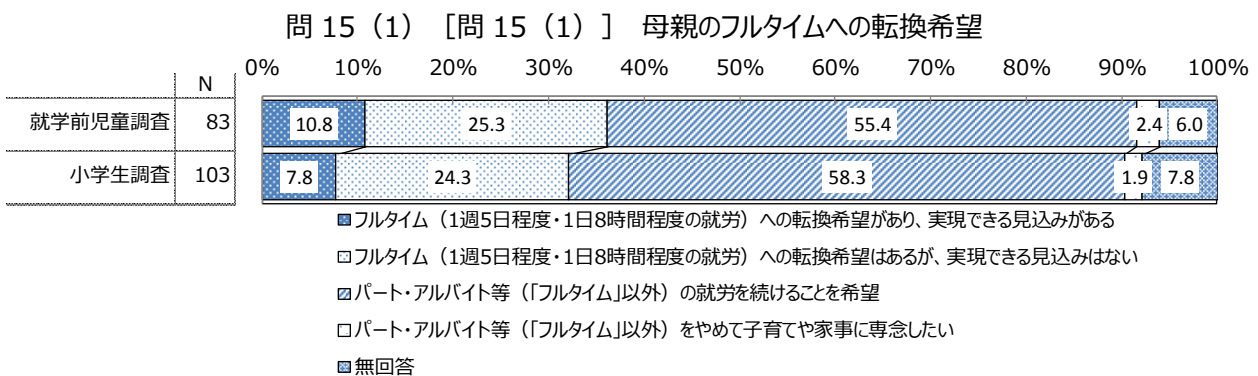
	N	1:00	1:30	2:00	2:30	3:00	3:30	4:00	4:30	5:00
就学前児童調査	345	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0	0.0	0.3
小学生調査	366	0.3	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0
		5:30	6:00	6:30	7:00	7:30	8:00	8:30	9:00	9:30
		0.0	0.9	1.2	0.3	0.3	0.3	0.0	2.3	1.2
		0.3	0.5	0.8	0.8	0.5	0.5	0.3	0.8	0.3
		10:00	10:30	11:00	11:30	12:00	12:30	13:00	13:30	14:00
		0.0	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0	0.0
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0	0.3
		14:30	15:00	15:30	16:00	16:30	17:00	17:30	18:00	18:30
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.6	2.6	5.5	13.3	12.5
		0.0	0.5	0.0	1.6	0.5	2.7	4.4	15.6	14.2
		19:00	19:30	20:00	20:30	21:00	21:30	22:00	22:30	23:00
		17.4	7.2	9.9	3.5	8.1	3.2	3.8	0.6	0.0
		16.9	5.2	7.7	3.8	6.6	3.0	2.2	0.5	1.1
		23:30	24:00	無回答						
		0.0	0.3	3.8						
		0.5	0.0	6.8						

■ 上位1位 ■ 上位2位 ■ 上位3位

(3)母親のフルタイムへの転換希望

就学前児童調査では、「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）の就労を続けることを希望」が55.4%と最も高く、次いで「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が25.3%、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望があり、実現できる見込みがある」が10.8%となっている。

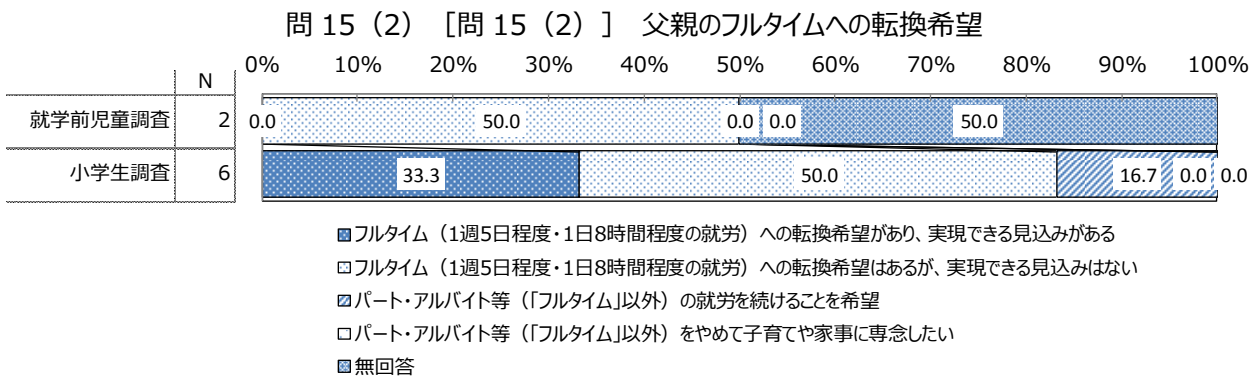
小学生調査では、「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）の就労を続けることを希望」が58.3%と最も高く、次いで「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が24.3%、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望があり、実現できる見込みがある」が7.8%となっている。



(4)父親のフルタイムへの転換希望

就学前児童調査は、回答件数が5件未満であった。

小学生調査では、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が50.0%と最も高く、次いで「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望があり、実現できる見込みがある」が33.3%、「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）の就労を続けることを希望」が16.7%となっている。

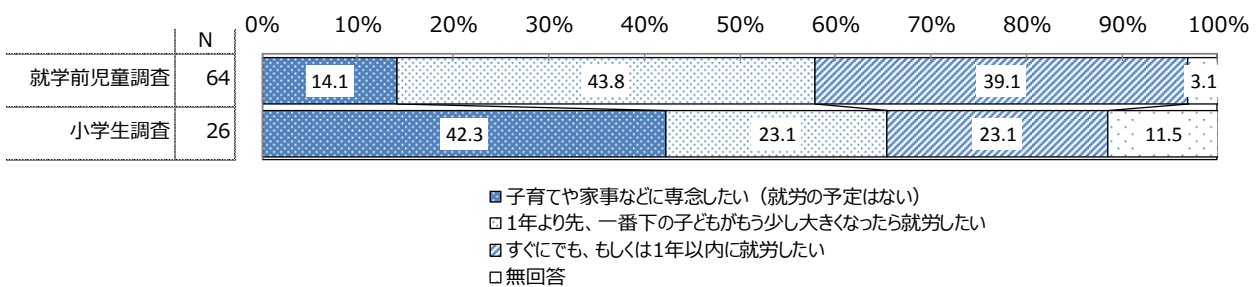


(5)母親の就労したいという希望

就学前児童調査では、「1年より先、一番下の子どもがもう少し大きくなったら就労したい」が43.8%と最も高く、次いで「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が39.1%、「子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」が14.1%となっている。

小学生調査では、「子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」が42.3%と最も高く、次いで「1年より先、一番下の子どもがもう少し大きくなったら就労したい」及び「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が23.1%となっている。

問 16 (1) [問 16 (1)] 母親の就労したいという希望

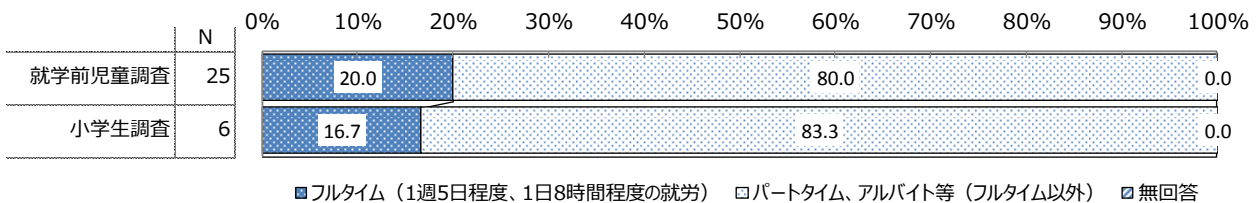


(5)-1 すぐにでも就労したい母親の希望する就労形態

就学前児童調査では、「パートタイム、アルバイト等（フルタイム以外）」が80.0%、「フルタイム（1週5日程度、1日8時間程度の就労）」が20.0%となっている。

小学生調査では、「パートタイム、アルバイト等（フルタイム以外）」が83.3%、「フルタイム（1週5日程度、1日8時間程度の就労）」が16.7%となっている。

問 16 (1) -① [問 16 (1) -①] すぐにでも就労したい母親の希望する就労形態



(5)-2 すぐにでも就労したい母親の1週当たりの就労日数（パート、アルバイト）

就学前児童調査では、「5日」が65.0%と最も高く、次いで「4日」が25.0%、「3日」が10.0%となっている。

小学生調査では、「5日」が60.0%と最も高く、次いで「3日」及び「無回答」が20.0%となっている。

問 16 (1) -① [問 16 (1) -①] すぐにでも就労したい母親の1週当たりの就労日数（パート、アルバイト）

	N	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	無回答
就学前児童調査	20	0.0	0.0	10.0	25.0	65.0	0.0	0.0	0.0
小学生調査	5	0.0	0.0	20.0	0.0	60.0	0.0	0.0	20.0

■ 上位1位 ■ 上位2位 ■ 上位3位

(5)-3 すぐにでも就労したい母親の1日当たりの勤務時間（パート、アルバイト）

就学前児童調査では、「5時間」及び「6時間」が35.0%と最も高く、次いで「3時間」が15.0%となっている。

小学生調査では、「5時間」が40.0%と最も高く、次いで「3時間」、「4時間」及び「無回答」が20.0%となっている。

問 16 (1) -① [問 16 (1) -①] すぐにでも就労したい母親の1日当たりの勤務時間（パート、アルバイト）

	N	1時間	2時間	3時間	4時間	5時間	6時間	7時間	8時間	9時間
就学前児童調査	20	0.0	0.0	15.0	5.0	35.0	35.0	0.0	10.0	0.0
小学生調査	5	0.0	0.0	20.0	20.0	40.0	0.0	0.0	0.0	0.0

10時間	11時間	12時間	13時間	14時間	15時間	16時間	17時間	18時間
0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

19時間	20時間	21時間	22時間	23時間	24時間	無回答
0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0

■ 上位1位 ■ 上位2位 ■ 上位3位

(5)-4 子どもが大きくなったら就労したい母親が就労を考える子どもの歳

就学前児童調査では、「2歳」から「4歳」まで、及び「6歳」が14.3%となっている
 小学生調査では、「12歳」が50.0%と最も高く、次いで「13歳」及び「18歳」が同率の16.7%となっている。

問 16 (1) -② [問 16 (1) -②] 子どもが大きくなったら就労したい母親が就労を考える子どもの歳

	N	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳
就学前児童調査	28	7.1	14.3	14.3	14.3	7.1	14.3	7.1	10.7	3.6
小学生調査	6	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

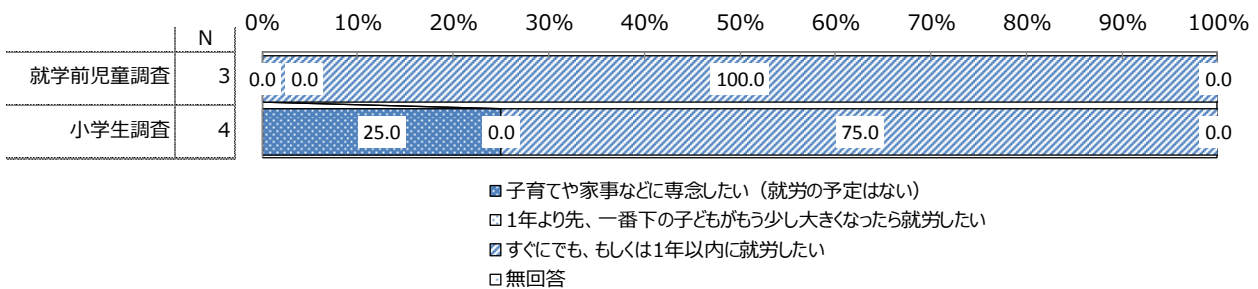
	10歳	11歳	12歳	13歳	14歳	15歳	16歳	17歳	18歳	無回答
就学前児童調査	7.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
小学生調査	0.0	0.0	50.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0

■ 上位1位 ■ 上位2位 □ 上位3位

(6)父親の就労したいという希望

就学前児童調査、小学生調査ともに回答が5件未満であった。

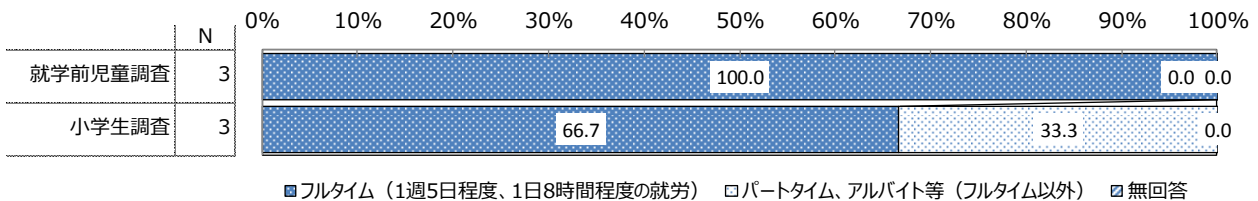
問 16 (2) [問 16 (2)] 父親の就労したいという希望



(6)-1 すぐにでも就労したい父親の希望する就労形態

就学前児童調査、小学生調査ともに回答が5件未満であった。

問 16 (2) -① [問 16 (2) -①] すぐにでも就労したい父親の希望する就労形態



(6)-2 すぐにでも就労したい父親の1週当たりの就労日数（パート、アルバイト）

就学前児童調査、小学生調査ともに回答が5件未満であった。

問 16 (2) -① [問 16 (2) -①] すぐにでも就労したい父親の1週当たりの就労日数（パート、アルバイト）

	N	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	無回答
就学前児童調査	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
小学生調査	1	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0

■ 上位1位 ■ 上位2位 ■ 上位3位

(6)-3 すぐにでも就労したい父親の1日当たりの勤務時間（パート、アルバイト）

就学前児童調査、小学生調査ともに回答が5件未満であった。

問 16 (2) -① [問 16 (2) -①] すぐにでも就労したい父親の1日当たりの勤務時間（パート、アルバイト）

	N	1時間	2時間	3時間	4時間	5時間	6時間	7時間	8時間	9時間
就学前児童調査	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
小学生調査	1	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0

	10時間	11時間	12時間	13時間	14時間	15時間	16時間	17時間	18時間
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

	19時間	20時間	21時間	22時間	23時間	24時間	無回答
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

■ 上位1位 ■ 上位2位 ■ 上位3位

(6)-4 子どもが大きくなったら就労したい父親が就労を考える子どもの歳

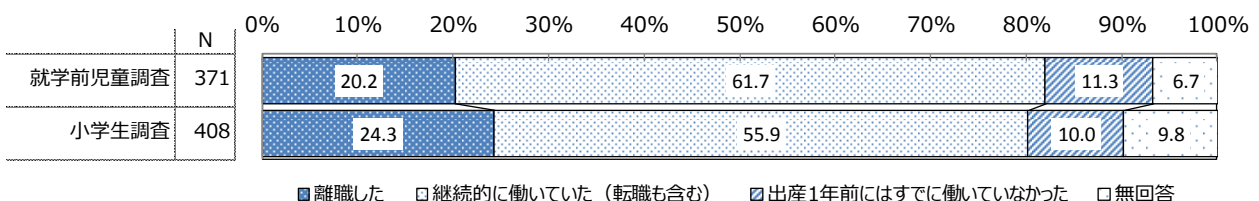
就学前児童調査、小学生調査ともに回答なし。

(7) 母親の出産前後の就労状況について

就学前児童調査では、「継続的に働いていた（転職も含む）」が61.7%と最も高く、次いで「離職した」が20.2%、「出産1年前にはすでに働いていなかった」が11.3%となっている。

小学生調査では、「継続的に働いていた（転職も含む）」が55.9%と最も高く、次いで「離職した」が24.3%、「出産1年前にはすでに働いていなかった」が10.0%となっている。

問 17 [問 17] 母親の出産前後の就労状況について

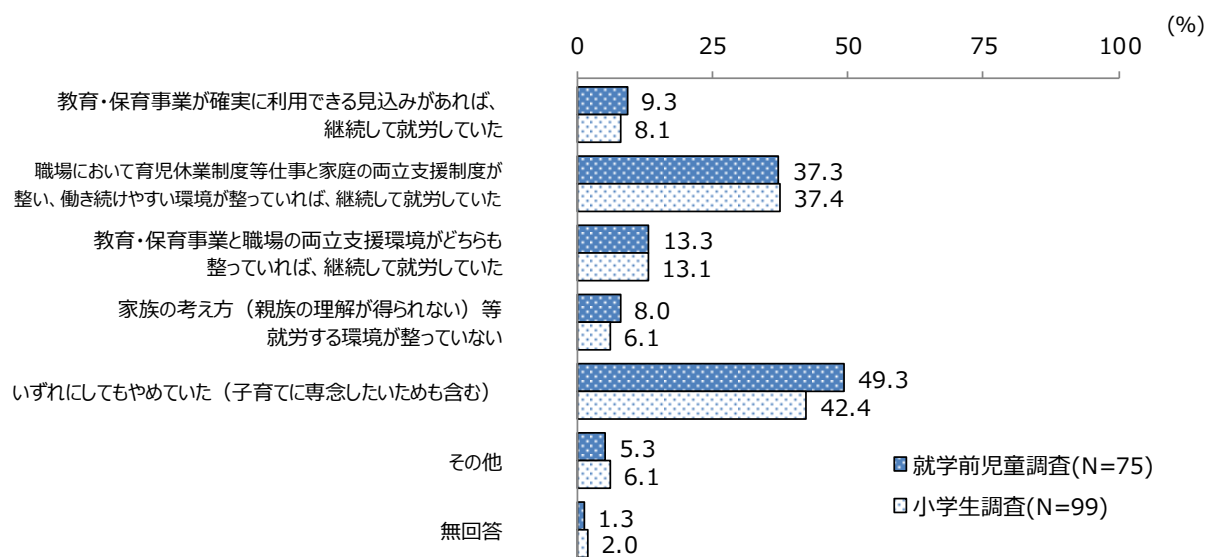


(7)-1 仕事と家庭の両立を支援する保育サービスや環境が整っていたら、就労を継続したか

就学前児童調査では、「いずれにしてもやめていた（子育てに専念したいためも含む）」が49.3%と最も高く、次いで「職場において育児休業制度等仕事と家庭の両立支援制度が整い、働き続けやすい環境が整っていれば、継続して就労していた」が37.3%、「教育・保育事業と職場の両立支援環境がどちらも整っていれば、継続して就労していた」が13.3%となっている。

小学生調査では、「いずれにしてもやめていた（子育てに専念したいためも含む）」が42.4%と最も高く、次いで「職場において育児休業制度等仕事と家庭の両立支援制度が整い、働き続けやすい環境が整っていれば、継続して就労していた」が37.4%、「教育・保育事業と職場の両立支援環境がどちらも整っていれば、継続して就労していた」が13.1%となっている。

問 17-1 [問 17-1] 仕事と家庭の両立を支援する保育サービスや環境が整っていたら、就労を継続したか

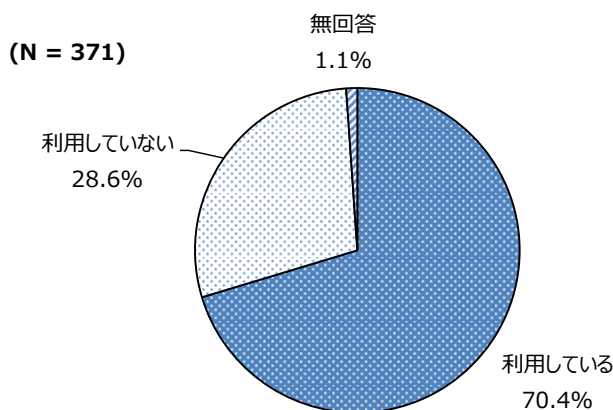


4.子どもの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について

(1)定期的に子どもを預けるサービスを利用しているか(就学前児童調査のみ)

「利用している」が70.4%と最も高く、次いで「利用していない」が28.6%、「無回答」が1.1%となっている。

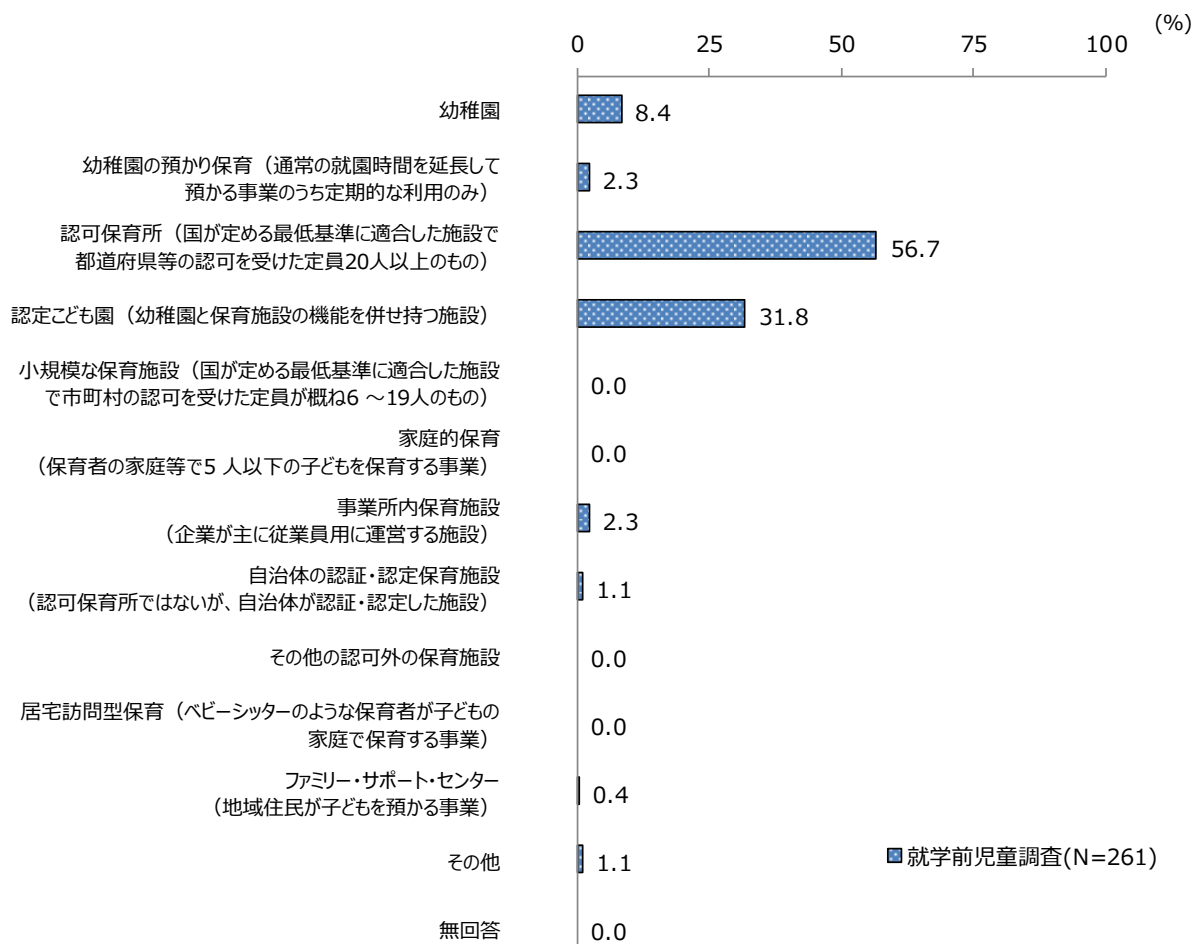
問 18 [-] 定期的に子どもを預けるサービスを利用しているか



(1)-1 平日どのような教育・保育の事業を利用しているか(就学前児童調査のみ)

「認可保育所（国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けた定員20人以上のもの）」が56.7%と最も高く、次いで「認定こども園（幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設）」が31.8%、「幼稚園」が8.4%となっている。

問 18-1 [-] 平日どのような教育・保育の事業を利用しているか



■ 就学前児童調査(N=261)

(1)-2 平日に定期的に利用している教育・保育事業について(就学前児童調査のみ)

主に利用している事業の事業別の状況は下表のとおりとなっている。

問 18-2 [-] 平日に定期的に利用している教育・保育事業について
(1) 主に利用している事業

事業名	件数 (件)	割合 (%)	利用日数 (日)	現在の 利用時間	割合 (%)	希望する 利用時間	割合 (%)
幼稚園	22	8.4	5.0	5時間以上 6時間未満	45.5	8時間以上 9時間未満	18.2
幼稚園の預かり保育（通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ）	2	0.8	5.0	9時間以上 10時間未満	50.0	9時間以上 10時間未満	50.0
				10時間以上 11時間未満	50.0		
認可保育所（国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けた定員20人以上のもの）	144	55.2	5.2	8時間以上 9時間未満	29.9	9時間以上 10時間未満	18.8
認定こども園（幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設）	78	29.9	5.1	10時間以上 11時間未満	26.9	9時間以上 10時間未満	16.7
						10時間以上 11時間未満	16.7
小規模な保育施設（国が定める最低基準に適合した施設で市町村の認可を受けた定員が概ね6～19人のもの）	0	0.0	0.0	-	-	-	-
家庭的保育（保育者の家庭等で5人以下の子どもを保育する事業）	0	0.0	0.0	-	-	-	-
事業所内保育施設（企業が主に従業員用に運営する施設）	6	2.3	4.8	7時間以上 8時間未満	33.3	6時間以上 7時間未満	16.7
						8時間以上 9時間未満	16.7
						10時間以上 11時間未満	16.7
						11時間以上 12時間未満	16.7
自治体の認証・認定保育施設（認可保育所ではないが、自治体が認証・認定した施設）	0	0.0	0.0	-	-	-	-
その他の認可外の保育施設	0	0.0	0.0	-	-	-	-
居宅訪問型保育（ベビーシッターのような保育者が子どもの家庭で保育する事業）	0	0.0	0.0	-	-	-	-
ファミリー・サポート・センター（地域住民が子どもを預かる事業）	0	0.0	0.0	-	-	-	-
その他	2	0.8	5.0	6時間以上 7時間未満	50.0	7時間以上 8時間未満	100.0
				7時間以上 8時間未満	50.0		

※利用日数は一週間当たりの日数としている。

※現在の利用時間、希望する利用時間は最も割合の高い項目としている。

次に利用している事業の事業別の状況は下表のとおりとなっている。

問 18-2 [-] 平日に定期的に利用している教育・保育事業について

(2) (1) の次に多く利用している事業

事業名	件数 (件)	割合 (%)	利用日数 (日)	現在の 利用時間	割合 (%)	希望する 利用時間	割合 (%)
幼稚園	0	0.0	0.0	-	-	-	-
幼稚園の預かり保育（通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ）	5	1.9	5.2	4時間以上 5時間未満	40.0	3時間以上 4時間未満 4時間以上 5時間未満 5時間以上 6時間未満	20.0 20.0 20.0
認可保育所（国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けた定員20人以上のもの）	0	0.0	0.0	-	-	-	-
認定こども園（幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設）	1	0.4	5.0	10時間以上 11時間未満	100.0	12時間以上	100.0
小規模な保育施設（国が定める最低基準に適合した施設で市町村の認可を受けた定員が概ね6～19人のもの）	0	0.0	0.0	-	-	-	-
家庭的保育（保育者の家庭等で5人以下の子どもを保育する事業）	0	0.0	0.0	-	-	-	-
事業所内保育施設（企業が主に従業員用に運営する施設）	0	0.0	0.0	-	-	-	-
自治体の認証・認定保育施設（認可保育所ではないが、自治体が認証・認定した施設）	1	0.4	1.0	2時間以上 3時間未満	100.0	無回答	-
その他の認可外の保育施設	0	0.0	0.0	-	-	-	-
居宅訪問型保育（ベビーシッターのような保育者が子どもの家庭で保育する事業）	0	0.0	0.0	-	-	-	-
ファミリー・サポート・センター（地域住民が子どもを預かる事業）	0	0.0	0.0	-	-	-	-
その他	1	0.4	5.0	2時間以上 3時間未満	100.0	無回答	-

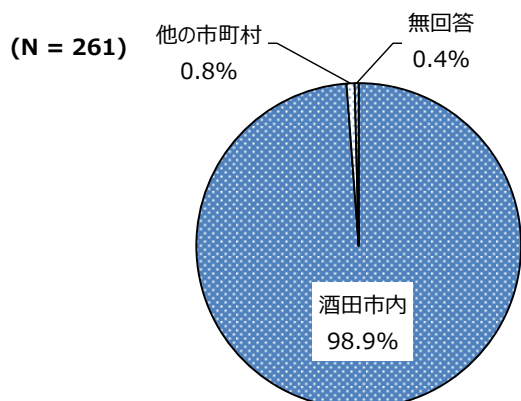
※利用日数は一週間当たりの日数としている。

※現在の利用時間、希望する利用時間は最も割合の高い項目としている。

(1)-3 現在、利用している教育・保育事業の実施場所について(就学前児童調査のみ)

「酒田市内」が98.9%と最も高く、次いで「他の市町村」が0.8%、「無回答」が0.4%となっている。

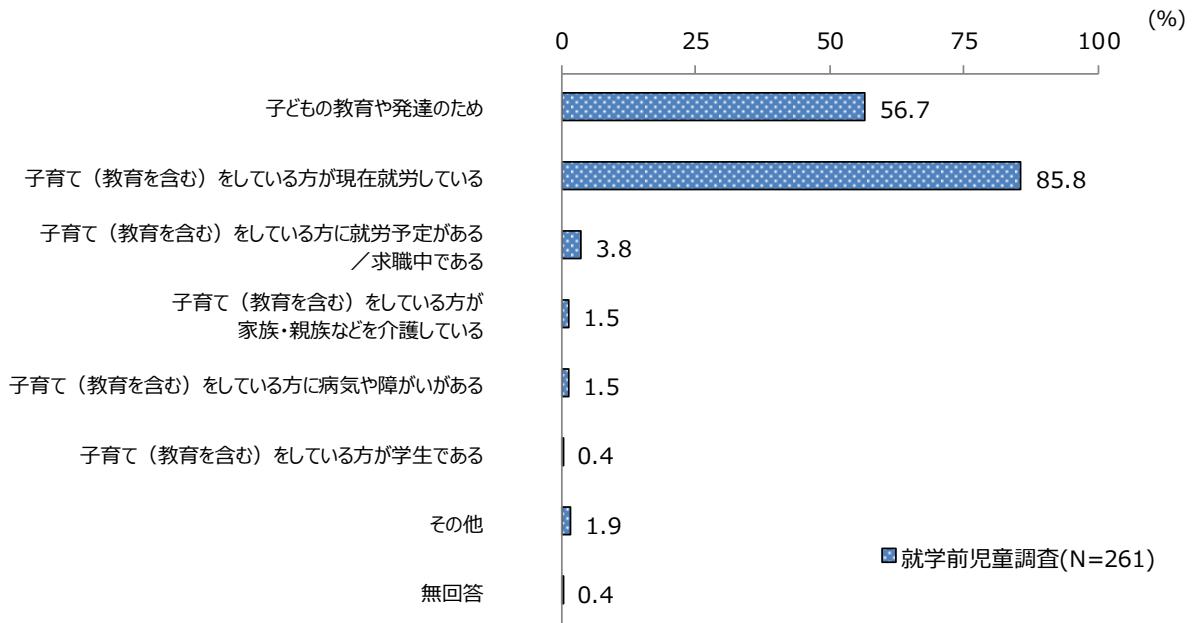
問 18-3 [-] 現在、利用している教育・保育事業の実施場所について



(1)-4 平日に定期的に教育・保育の事業を利用されている理由について(就学前児童調査のみ)

「子育て（教育を含む）をしている方が現在就労している」が85.8%と最も高く、次いで「子どもの教育や発達のため」が56.7%、「子育て（教育を含む）をしている方に就労予定がある／求職中である」が3.8%となっている。

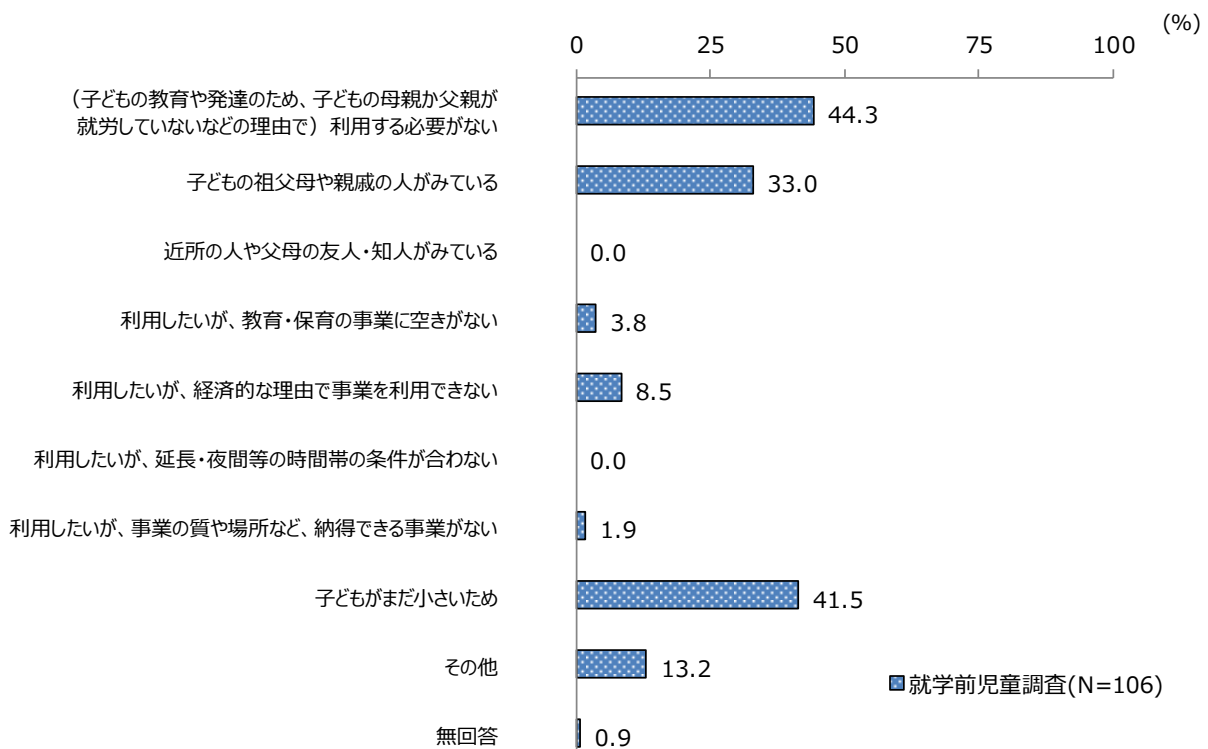
問 18-4 [-] 平日に定期的に教育・保育の事業を利用されている理由について



(1)-5 利用していない理由(就学前児童調査のみ)

「(子どもの教育や発達のため、子どもの母親か父親が就労していないなどの理由で) 利用する必要がない」が44.3%と最も高く、次いで「子どもがまだ小さいため」が41.5%、「子どもの祖父母や親戚の人がみている」が33.0%となっている。

問 18-5 [-] 利用していない理由



(1)-6 預けたい子どもの年齢(就学前児童調査のみ)

「0歳」が50.0%と最も高く、次いで「2歳」が40.9%、「1歳」が6.8%となっている。

問 18-6 [-] 預けたい子どもの年齢

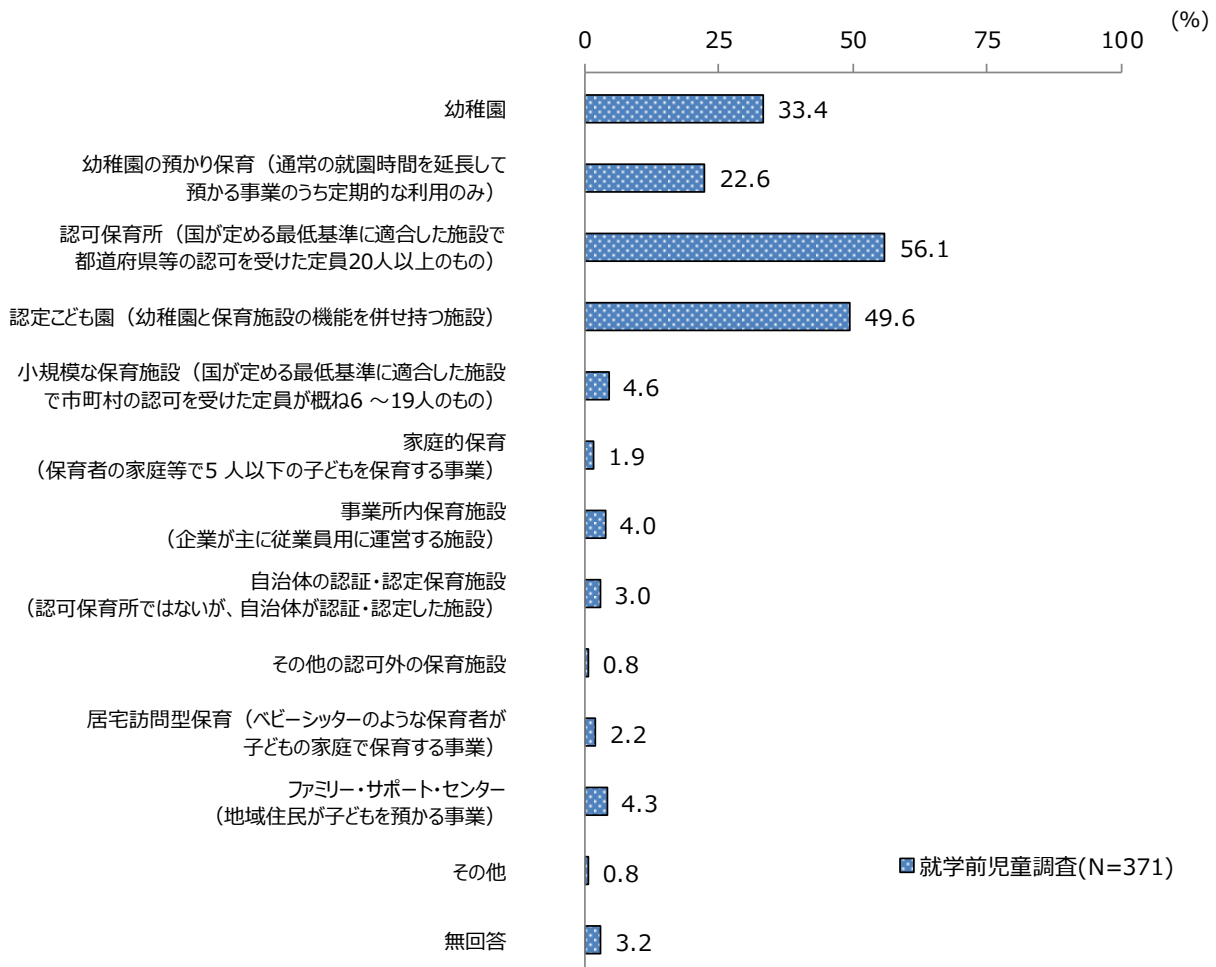
	N	0歳	1歳	2歳	3歳	無回答
就学前児童調査	44	50.0	6.8	40.9	0.0	2.3

■ 上位1位 ■ 上位2位 ■ 上位3位

(2)「定期的に」利用したいと考える事業について(就学前児童調査のみ)

「認可保育所（国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けた定員 20 人以上のもの）」が 56.1%と最も高く、次いで「認定こども園（幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設）」が 49.6%、「幼稚園」が 33.4%となっている。

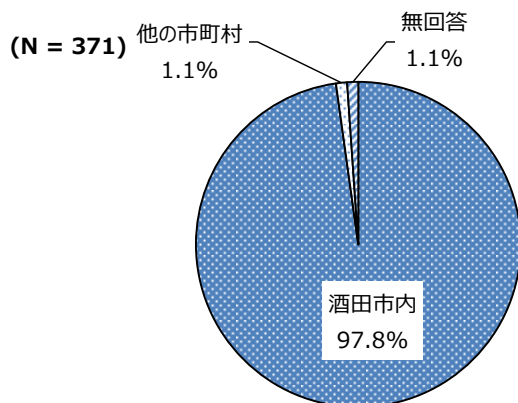
問 19 [-] 「定期的に」利用したいと考える事業について



(2)-1 教育・保育事業を利用したい場所について(就学前児童調査のみ)

「酒田市内」が97.8%と最も高く、次いで「他の市町村」及び「無回答」が1.1%となっている。

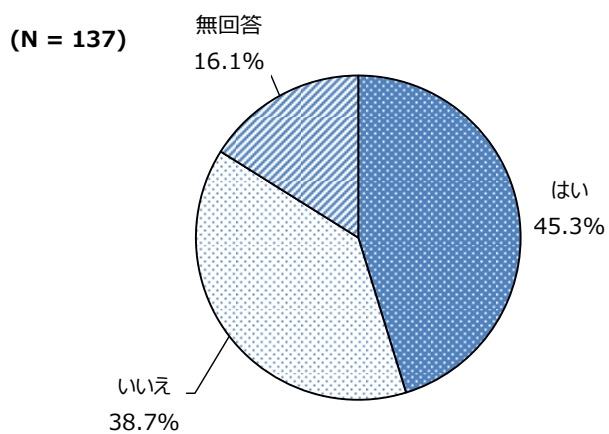
問 19-1 [-] 教育・保育事業を利用したい場所について



(2)-2 特に幼稚園の利用を強く希望するか(就学前児童調査のみ)

「はい」が45.3%と「いいえ」の38.7%を上回った。

問 19-2 [-] 特に幼稚園の利用を強く希望するか

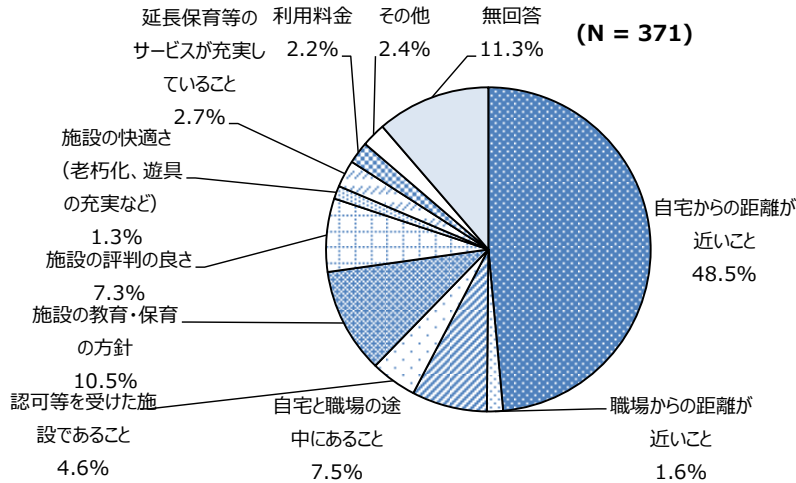


(2)-3 幼稚園や保育所などの施設利用を希望する際、施設選びで優先する条件（1位）

(就学前児童調査のみ)

「自宅からの距離が近いこと」が48.5%と最も高く、次いで「施設の教育・保育の方針」が10.5%、「自宅と職場の途中にあること」が7.5%となっている。

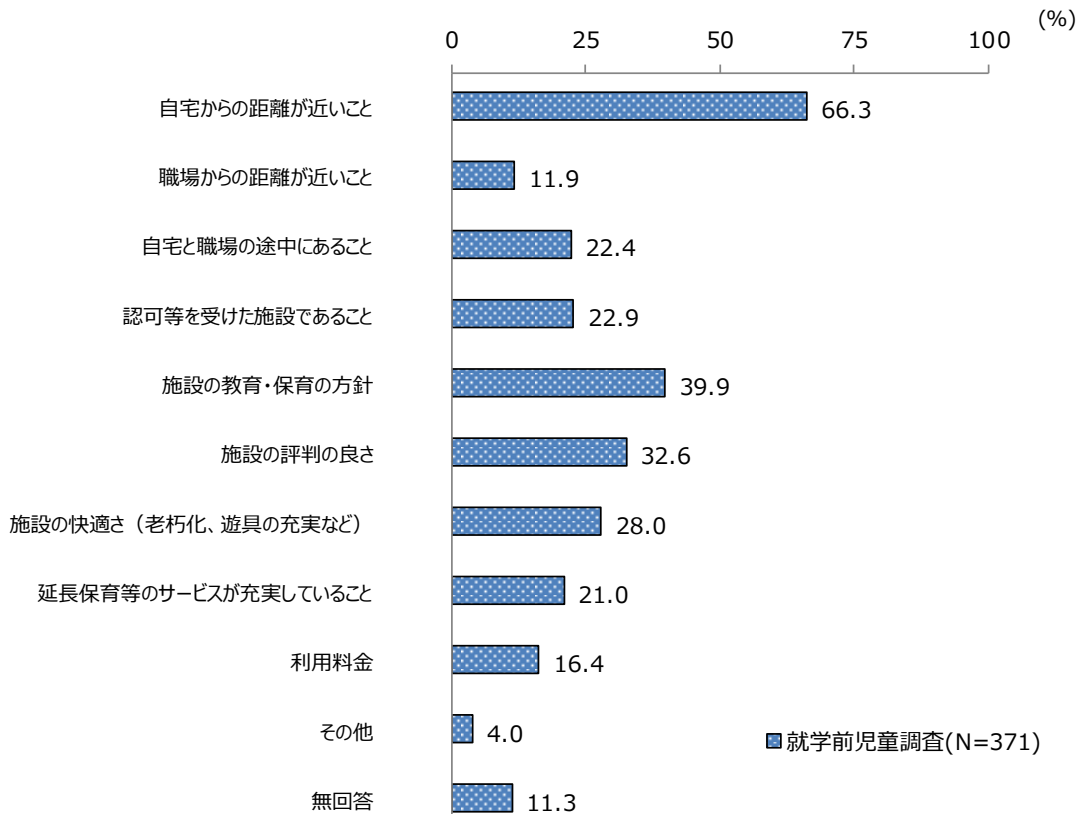
問 19-3 [-] 幼稚園や保育所などの施設利用を希望する際、施設選びで優先する条件（1位）



(2)-4 幼稚園や保育所などの施設利用を希望する際、施設選びで優先する条件（1位～3位）

「自宅からの距離が近いこと」が66.3%と最も高く、次いで「施設の教育・保育の方針」が39.9%、「施設の評判の良さ」が32.6%となっている。

問 19-3 [-] 幼稚園や保育所などの施設利用を希望する際、施設選びで優先する条件（1位～3位）



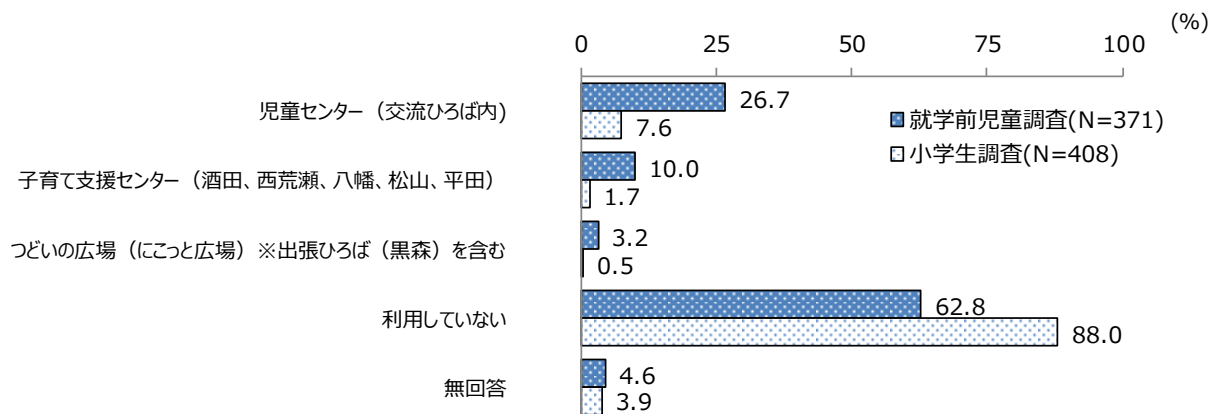
5.子どもの地域の子育て支援拠点事業の利用状況について

(1)地域子育て支援拠点事業の利用について

就学前児童調査では、「利用していない」が62.8%と最も高く、次いで「児童センター（交流ひろば内）」が26.7%、「子育て支援センター（酒田、西荒瀬、八幡、松山、平田）」が10.0%となっている。

小学生調査では、「利用していない」が88.0%と最も高く、次いで「児童センター（交流ひろば内）」が7.6%、「子育て支援センター（酒田、西荒瀬、八幡、松山、平田）」が1.7%となっている。

問 20 [問 18] 地域子育て支援拠点事業の利用について



(1)-1 児童センターの利用頻度（週当たり）

就学前児童調査では、無回答を除き「1回」が9.1%と最も高く、「3回」が5.1%となっている。
小学生調査では、無回答を除き「3回」が3.2%となっている。

問 20 [問 18] 児童センターの利用頻度（週当たり）

	N	1回	2回	3回	4回	5回以上	無回答
就学前児童調査	99	9.1	1.0	5.1	1.0	0.0	83.8
小学生調査	31	0.0	0.0	3.2	0.0	0.0	96.8

■ 上位1位 ■ 上位2位 ■ 上位3位

(1)-2 児童センターの利用頻度（月当たり）

就学前児童調査では、「1回」が60.6%と最も高く、次いで「2回」が13.1%となっている。

小学生調査では、「1回」が51.6%と最も高く、次いで「2回」が22.6%となっている。

問 20 [問 18] 児童センターの利用頻度（月当たり）

	N	1回	2回	3回	4回	5回以上	無回答
就学前児童調査	99	60.6	13.1	9.1	0.0	2.0	15.2
小学生調査	31	51.6	22.6	3.2	0.0	3.2	19.4

■ 上位1位 ■ 上位2位 ■ 上位3位

(1)-3 子育て支援センターの利用頻度（週当たり）

就学前児童調査では、無回答を除き「1回」が16.2%と最も高く、次いで、「2回」が10.8%となっている。

小学生調査では、無回答を除き「2回」が14.3%となっている。

問 20 [問 18] 子育て支援センターの利用頻度（週当たり）

	N	1回	2回	3回	4回	5回以上	無回答
就学前児童調査	37	16.2	10.8	2.7	2.7	2.7	64.9
小学生調査	7	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	85.7

■ 上位1位 ■ 上位2位 ■ 上位3位

(1)-4 子育て支援センターの利用頻度（月当たり）

就学前児童調査では、「1回」が40.5%と最も高く、次いで「2回」及び「3回」が8.1%となっている。

小学生調査では、「1回」が42.9%と最も高く、次いで「2回」及び「5回以上」が14.3%となっている。

問 20 [問 18] 子育て支援センターの利用頻度（月当たり）

	N	1回	2回	3回	4回	5回以上	無回答
就学前児童調査	37	40.5	8.1	8.1	2.7	5.4	35.1
小学生調査	7	42.9	14.3	0.0	0.0	14.3	28.6

■ 上位1位 ■ 上位2位 ■ 上位3位

(1)-5 つどいの広場（にこっと広場）の利用頻度（週当たり）

就学前児童調査では、無回答を除き「2回」及び「4回」が8.3%となっている。
小学生調査では、回答がなかった。

問 20 [問 18] つどいの広場（にこっと広場）の利用頻度（週当たり）

	N	1回	2回	3回	4回	5回以上	無回答
就学前児童調査	12	0.0	8.3	0.0	8.3	0.0	83.3
小学生調査	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0

■ 上位1位 ■ 上位2位 ■ 上位3位

(1)-6 つどいの広場（にこっと広場）の利用頻度（月当たり）

就学前児童調査では、「1回」が50.0%と最も高く、次いで「2回」が16.7%となっている。
小学生調査では、回答が5件未満であった。

問 20 [問 18] つどいの広場（にこっと広場）の利用頻度（月当たり）

	N	1回	2回	3回	4回	5回以上	無回答
就学前児童調査	12	50.0	16.7	8.3	0.0	0.0	25.0
小学生調査	2	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0

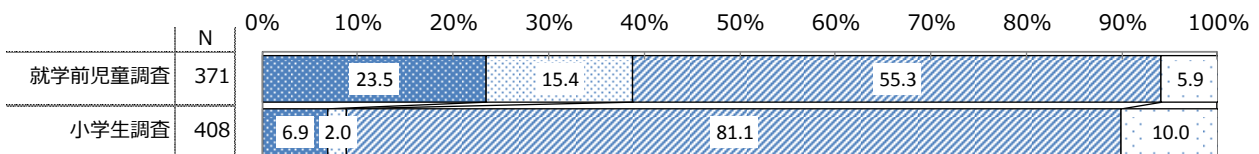
■ 上位1位 ■ 上位2位 ■ 上位3位

(2)今後の利用、あるいは利用日数増加の意向

就学前児童調査では、「新たに利用したり、利用日数を増やしたいと思わない」が55.3%と最も高く、次いで「利用していないが今後利用したい」が23.5%、「すでに利用しているが今後利用日数を増やしたい」が15.4%となっている。

小学生調査では、「新たに利用したり、利用日数を増やしたいと思わない」が81.1%と最も高く、次いで「無回答」が10.0%、「利用していないが今後利用したい」が6.9%となっている。

問 21 [問 19] 今後の利用、あるいは利用日数増加の意向



■ 利用していないが今後利用したい □ すでに利用しているが今後利用日数を増やしたい
■ 新たに利用したり、利用日数を増やしたいと思わない □ 無回答

(2)-1 現在利用していない人の今後の利用意向（週当たり）

就学前児童調査では、無回答を除き「1回」が13.8%と最も高く、次いで、「2回」が3.4%となっている。

小学生調査では、無回答を除き「1回」が7.1%となっている。

問 21 [問 19] 現在利用していない人の今後の利用意向（週当たり）

	N	1回	2回	3回	4回	5回以上	無回答
就学前児童調査	87	13.8	3.4	2.3	0.0	0.0	80.5
小学生調査	28	7.1	0.0	0.0	0.0	0.0	92.9

■ 上位1位 ■ 上位2位 ■ 上位3位

(2)-2 現在利用していない人の今後の利用意向（月当たり）

就学前児童調査では、「1回」が47.1%と最も高く、次いで「2回」が28.7%となっている。

小学生調査では、「1回」が57.1%と最も高く、次いで「2回」が35.7%、「4回」が3.6%となっている。

問 21 [問 19] 現在利用していない人の今後の利用意向（月当たり）

	N	1回	2回	3回	4回	5回以上	無回答
就学前児童調査	87	47.1	28.7	4.6	1.1	1.1	17.2
小学生調査	28	57.1	35.7	0.0	3.6	0.0	3.6

■ 上位1位 ■ 上位2位 ■ 上位3位

(2)-3 すでに利用している人の今後の利用希望日数（週当たり）

就学前児童調査では、無回答を除き「1回」が28.1%と最も高く、次いで「3回」及び「4回」が5.3%となっている。

小学生調査では、無回答を除き「1回」が25.0%となっている。

問 21 [問 19] すでに利用している人の今後の利用希望日数（週当たり）

	N	1回	2回	3回	4回	5回以上	無回答
就学前児童調査	57	28.1	3.5	5.3	5.3	1.8	56.1
小学生調査	8	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	75.0

■ 上位1位 ■ 上位2位 ■ 上位3位

(2)-4 すでに利用している人の今後の利用希望日数（月当たり）

就学前児童調査では、無回答を除き「2回」が22.8%と最も高く、次いで「3回」が14.0%となっている。

小学生調査では、「2回」が50.0%と最も高く、次いで「1回」が12.5%となっている。

問 21 [問 19] すでに利用している人の今後の利用希望日数（月当たり）

	N	1回	2回	3回	4回	5回以上	無回答
就学前児童調査	57	10.5	22.8	14.0	7.0	1.8	43.9
小学生調査	8	12.5	50.0	0.0	0.0	0.0	37.5

■ 上位1位 ■ 上位2位 ■ 上位3位

(3)酒田市の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後利用したいと思うもの

就学前児童調査では、12事業のうち、「知っている」で「はい」と回答した割合が半数以上のものは5サービス、「これまでに利用したことがある」、「今後利用したい」で「はい」と回答した割合が半数以上のものはそれぞれ2サービスであった。

小学生調査では、「知っている」で「はい」と回答した割合が半数以上のものは4サービス、「これまでに利用したことがある」、「今後利用したい」で「はい」と回答した割合が「いいえ」を上回るものはそれぞれ1サービスであった。

問 22 [問 20] 酒田市の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後利用したいと思うもの

就学前児童調査

サービス内容	A				B				C			
	知っている				これまでに利用したことがある				今後利用したい			
	N	はい	いいえ	無回答	N	はい	いいえ	無回答	N	はい	いいえ	無回答
①マタニティ教室（市民健康センター内で実施）	371	81.1	13.5	5.4	371	31.3	62.3	6.5	371	25.9	63.9	10.2
②母子相談室（※現在の「ぎゅっと」）	371	76.8	19.1	4.0	371	23.7	69.0	7.3	371	40.7	49.6	9.7
③家庭教育に関する講座（総合文化センター内で実施）	371	14.8	81.4	3.8	371	1.6	88.9	9.4	371	25.1	65.5	9.4
④教育相談室（総合文化センター内で実施）	371	14.6	81.1	4.3	371	2.4	88.1	9.4	371	22.9	67.1	10.0
⑤青少年指導センター	371	9.2	86.8	4.0	371	0.3	90.3	9.4	371	9.7	80.1	10.2
⑥家庭児童相談室（子育て支援課内）	371	33.4	62.3	4.3	371	4.9	86.5	8.6	371	21.8	68.5	9.7
⑦母子自立支援等の相談窓口（子育て支援課内）	371	17.8	77.9	4.3	371	1.1	89.2	9.7	371	8.9	80.3	10.8
⑧地域子育て応援団事業	371	23.5	72.2	4.3	371	6.7	83.6	9.7	371	25.9	63.1	11.1
⑨保育園や認定こども園等の開放事業	371	63.9	30.5	5.7	371	29.1	62.3	8.6	371	37.7	52.8	9.4
⑩C A P 講座（子どもへの暴力防止に関する講座）	371	8.6	86.3	5.1	371	3.8	86.0	10.2	371	14.3	74.7	11.1
⑪子育てハンドブック	371	77.1	17.8	5.1	371	56.6	36.7	6.7	371	60.4	29.6	10.0
⑫市のホームページ	371	83.3	12.9	3.8	371	60.1	32.6	7.3	371	64.7	25.6	9.7

小学生調査

サービス内容	A				B				C			
	知っている				これまでに利用したことがある				今後利用したい			
	N	はい	いいえ	無回答	N	はい	いいえ	無回答	N	はい	いいえ	無回答
①マタニティ教室（市民健康センター内で実施）	408	76.5	18.9	4.7	408	37.0	55.9	7.1	408	6.4	80.9	12.7
②母子相談室（※現在の「ぎゅっと」）	408	47.1	48.8	4.2	408	7.8	82.4	9.8	408	6.9	80.9	12.3
③家庭教育に関する講座（総合文化センター内で実施）	408	19.4	76.2	4.4	408	2.5	87.3	10.3	408	15.4	72.5	12.0
④教育相談室（総合文化センター内で実施）	408	31.9	64.2	3.9	408	8.3	81.9	9.8	408	15.9	72.3	11.8
⑤青少年指導センター	408	20.3	76.0	3.7	408	0.2	89.2	10.5	408	5.6	81.9	12.5
⑥家庭児童相談室（子育て支援課内）	408	38.5	57.8	3.7	408	3.7	85.8	10.5	408	11.0	76.2	12.7
⑦母子自立支援等の相談窓口（子育て支援課内）	408	24.5	71.8	3.7	408	0.5	89.7	9.8	408	2.9	84.6	12.5
⑧地域子育て応援団事業	408	24.3	71.1	4.7	408	5.6	83.6	10.8	408	10.8	76.0	13.2
⑨保育園や認定こども園等の開放事業	408	55.4	40.9	3.7	408	25.2	64.5	10.3	408	6.6	80.6	12.7
⑩C A P 講座（子どもへの暴力防止に関する講座）	408	16.4	79.2	4.4	408	6.6	83.1	10.3	408	7.8	79.7	12.5
⑪子育てハンドブック	408	59.3	36.3	4.4	408	34.8	55.1	10.0	408	28.7	59.3	12.0
⑫市のホームページ	408	75.5	21.1	3.4	408	45.6	45.1	9.3	408	50.7	38.5	10.8

※「はい」「いいえ」の割合の高い方に色を付けている。

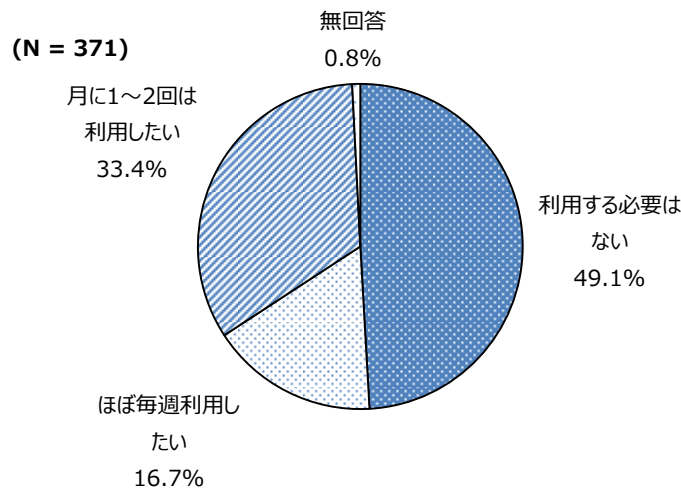
6. 子どもの土曜・休日や長期休暇中の「定期的な」教育・保育事業の利用希望について

(1) 土曜日の定期的な教育・保育の事業の利用希望（一時的な利用は除く）

（就学前児童調査のみ）

「利用する必要はない」が49.1%と最も高く、次いで「月に1～2回は利用したい」が33.4%、「ほぼ毎週利用したい」が16.7%となっている。

問 23 (1) [-] 土曜日の定期的な教育・保育の事業の利用希望（一時的な利用は除く）



(1)-1 土曜日の利用したい時間帯（一時的な利用は除く）（就学前児童調査のみ）

開始時間は「8:00」が32.8%と最も高く、次いで「9:00」が27.4%、「8:30」が16.7%となっている。

終了時間は「18:00」が22.0%と最も高く、次いで「16:00」が20.4%、「17:00」が19.9%となっている。

問 23 (1) -① [-] 土曜日の利用したい時間帯（一時的な利用は除く）

開始時間

	N	5:30	6:00	6:30	7:00	7:30	8:00	8:30	9:00	9:30	
就学前児童調査	186	0.0	0.5	0.0	5.4	11.8	32.8	16.7	27.4	1.1	
		10:00	10:30	11:00	11:30	12:00	12:30	13:00	13:30	14:00	無回答
		1.6	0.5	0.0	0.0	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	1.6

■ 上位1位 ■ 上位2位 ■ 上位3位

終了時間

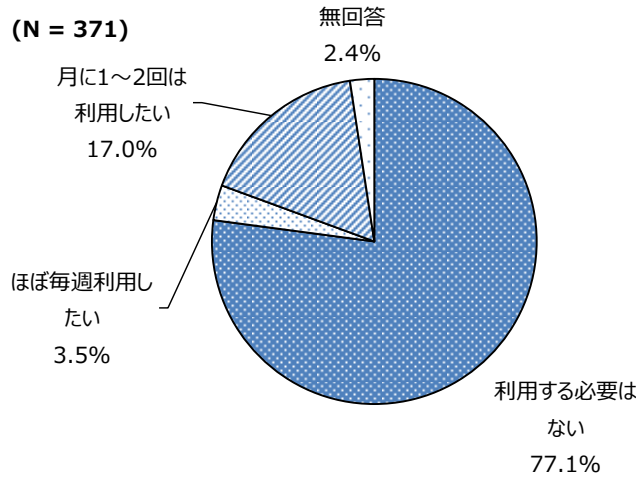
	N	5:30	6:00	6:30	7:00	7:30	8:00	8:30	9:00	9:30
就学前児童調査	186	0.0	0.0	0.0	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		10:00	10:30	11:00	11:30	12:00	12:30	13:00	13:30	14:00
		0.0	0.0	0.0	1.1	5.4	1.1	1.1	1.1	1.6
		14:30	15:00	15:30	16:00	16:30	17:00	17:30	18:00	18:30
		0.0	3.8	0.5	20.4	2.7	19.9	8.6	22.0	4.8
		19:00	19:30	無回答						
		3.2	0.5	1.6						

■ 上位1位 ■ 上位2位 ■ 上位3位

(2)日曜日・祝日の定期的な教育・保育の事業の利用希望（一時的な利用は除く）
 (就学前児童調査のみ)

「利用する必要はない」が77.1%と最も高く、次いで「月に1～2回は利用したい」が17.0%、「ほぼ毎週利用したい」が3.5%となっている。

問 23 (2) [-] 日曜日・祝日の定期的な教育・保育の事業の利用希望（一時的な利用は除く）



(2)-1 日曜日・祝日の利用したい時間帯(就学前児童調査のみ)

開始時間は「8:00」が32.9%と最も高く、次いで「9:00」が31.6%、「8:30」が18.4%となっている。

終了時間は「18:00」が28.9%と最も高く、次いで「17:00」が22.4%、「17:30」が10.5%となっている。

問 23 (2) -① [-] 日曜日・祝日の利用したい時間帯

開始時間

	N	5:30	6:00	6:30	7:00	7:30	8:00	8:30	9:00	9:30	
就学前児童調査	76	0.0	1.3	0.0	2.6	9.2	32.9	18.4	31.6	0.0	
		10:00	10:30	11:00	11:30	12:00	12:30	13:00	13:30	14:00	無回答
		1.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.3	0.0	0.0	1.3

■ 上位1位 ■ 上位2位 ■ 上位3位

終了時間

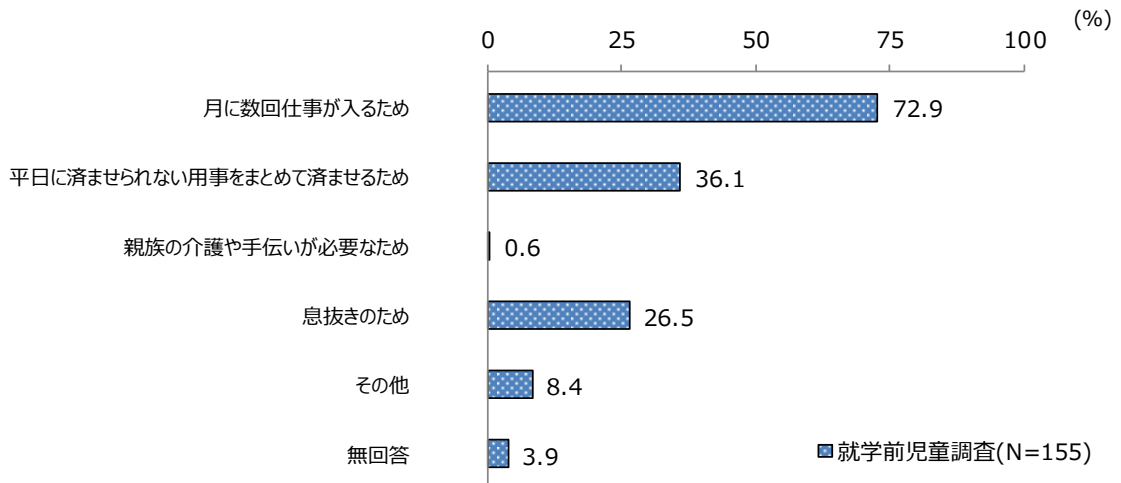
	N	10:00	10:30	11:00	11:30	12:00	12:30	13:00	13:30	14:00
就学前児童調査	76	0.0	0.0	0.0	0.0	9.2	1.3	1.3	0.0	2.6
		14:30	15:00	15:30	16:00	16:30	17:00	17:30	18:00	18:30
		0.0	2.6	1.3	9.2	2.6	22.4	10.5	28.9	1.3
		19:00	無回答							
		5.3	1.3							

■ 上位1位 ■ 上位2位 ■ 上位3位

(3)土曜日、日曜・祝日にたまに利用したい理由(就学前児童調査のみ)

「月に数回仕事が入るため」が72.9%と最も高く、次いで「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」が36.1%、「息抜きのため」が26.5%となっている。

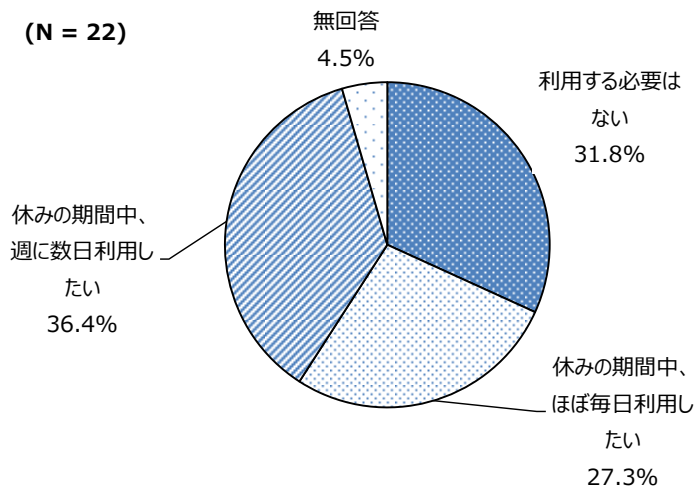
問 23-1 [-] 土曜日、日曜・祝日にたまに利用したい理由



(4)長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用希望(就学前児童調査のみ)

「休みの期間中、週に数日利用したい」が36.4%と最も高く、次いで「利用する必要はない」が31.8%、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」が27.3%となっている。

問 24 [-] 長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用希望



(4)-1 長期の休暇期間中の利用したい時間帯(就学前児童調査のみ)

開始時間は「9:00」が57.1%と最も高く、次いで「8:00」が28.6%、「8:30」が14.3%となっている。

終了時間は「17:00」が35.7%と最も高く、次いで「18:00」が21.4%、「14:00」が14.3%となっている。

問 24-1 [-] 長期の休暇期間中の利用したい時間帯

開始時間

	N	5:30	6:00	6:30	7:00	7:30	8:00	8:30	9:00	9:30	無回答
就学前児童調査	14	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	28.6	14.3	57.1	0.0	0.0

■ 上位1位 ■ 上位2位 ■ 上位3位

終了時間

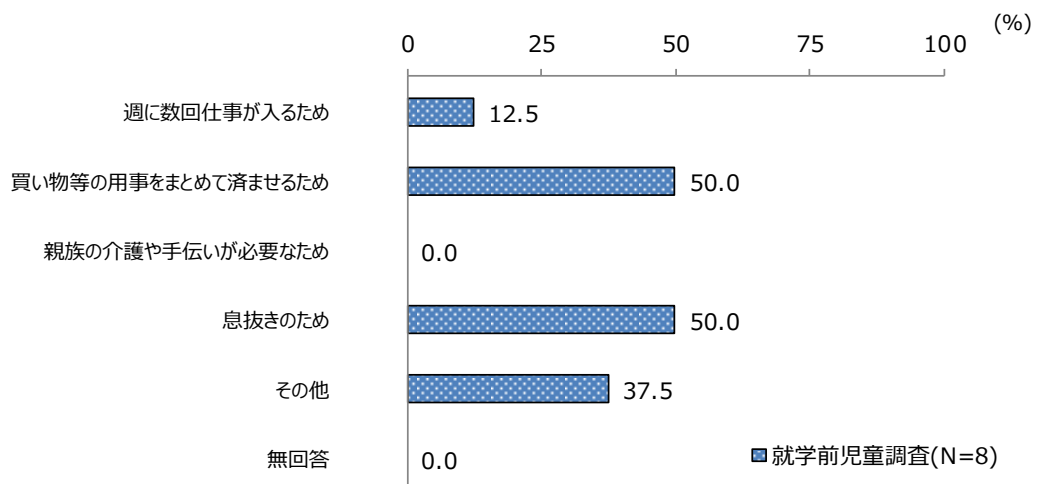
	N	5:30	6:00	6:30	7:00	7:30	8:00	8:30	9:00	9:30	
就学前児童調査	14	0.0	0.0	0.0	7.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
		10:00	10:30	11:00	11:30	12:00	12:30	13:00	13:30	14:00	
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	
		14:30	15:00	15:30	16:00	16:30	17:00	17:30	18:00	18:30	無回答
		0.0	7.1	7.1	7.1	0.0	35.7	0.0	21.4	0.0	0.0

■ 上位1位 ■ 上位2位 ■ 上位3位

(5)長期の休暇期間中にたまたに利用したい理由(就学前児童調査のみ)

「買い物等の用事をまとめて済ませるため」及び「息抜きのため」が50.0%と最も高く、次いで「その他」が37.5%となっている。

問 24-2 [-] 長期の休暇期間中にたまたに利用したい理由

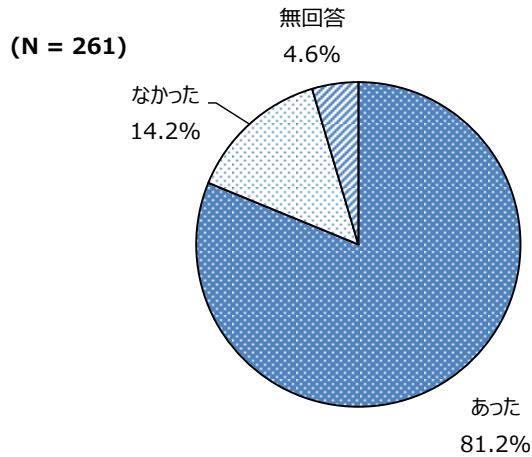


7.子どもの病気の際の対応について（平日の教育・保育を利用する方のみ）

(1)通常の事業が利用できなかったことはありますか（就学前児童調査のみ）

「あった」が81.2%と大半を占めている。

問 25 [-] 通常の事業が利用できなかったことはありますか

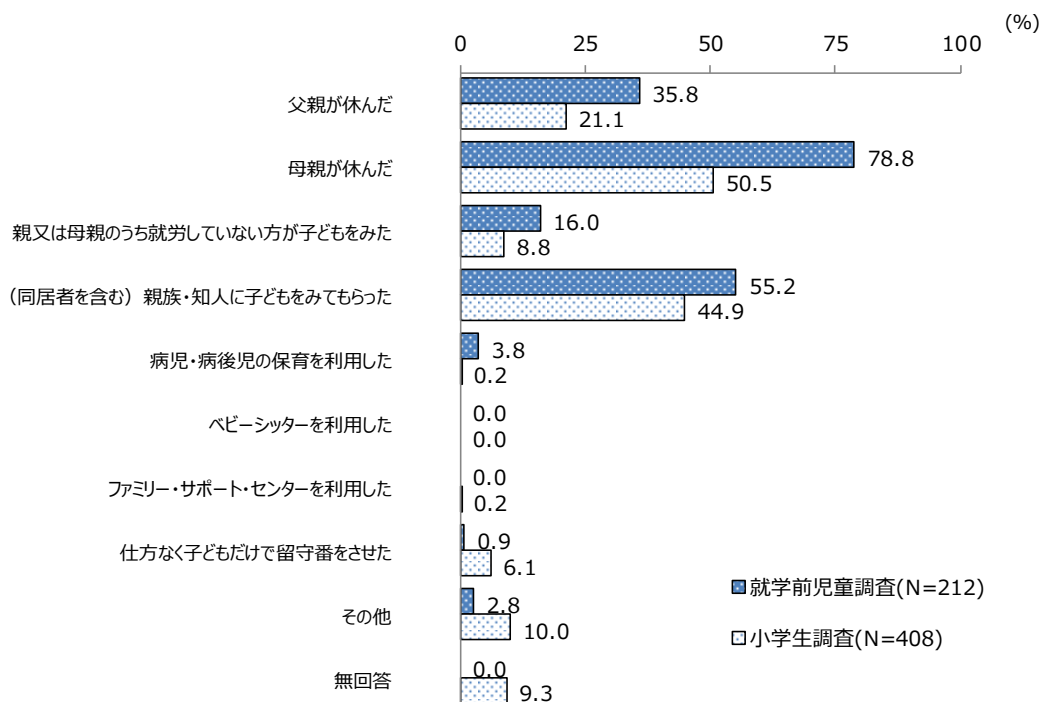


(1)-1 教育・保育の事業が利用できなかった場合の対処方法

就学前児童調査では、「母親が休んだ」が78.8%と最も高く、次いで「(同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった」が55.2%、「父親が休んだ」が35.8%となっている。

小学生調査では、「母親が休んだ」が50.5%と最も高く、次いで「(同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった」が44.9%、「父親が休んだ」が21.1%となっている。

問 25-1 [問 21] 教育・保育の事業が利用できなかった場合の対処方法



問 25-1 [問 21] 対処方法別日数（合計日数・平均日数）

就学前児童調査

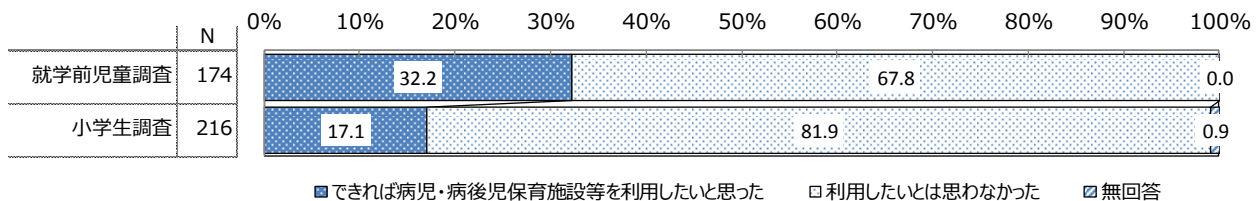
小学生調査

1年間の対処方法	N	合計日数	平均日数	1年間の対処方法	N	合計日数	平均日数
ア. 父親が休んだ	74	298	4.0	ア. 父親が休んだ	81	185	2.3
イ. 母親が休んだ	160	1,104	6.9	イ. 母親が休んだ	198	759	3.8
ウ. 父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	29	263	9.1	ウ. 父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	33	127	3.9
エ. (同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった	114	743	6.5	エ. (同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった	173	586	3.4
オ. 病児・病後児の保育を利用した	7	36	5.1	オ. 病児・病後児の保育を利用した	1	10	10.0
カ. ベビーシッターを利用した	0	0	0.0	カ. ベビーシッターを利用した	0	0	0.0
キ. ファミリー・サポート・センターを利用した	0	0	0.0	キ. ファミリー・サポート・センターを利用した	1	1	1.0
ク. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	2	6	3.0	ク. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	25	93	3.7
ケ. その他	4	12	3.0	ケ. その他	8	21	2.6

(2)「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思ったか

就学前児童調査では、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したいと思った」が 32.2%、小学生調査では、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したいと思った」が 17.1%といずれも半数未満となっている。

問 25-2 [問 21-1] 「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思ったか



(2)-1 できれば病児・病後児保育施設等を利用したいと思った日数

就学前児童調査では、「5日～9日」及び「10日～19日」が 21.4%と最も高く、次いで「3日」が 16.1%となっている。

小学生調査では、「2日」が 24.3%と最も高く、次いで「3日」が 21.6%、「1日」及び「5日～9日」が 16.2%となっている。

問 25-2 [問 21-1] できれば病児・病後児保育施設等を利用したいと思った日数

	N	1日	2日	3日	4日	5日～9日	10日～19日	20日以上	無回答
就学前児童調査	56	1.8	12.5	16.1	5.4	21.4	21.4	7.1	14.3
小学生調査	37	16.2	24.3	21.6	2.7	16.2	5.4	0.0	13.5

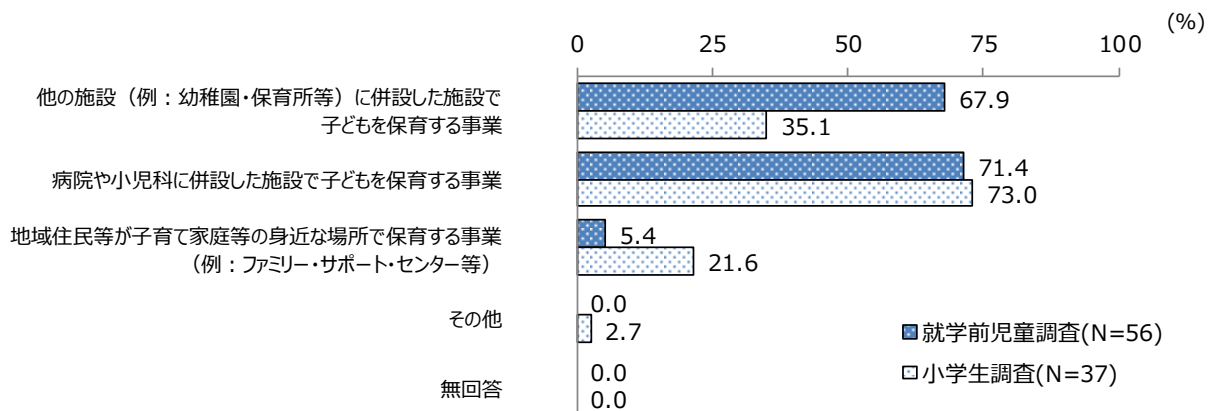
■ 上位1位 ■ 上位2位 ■ 上位3位

(3)病児・病後児保育施設等の望ましい事業形態

就学前児童調査では、「病院や小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」が71.4%と最も高く、次いで「他の施設（例：幼稚園・保育所等）に併設した施設で子どもを保育する事業」が67.9%、「地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業（例：ファミリー・サポート・センター等）」が5.4%となっている。

小学生調査では、「病院や小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」が73.0%と最も高く、次いで「他の施設（例：幼稚園・保育所等）に併設した施設で子どもを保育する事業」が35.1%、「地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業（例：ファミリー・サポート・センター等）」が21.6%となっている。

問 25-3 [問 21-2] 望ましい事業形態

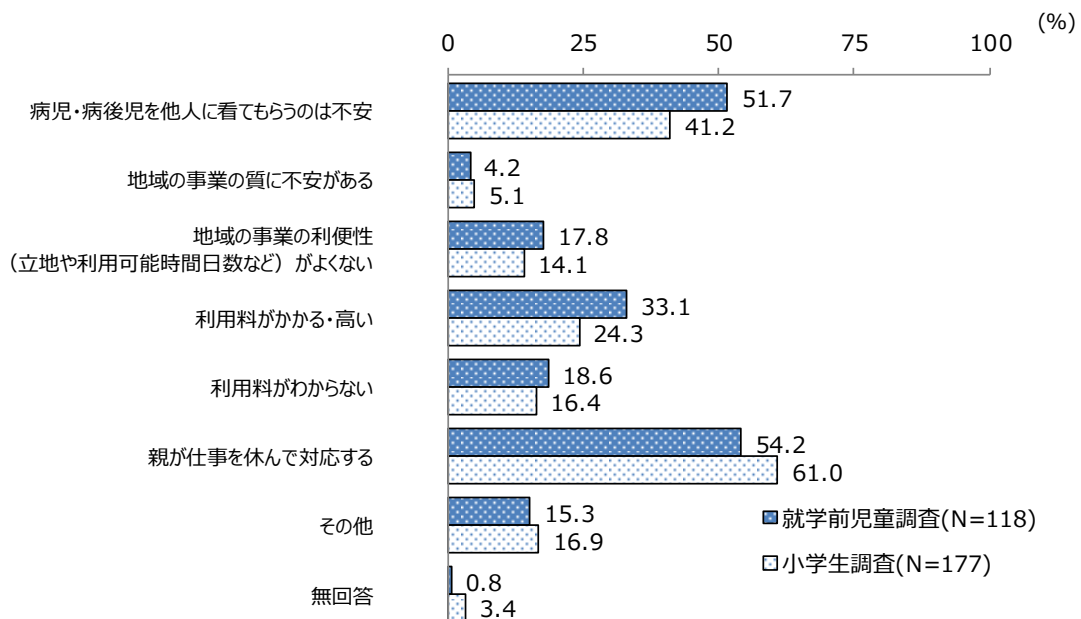


(4)病児・病後児保育施設等を「利用したいと思わない」理由

就学前児童調査では、「親が仕事を休んで対応する」が54.2%と最も高く、次いで「病児・病後児を他人に看てもらふのは不安」が51.7%、「利用料がかかる・高い」が33.1%となっている。

小学生調査では、「親が仕事を休んで対応する」が61.0%と最も高く、次いで「病児・病後児を他人に看てもらふのは不安」が41.2%、「利用料がかかる・高い」が24.3%となっている。

問 25-4 [問 21-3] 「利用したいと思わない」理由

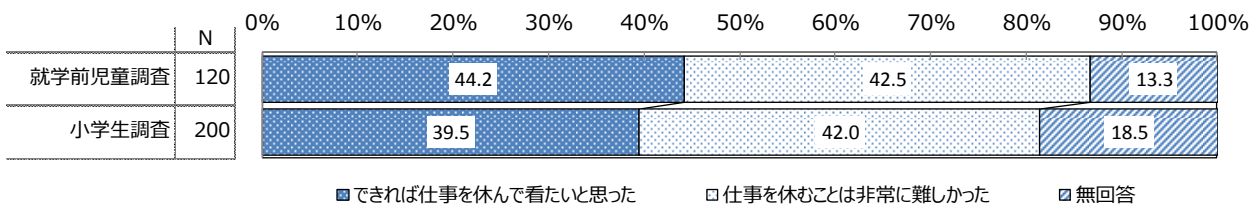


(5) 父母が看られなかった際に「父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思ったか

就学前児童調査では、「できれば仕事を休んで看たいと思った」が44.2%と最も高く、次いで「仕事を休むことは非常に難しかった」が42.5%、「無回答」が13.3%となっている。

小学生調査では、「仕事を休むことは非常に難しかった」が42.0%と最も高く、次いで「できれば仕事を休んで看たいと思った」が39.5%、「無回答」が18.5%となっている。

問 25-5 [問 21-4] 「父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思ったか

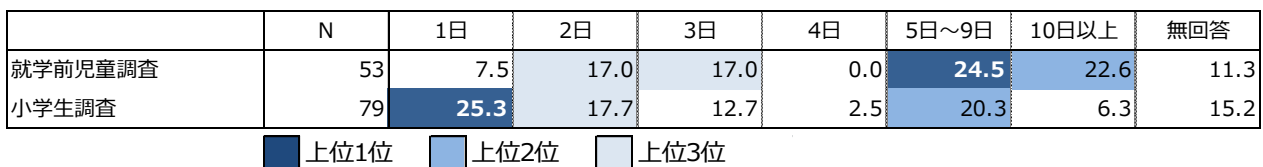


(5)-1 できれば仕事を休んで看たいと思った日数

就学前児童調査では、「5日～9日」が24.5%と最も高く、次いで「10日以上」が22.6%、「2日」及び「3日」が17.0%となっている。

小学生調査では、「1日」が25.3%と最も高く、次いで「5日～9日」が20.3%、「2日」が17.7%となっている。

問 25-5 [問 21-4] できれば仕事を休んで看たいと思った日数

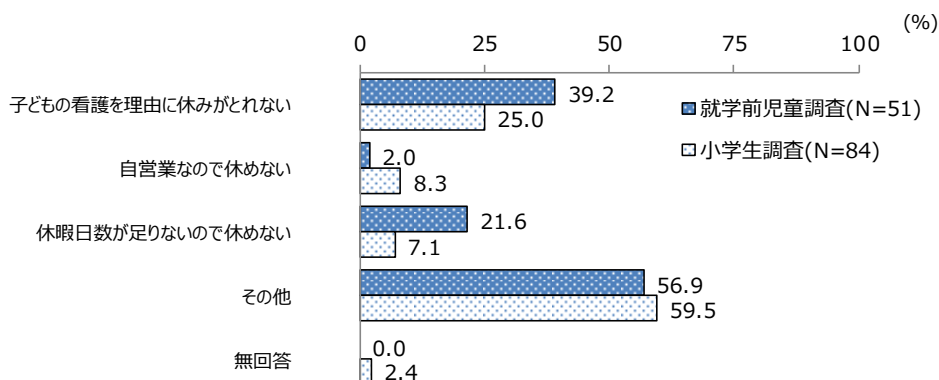


(5)-2 「仕事を休んで看することは非常に難しかった」理由

就学前児童調査では、「子どもの看護を理由に休みがとれない」が39.2%と最も高く、次いで「休暇日数が足りないので休めない」が21.6%となっている。また、「その他」が56.9%となっている。

小学生調査では、「子どもの看護を理由に休みがとれない」が25.0%と最も高く、次いで「自営業なので休めない」が8.3%となっている。また、「その他」が59.5%となっている。

問 25-6 [問 21-5] 「仕事を休んで看することは非常に難しかった」理由



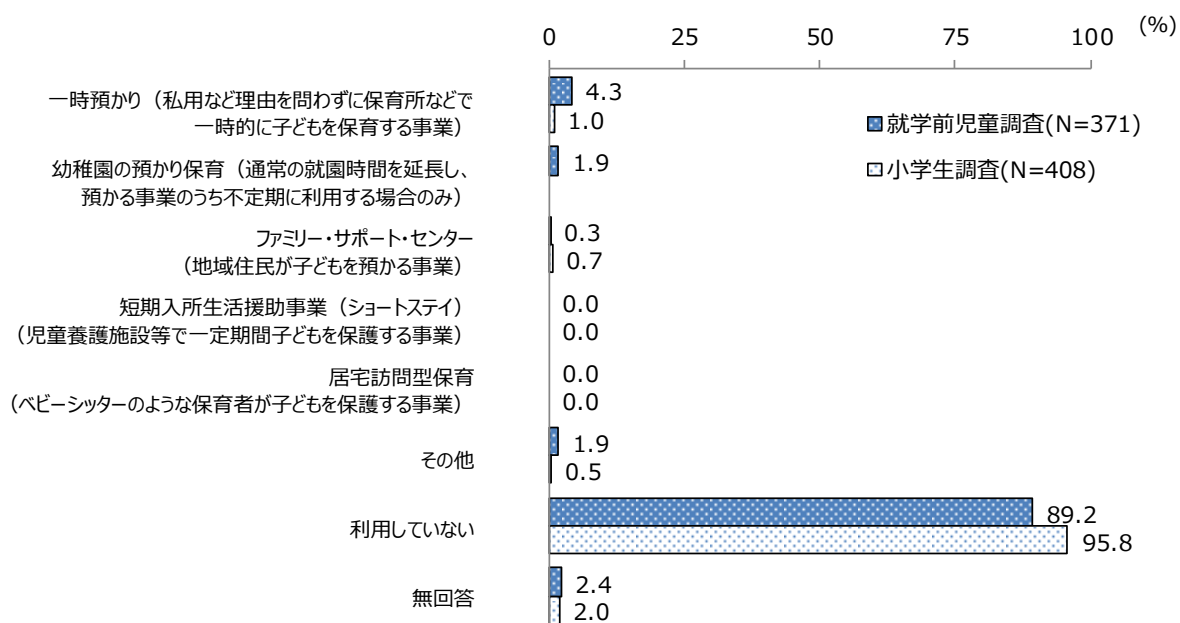
8.子どもの不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について

(1)不定期に利用している事業はありますか

就学前児童調査では、「利用していない」が89.2%と最も高く、次いで「一時預かり（私用など理由を問わずに保育所などで一時的に子どもを保育する事業）」が4.3%となっている。

小学生調査では、「利用していない」が95.8%と最も高く、「一時預かり（私用など理由を問わずに保育所などで一時的に子どもを保育する事業）」が1.0%となっている。

問 26 [問 22] 不定期に利用している事業はありますか



問 26 [問 22] 利用している事業別日数

就学前児童調査

利用している事業	N	合計日数	平均日数
1. 一時預かり（私用など理由を問わずに保育所などで一時的に子どもを保育する事業）	16	198	12.4
2. 幼稚園の預かり保育（通常の就園時間を延長し、預かる事業のうち不定期に利用する場合のみ）	7	250	35.7
3. ファミリー・サポート・センター（地域住民が子どもを預かる事業）	1	5	5.0
4. 短期入所生活援助事業（ショートステイ）（児童養護施設等で一定期間子どもを保護する事業）	0	0	0.0
5. ベビーシッター	0	0	0.0
6. その他	6	258	43.0

小学生調査

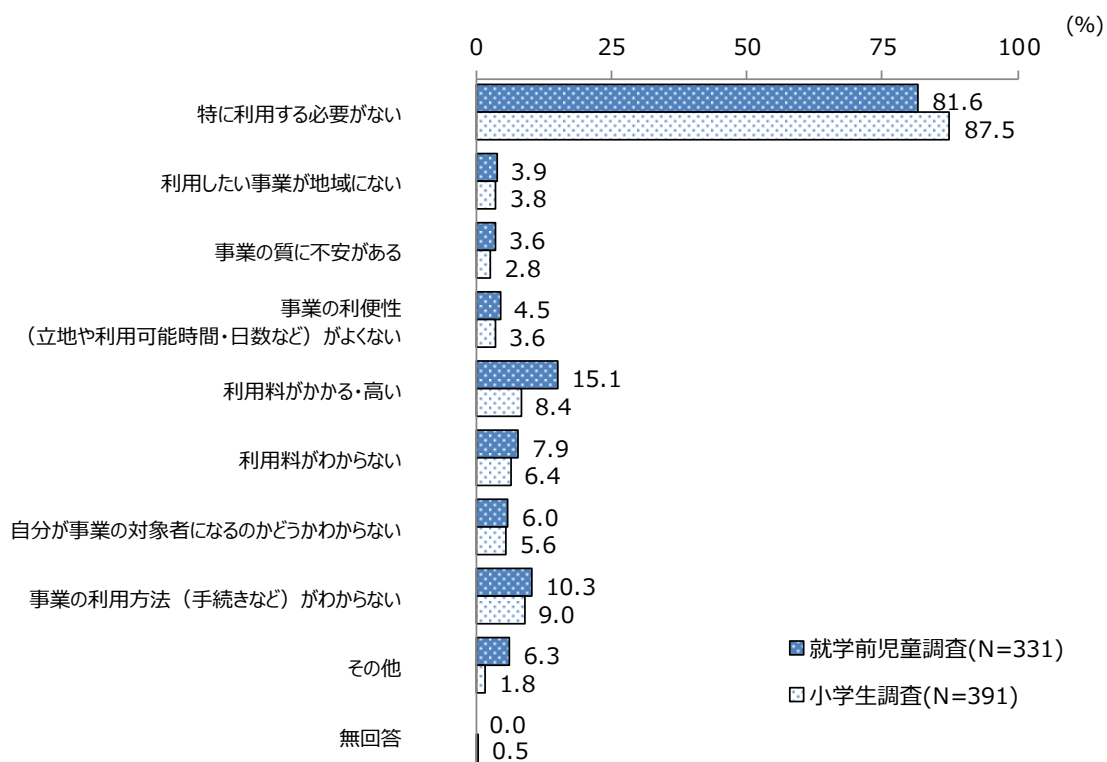
利用している事業	N	合計日数	平均日数
1. 一時預かり（私用など理由を問わずに保育所などで一時的に子どもを保育する事業）	4	314	78.5
2. ファミリー・サポート・センター（地域住民が子どもを預かる事業）	2	8	4.0
3. 短期入所生活援助事業（ショートステイ）（児童養護施設等で一定期間子どもを保護する事業）	0	0	0.0
5. 居宅訪問型保育（ベビーシッターのような保育者が子どもを保護する事業）	0	0	0.0
6. その他	2	7	3.5

(1)-1 利用していない理由

就学前児童調査では、「特に利用する必要がない」が81.6%と最も高く、次いで「利用料がかかる・高い」が15.1%、「事業の利用方法（手続きなど）がわからない」が10.3%となっている。

小学生調査では、「特に利用する必要がない」が87.5%と最も高く、次いで「事業の利用方法（手続きなど）がわからない」が9.0%、「利用料がかかる・高い」が8.4%となっている。

問 26-1 [問 22-1] 利用していない理由

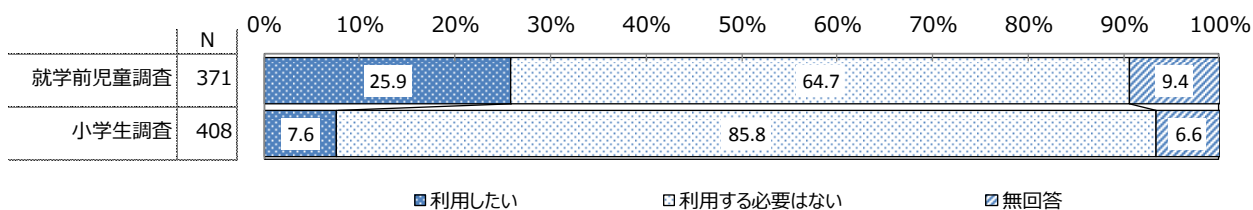


(2) 利用希望の有無

就学前児童調査では、「利用する必要はない」が64.7%、次いで「利用したい」が25.9%となっている。

小学生調査では、「利用する必要はない」が85.8%、次いで「利用したい」が7.6%となっている。

問 27 [問 23] 利用希望の有無

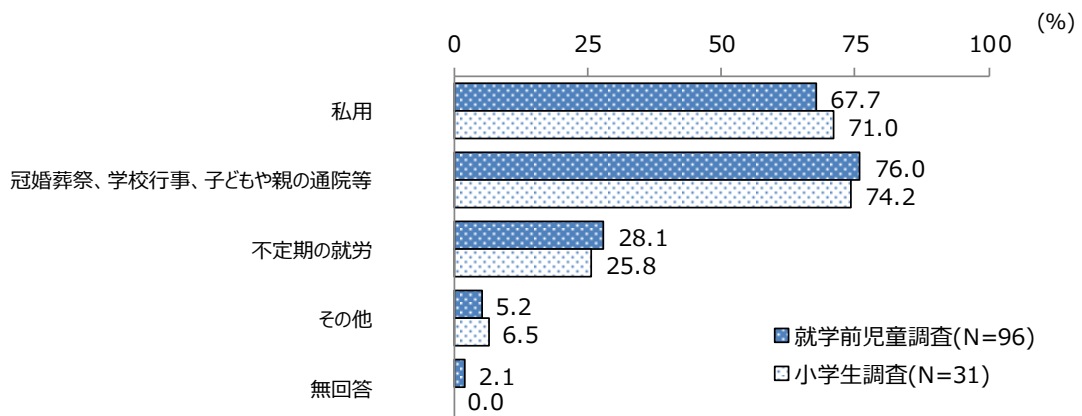


(2)-1 利用希望の目的

就学前児童調査では、「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等」（以下、「冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等」）が76.0%と最も高く、次いで「私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的」（以下、「私用」）が67.7%、「不特定の就労」が28.1%となっている。

小学生調査では、「冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等」が74.2%と最も高く、次いで「私用」が71.0%、「不特定の就労」が25.8%となっている。

問 27 [問 23] 利用目的



問 27 [問 23] 利用目的別希望日数

就学前児童調査

利用目的	N	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日以上	無回答
合計	96	1.0	3.1	6.3	2.1	4.2	4.2	4.2	2.1	2.1	67.7	3.1
ア. 私用	65	3.1	7.7	9.2	1.5	20.0	3.1	4.6	0.0	0.0	49.2	1.5
イ. 冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等	73	5.5	6.8	24.7	4.1	12.3	4.1	1.4	0.0	0.0	39.7	1.4
ウ. 不特定の就労	27	3.7	0.0	11.1	7.4	18.5	3.7	11.1	0.0	0.0	44.4	0.0
エ. その他	5	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	60.0	0.0

■ 上位1位 ■ 上位2位 ■ 上位3位

小学生調査

利用目的	N	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日以上	無回答
合計	31	0.0	9.7	3.2	9.7	3.2	6.5	0.0	0.0	0.0	61.3	6.5
ア. 私用	22	4.5	18.2	9.1	0.0	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0	54.5	4.5
イ. 冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等	23	8.7	10.0	8.7	0.0	26.1	8.7	0.0	0.0	0.0	21.7	4.3
ウ. 不特定の就労	8	0.0	0.0	12.5	0.0	12.5	12.5	0.0	0.0	0.0	50.0	12.5
エ. その他	2	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0

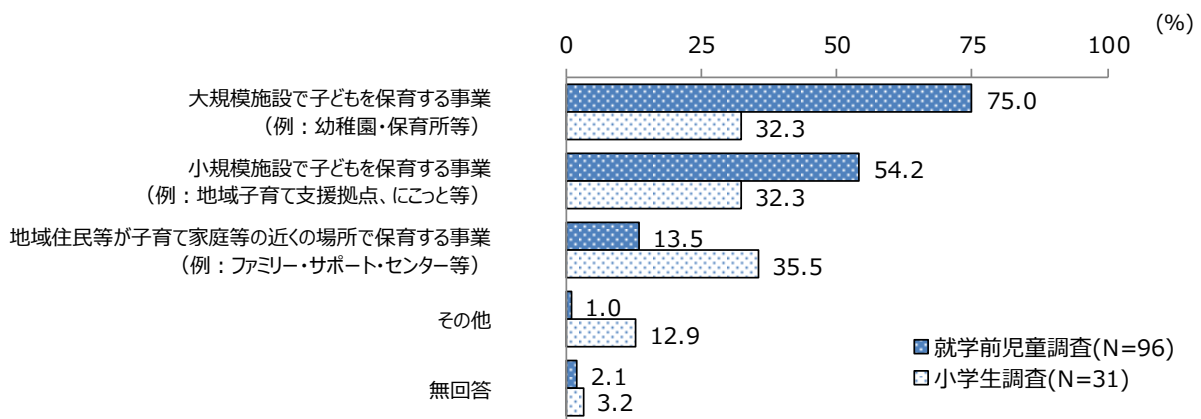
■ 上位1位 ■ 上位2位 ■ 上位3位

(2)-2 望ましい事業形態

就学前児童調査では、「大規模施設で子どもを保育する事業（例：幼稚園・保育所等）」が75.0%と最も高く、次いで「小規模施設で子どもを保育する事業（例：地域子育て支援拠点、にこっと等）」が54.2%、「地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で保育する事業（例：ファミリー・サポート・センター等）」が13.5%となっている。

小学生調査では、「地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で保育する事業（例：ファミリー・サポート・センター等）」が35.5%と最も高く、次いで「大規模施設で子どもを保育する事業（例：幼稚園・保育所等）」及び「小規模施設で子どもを保育する事業（例：地域子育て支援拠点、にこっと等）」が32.3%となっている。

問 27-1 [問 23-1] 望ましい事業形態

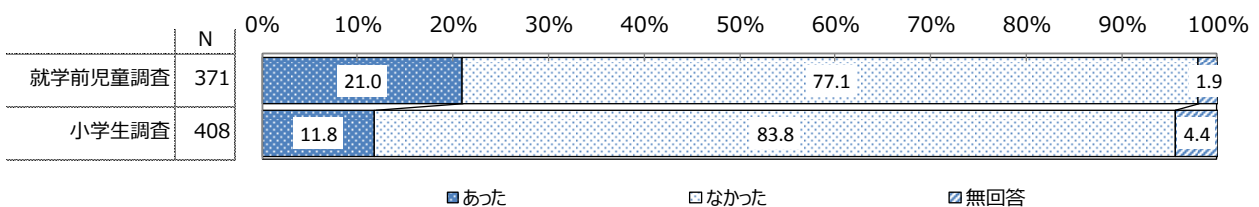


(3) 泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないこと

就学前児童調査では、「なかった」が77.1%、次いで「あった」が21.0%となっている。

小学生調査では、「なかった」が83.8%、次いで「あった」が11.8%となっている。

問 28 [問 24] 泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないこと

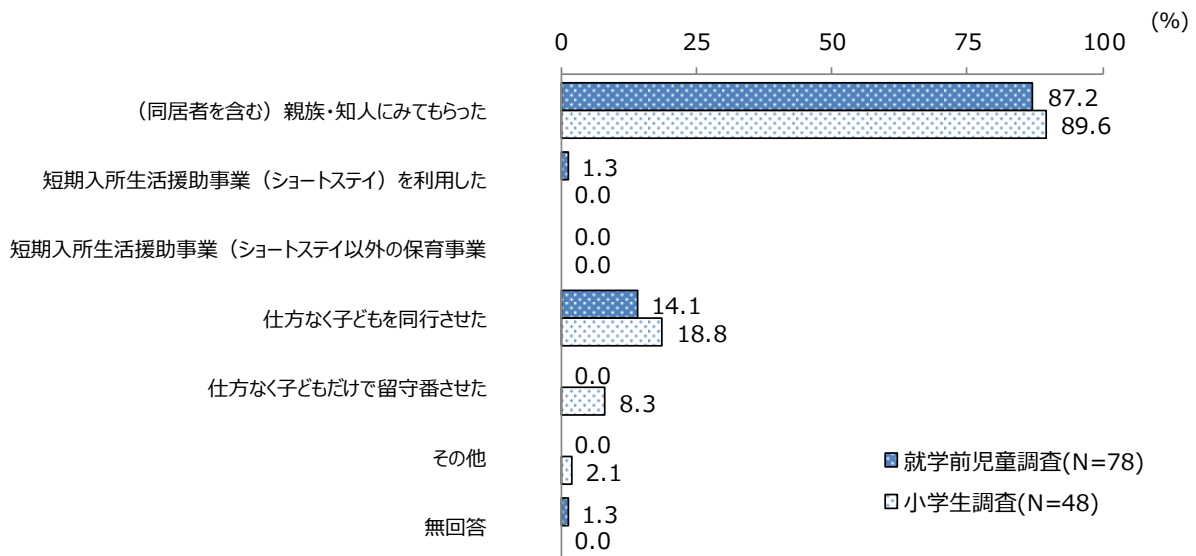


(3)-1 1年間の対処方法

就学前児童調査では、「(同居者を含む) 親族・知人にみてもらった」が87.2%と最も高く、次いで「仕方なく子どもを同行させた」が14.1%、「短期入所生活援助事業(ショートステイ)を利用した」及び「無回答」が1.3%となっている。

小学生調査では、「(同居者を含む) 親族・知人にみてもらった」が89.6%と最も高く、次いで「仕方なく子どもを同行させた」が18.8%、「仕方なく子どもだけで留守番させた」が8.3%となっている。

問 28 [問 24] 1年間の対処方法



問 28 [問 24] 1年間の対処方法別日数

就学前児童調査

1年間の対処法	N	1日	2日～3日	4日～5日	6日～9日	10日以上	無回答
ア. (同居者を含む) 親族・知人にみてもらった	68	25.0	30.9	5.9	11.8	14.7	11.8
イ. 短期入所生活援助事業(ショートステイ)を利用した	1	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
ウ. 短期入所生活援助事業以外の保育事業(認可外保育施設、ベビーシッター等)を利用した	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
エ. 仕方なく子どもを同行させた	11	27.3	36.4	0.0	0.0	9.1	27.3
オ. 仕方なく子どもだけで留守番させた	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
カ. その他	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

■ 上位1位 ■ 上位2位 ■ 上位3位

小学生調査

1年間の対処法	N	1日	2日～3日	4日～5日	6日～9日	10日以上	無回答
ア. (同居者を含む) 親族・知人にみてもらった	43	23.3	20.9	20.9	0.0	11.6	23.3
イ. 短期入所生活援助事業 (ショートステイ) を利用した	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
ウ. 短期入所生活援助事業以外の保育事業 (認可外保育施設、ベビーシッター等) を利用した	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
エ. 仕方なく子どもを同行させた	9	22.2	22.2	33.3	0.0	0.0	22.2
オ. 仕方なく子どもだけで留守番させた	4	0.0	75.0	0.0	0.0	0.0	25.0
カ. その他	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0

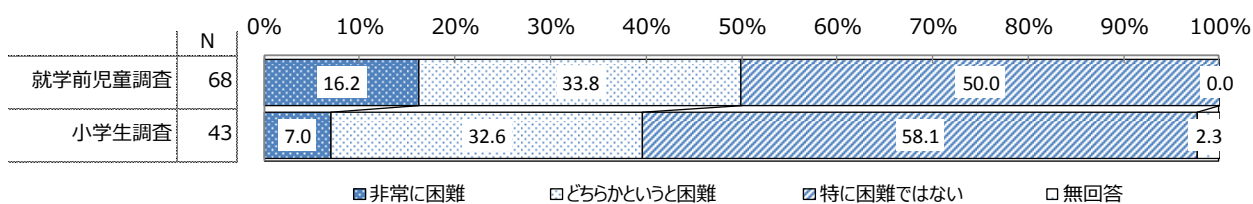
■ 上位1位 ■ 上位2位 ■ 上位3位

(3)-2 「(同居者を含む)親族・知人にみてもらった」場合の困難度

就学前児童調査では、「特に困難ではない」が50.0%と最も高く、次いで「どちらかという困難」が33.8%、「非常に困難」が16.2%となっている。

小学生調査では、「特に困難ではない」が58.1%と最も高く、次いで「どちらかという困難」が32.6%、「非常に困難」が7.0%となっている。

問 28-1 [問 24-1] 「(同居者を含む)親族・知人にみてもらった」場合の困難度



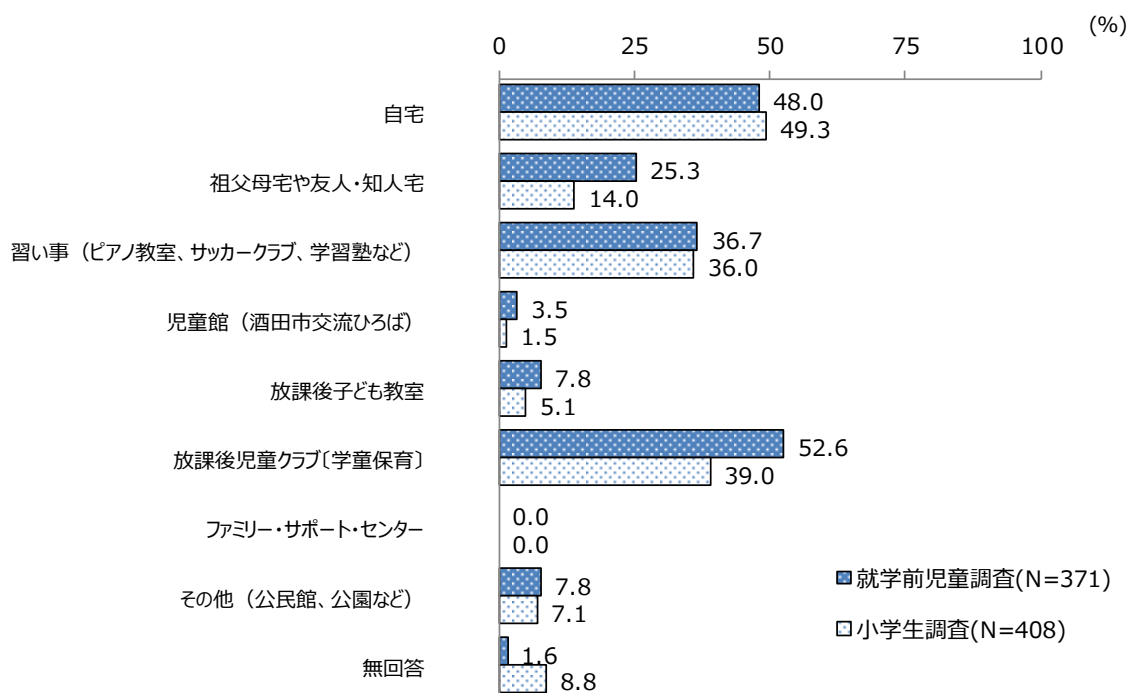
9.子どもの小学校就学後の放課後の過ごし方について

(1)【小学校低学年】放課後の子どもの過ごさせ方の希望

就学前児童調査では、「放課後児童クラブ〔学童保育〕」が 52.6%と最も高く、次いで「自宅」が 48.0%、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」が 36.7%となっている。

小学生調査では、「自宅」が 49.3%と最も高く、次いで「放課後児童クラブ〔学童保育〕」が 39.0%、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」が 36.0%となっている。

問 29 [問 25] 【小学校低学年】放課後の子どもの過ごさせ方の希望



問 29 [問 25] 【小学校低学年】放課後の子どもの過ごさせ方の希望別の日数

就学前児童調査

放課後の子どもの過ごさせ方の希望	N	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	無回答
1. 自宅	178	5.6	17.4	14.6	11.8	36.0	2.2	4.5	7.9
2. 祖父母宅や友人・知人宅	94	17.0	23.4	12.8	9.6	28.7	1.1	0.0	7.4
3. 習い事 (ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾)	136	55.9	30.1	10.3	1.5	1.5	0.0	0.0	0.7
4. 児童館 (酒田市交流ひろば)	13	38.5	7.7	30.8	0.0	0.0	0.0	7.7	15.4
5. 放課後子ども教室 ※	29	69.0	3.4	6.9	0.0	10.3	3.4	3.4	3.4
6. 放課後児童クラブ〔学童保育〕	195	3.6	5.1	15.4	6.2	60.0	7.2	0.5	2.1
7. ファミリー・サポート・センター	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
8. その他 (公民館、公園など)	29	34.5	24.1	24.1	3.4	0.0	0.0	0.0	13.8

■ 上位1位 ■ 上位2位 ■ 上位3位

小学生調査

放課後の子どもの過ごさせ方の希望	N	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	無回答
1. 自宅	201	5.5	18.4	18.9	5.0	39.8	1.5	3.5	7.5
2. 祖父母宅や友人・知人宅	57	26.3	17.5	10.5	3.5	29.8	0.0	0.0	12.3
3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾）	147	27.2	42.2	19.7	4.8	1.4	0.7	0.0	4.1
4. 児童館（酒田市交流ひろば）	6	50.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7
5. 放課後子ども教室 ※	21	33.3	19.0	19.0	0.0	28.6	0.0	0.0	0.0
6. 放課後児童クラブ〔学童保育〕	159	0.0	1.9	11.9	8.8	66.7	5.0	0.0	5.7
7. ファミリー・サポート・センター	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
8. その他（公民館、公園など）	29	31.0	24.1	17.2	10.3	13.8	0.0	0.0	3.4

■ 上位1位 ■ 上位2位 ■ 上位3位

※「放課後子ども教室」：地域の方々の協力を得て、放課後や週末に小学校や公民館で学芸活動などを体験する取組みです。保護者の就労の有無に関わらず、すべての小学生が利用できます（以下同様）。

(1)-1 放課後児童クラブ〔学童保育〕の場合、下校してからの利用したい時間帯

就学前児童調査では、「18:00」が39.0%と最も高く、次いで「17:00」が19.0%、「18:30」が14.9%となっている。

小学生調査では、「18:00」が39.0%と最も高く、次いで「17:00」が17.0%、「18:30」が15.7%となっている。

問 29 [問 25] 放課後児童クラブ〔学童保育〕の場合、利用したい時間帯

	N	14:30	15:00	15:30	16:00	16:30	17:00	17:30	18:00	18:30	無回答
就学前児童調査	195	0.0	0.0	0.0	5.1	3.1	19.0	11.8	39.0	14.9	1.5
小学生調査	159	0.0	0.0	0.6	2.5	1.3	17.0	10.7	39.0	15.7	4.4

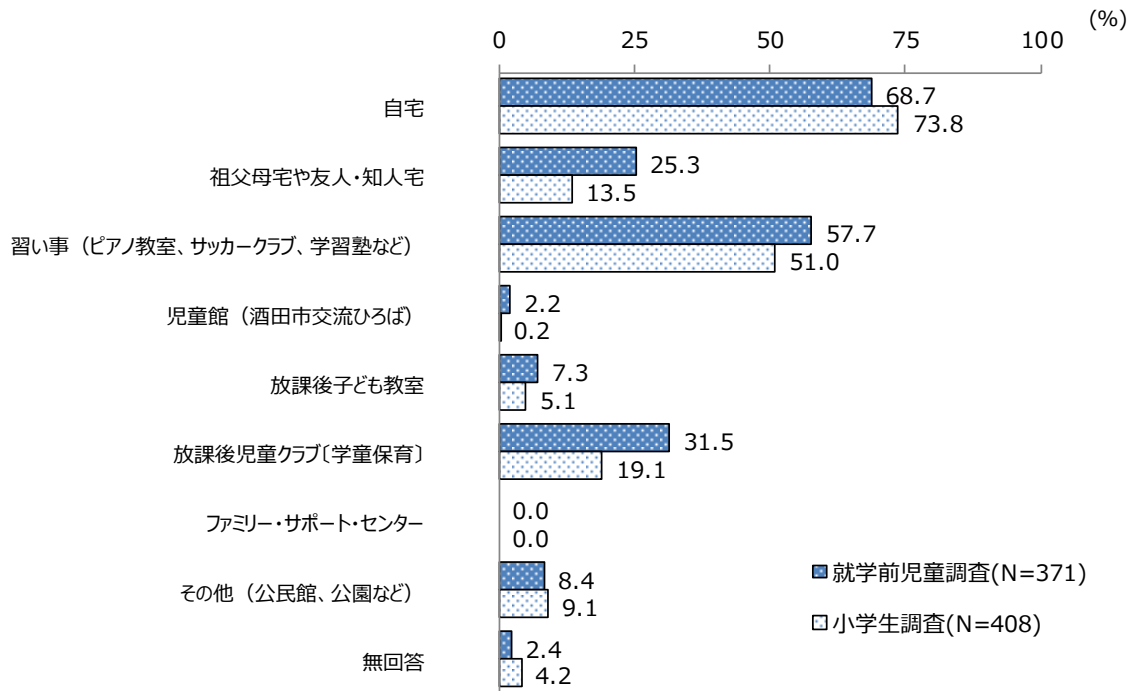
■ 上位1位 ■ 上位2位 ■ 上位3位

(2)【小学校高学年】放課後の子どもの過ごさせ方の希望

就学前児童調査では、「自宅」が68.7%と最も高く、次いで「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」が57.7%、「放課後児童クラブ〔学童保育〕」が31.5%となっている。

小学生調査では、「自宅」が73.8%と最も高く、次いで「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」が51.0%、「放課後児童クラブ〔学童保育〕」が19.1%となっている。

問 30 [問 26] 【小学校高学年】放課後の子どもの過ごさせ方の希望



問 30 [問 26] 【小学校高学年】放課後の子どもの過ごさせ方の希望別日数

就学前児童調査

放課後の子どもの過ごさせ方の希望	N	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	無回答
1. 自宅	255	6.7	15.3	22.0	6.7	36.1	2.0	3.1	8.2
2. 祖父母宅や友人・知人宅	94	25.5	24.5	25.5	4.3	12.8	0.0	0.0	7.4
3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾）	214	26.6	45.8	16.8	5.6	2.3	0.0	0.0	2.8
4. 児童館（酒田市交流ひろば）	8	37.5	12.5	37.5	0.0	0.0	0.0	12.5	0.0
5. 放課後子ども教室 ※	27	70.4	3.7	14.8	0.0	3.7	0.0	3.7	3.7
6. 放課後児童クラブ〔学童保育〕	117	5.1	15.4	22.2	6.0	42.7	4.3	0.9	3.4
7. ファミリー・サポート・センター	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
8. その他（公民館、公園など）	31	29.0	25.8	25.8	3.2	6.5	0.0	0.0	9.7

■ 上位1位 ■ 上位2位 ■ 上位3位

小学生調査

放課後の子どもの過ごさせ方の希望	N	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	無回答
1. 自宅	301	5.0	20.9	19.9	3.7	38.5	1.7	2.3	8.0
2. 祖父母宅や友人・知人宅	55	30.9	25.5	12.7	5.5	16.4	0.0	0.0	9.1
3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾）	208	15.4	40.4	28.4	7.7	2.9	1.4	0.5	3.4
4. 児童館（酒田市交流ひろば）	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
5. 放課後子ども教室 ※	21	47.6	28.6	4.8	0.0	19.0	0.0	0.0	0.0
6. 放課後児童クラブ〔学童保育〕	78	2.6	7.7	16.7	7.7	51.3	7.7	0.0	6.4
7. ファミリー・サポート・センター	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
8. その他（公民館、公園など）	37	21.6	35.1	24.3	0.0	13.5	0.0	0.0	5.4

■ 上位1位 ■ 上位2位 ■ 上位3位

(2)-1 放課後児童クラブ〔学童保育〕の場合、下校してからの利用したい時間帯

就学前児童調査では、「18:00」が43.6%と最も高く、次いで「18:30」が15.4%、「17:00」が12.8%となっている。

小学生調査では、「18:00」が41.0%と最も高く、次いで「18:30」が15.4%、「17:00」及び「17:30」が14.1%となっている。

問 30 [問 26] 放課後児童クラブ〔学童保育〕の場合、利用したい時間帯

	N	14:30	15:00	15:30	16:00	16:30	17:00	17:30	18:00	18:30	無回答
就学前児童調査	117	0.0	0.0	0.0	4.3	3.4	12.8	9.4	43.6	15.4	3.4
小学生調査	78	0.0	0.0	0.0	1.3	0.0	14.1	14.1	41.0	15.4	7.7

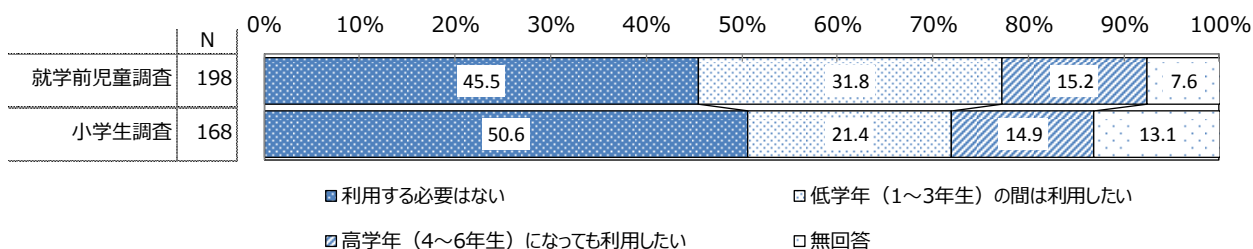
■ 上位1位 ■ 上位2位 ■ 上位3位

(3)土曜日と日曜日・祝日の放課後児童クラブの利用希望 (1) 土曜日

就学前児童調査では、「利用する必要はない」が45.5%と最も高く、次いで「低学年（1～3年生）の間は利用したい」が31.8%、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」が15.2%となっている。

小学生調査では、「利用する必要はない」が50.6%と最も高く、次いで「低学年（1～3年生）の間は利用したい」が21.4%、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」が14.9%となっている。

問 31 (1) [問 27 (1)] 土曜日と日曜日・祝日の放課後児童クラブの利用希望 (1) 土曜日



(3)-1 利用したい時間帯

就学前児童調査では、開始時刻は「8：00」が35.5%、次いで「9：00」が24.7%となっている。終了時刻は「18：00」が30.1%、次いで「17：30」が14.0%となっている。

小学生調査では、開始時刻は「8：00」が49.2%と最も高く、次いで「9：00」が16.4%、「7：30」が13.1%となっている。終了時刻は「18：00」が34.4%と最も高く、次いで「17：00」が19.7%、「18：30」が13.1%となっている。

問 31 (1) - ① [問 27 (1) - ①] 利用したい時間帯

開始時間

	N	5:30	6:00	6:30	7:00	7:30	8:00	8:30	9:00	9:30	無回答
就学前児童調査	93	0.0	1.1	0.0	3.2	14.0	35.5	14.0	24.7	0.0	6.5
小学生調査	61	0.0	0.0	0.0	1.6	13.1	49.2	6.6	16.4	4.9	4.9

■ 上位1位 ■ 上位2位 ■ 上位3位

終了時間

	N	14:30	15:00	15:30	16:00	16:30	17:00	17:30	18:00	18:30	無回答
就学前児童調査	93	0.0	1.1	0.0	10.8	2.2	11.8	14.0	30.1	10.8	6.5
小学生調査	61	1.6	1.6	0.0	1.6	0.0	19.7	11.5	34.4	13.1	3.3

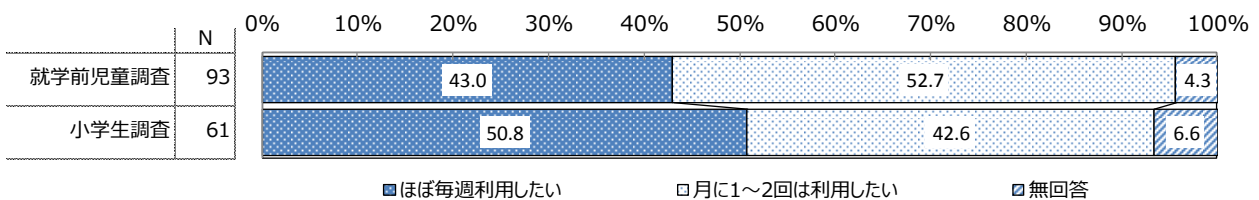
■ 上位1位 ■ 上位2位 ■ 上位3位

(3)-2 利用したい頻度

就学前児童調査では、「月に1～2回は利用したい」が52.7%、次いで「ほぼ毎週利用したい」が43.0%となっている。

小学生調査では、「ほぼ毎週利用したい」が50.8%、次いで「月に1～2回は利用したい」が42.6%となっている。

問 31 (1) - ① [問 27 (1) - ①] 利用したい頻度

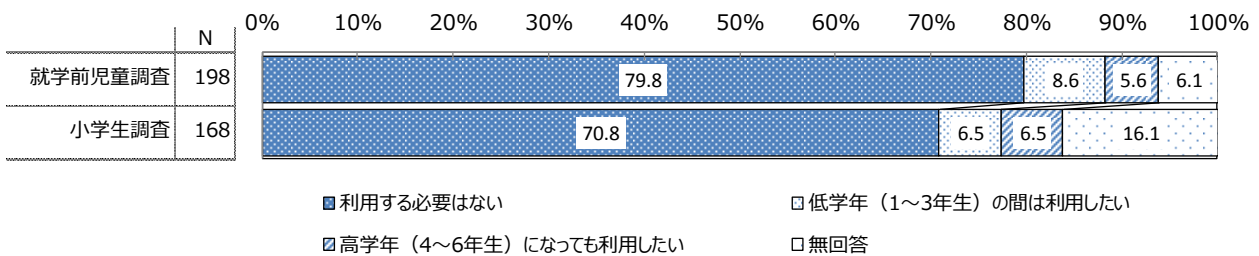


(4)土曜日と日曜日・祝日の放課後児童クラブの利用希望 (2) 日曜・祝日

就学前児童調査では、「利用する必要はない」が79.8%と最も高く、次いで「低学年（1～3年生）の間は利用したい」が8.6%、「無回答」が6.1%となっている。

小学生調査では、「利用する必要はない」が70.8%と最も高く、次いで「無回答」が16.1%、「低学年（1～3年生）の間は利用したい」及び「高学年（4～6年生）になっても利用したい」が6.5%となっている。

問 31 (2) [問 27 (2)] 土曜日と日曜日・祝日の放課後児童クラブの利用希望 (2) 日曜・祝日



(4)-1 利用したい時間帯

就学前児童調査では、開始時刻は「8：00」「9：00」が同率で39.3%となっている。終了時刻は「18：00」が32.1%、次いで「17：00」が17.9%となっている。

小学生調査では、開始時刻は「8：00」が54.5%と最も高く、次いで「9：00」が22.7%、「7：30」が9.1%となっている。終了時刻は「18：00」が31.8%と最も高く、次いで「17：00」が18.2%、「17：30」「18：30」が同率で13.6%となっている。

問 31 (2) -① [問 27 (2) -①] 利用したい時間帯

開始時間

	N	5:30	6:00	6:30	7:00	7:30	8:00	8:30	9:00	9:30	無回答
就学前児童調査	28	0.0	3.6	0.0	0.0	10.7	39.3	7.1	39.3	0.0	0.0
小学生調査	22	0.0	0.0	0.0	4.5	9.1	54.5	0.0	22.7	4.5	4.5

■ 上位1位 ■ 上位2位 ■ 上位3位

終了時間

	N	12:00	12:30	13:00	13:30	14:00	14:30	15:00	15:30
就学前児童調査	28	10.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
小学生調査	22	4.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

	N	16:00	16:30	17:00	17:30	18:00	18:30	19:00	無回答
就学前児童調査	28	7.1	0.0	17.9	10.7	32.1	7.1	10.7	0.0
小学生調査	22	0.0	0.0	18.2	13.6	31.8	13.6	9.1	4.5

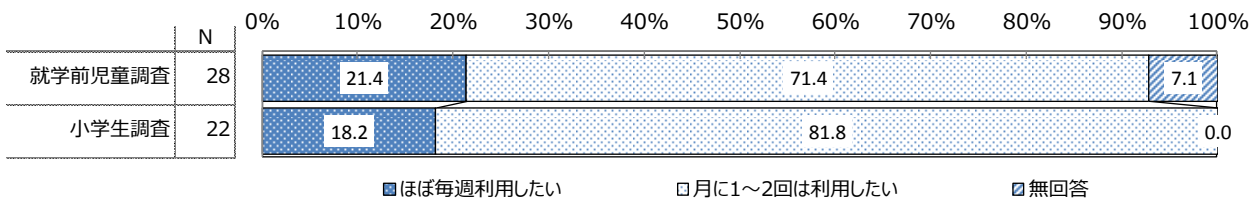
■ 上位1位 ■ 上位2位 ■ 上位3位

(4)-2 利用したい頻度

就学前児童調査では、「月に1～2回は利用したい」が71.4%、次いで「ほぼ毎週利用したい」が21.4%となっている。

小学生調査では、「月に1～2回は利用したい」が81.8%、次いで「ほぼ毎週利用したい」が18.2%となっている。

問 31 (2) -① [問 27 (2) -①] 利用したい頻度

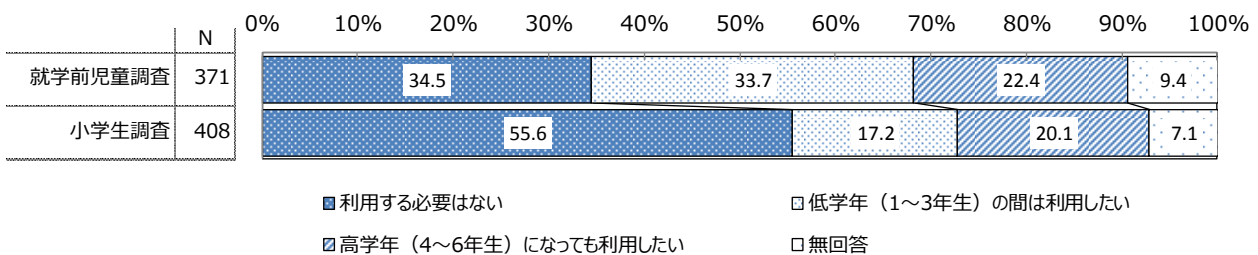


(5)長期の休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望

就学前児童調査では、「利用する必要はない」が34.5%と最も高く、次いで「低学年（1～3年生）の間は利用したい」が33.7%、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」が22.4%となっている。

小学生調査では、「利用する必要はない」が55.6%と最も高く、次いで「高学年（4～6年生）になっても利用したい」が20.1%、「低学年（1～3年生）の間は利用したい」が17.2%となっている。

問 32 [問 28] 長期の休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望



(5)-1 利用したい時間帯

就学前児童調査では、開始時刻は「8:00」が38.9%と最も高く、次いで「9:00」が27.4%、「7:30」が13.5%となっている。終了時刻は「18:00」が37.5%と最も高く、次いで「17:00」が16.8%、「16:00」が11.5%となっている。

小学生調査では、開始時刻は「8:00」が51.3%と最も高く、次いで「7:30」が19.7%、「9:00」が15.1%となっている。終了時刻は「18:00」が38.2%と最も高く、次いで「17:00」が18.4%、「17:30」が10.5%となっている。

問 32-1 [問 28-1] 利用したい時間帯

開始時間

	N	5:30	6:00	6:30	7:00	7:30	8:00	8:30	9:00	9:30	無回答
就学前児童調査	208	0.0	0.0	0.0	3.4	13.5	38.9	12.5	27.4	0.5	2.4
小学生調査	152	0.0	0.0	0.0	2.0	19.7	51.3	4.6	15.1	3.3	3.9

■ 上位1位 ■ 上位2位 ■ 上位3位

終了時間

	N	14:30	15:00	15:30	16:00	16:30	17:00	17:30	18:00	18:30	無回答
就学前児童調査	208	0.0	2.9	0.5	11.5	1.0	16.8	10.6	37.5	9.6	1.9
小学生調査	152	0.0	0.7	0.0	5.3	0.7	18.4	10.5	38.2	9.9	3.3

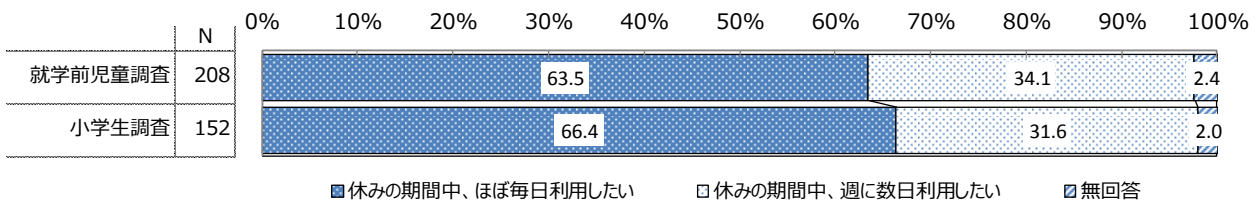
■ 上位1位 ■ 上位2位 ■ 上位3位

(5)-2 利用したい頻度

就学前児童調査では「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」が63.5%、次いで「休みの期間中、週に数日利用したい」が34.1%となっている。

小学生調査では、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」が66.4%、次いで「休みの期間中、週に数日利用したい」が31.6%となっている。

問 32-1 [問 28-1] 利用したい頻度



10. 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について

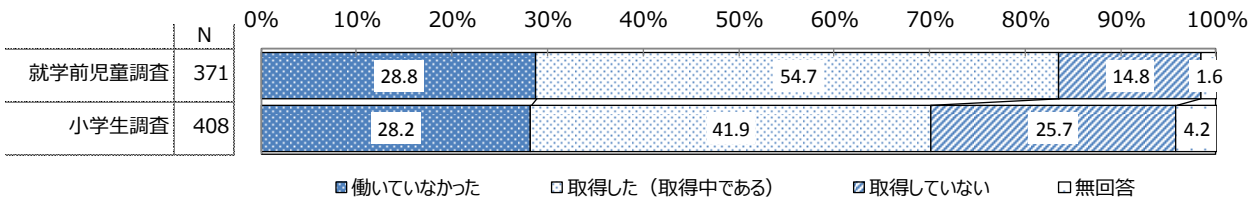
(1) 育児休暇の取得状況

(1)-1 母親の育児休暇の取得状況

就学前児童調査では、「取得した（取得中である）」が54.7%と最も高く、次いで「働いていなかった」が28.8%、「取得していない」が14.8%となっている。

小学生調査では、「取得した（取得中である）」が41.9%と最も高く、次いで「働いていなかった」が28.2%、「取得していない」が25.7%となっている。

問 33 (1) [問 29 (1)] 母親の育児休暇の取得状況

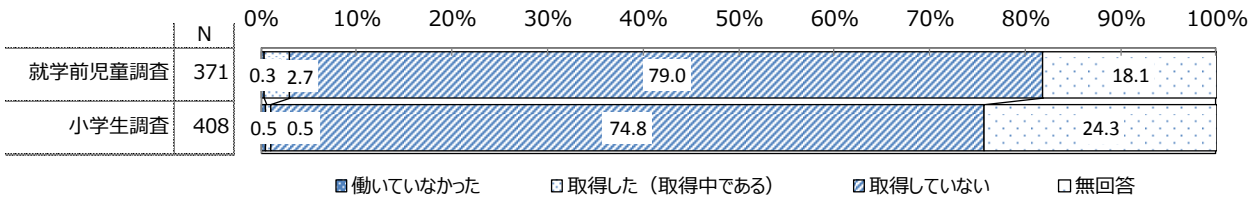


(1)-2 父親の育児休暇の取得状況

就学前児童調査では、「取得していない」が79.0%と最も高く、次いで「無回答」が18.1%、「取得した（取得中である）」が2.7%となっている。

小学生調査では、「取得していない」が74.8%と最も高く、次いで「無回答」が24.3%、「働いていなかった」及び「取得した（取得中である）」が0.5%となっている。

問 33 (2) [問 29 (2)] 父親の育児休暇の取得状況



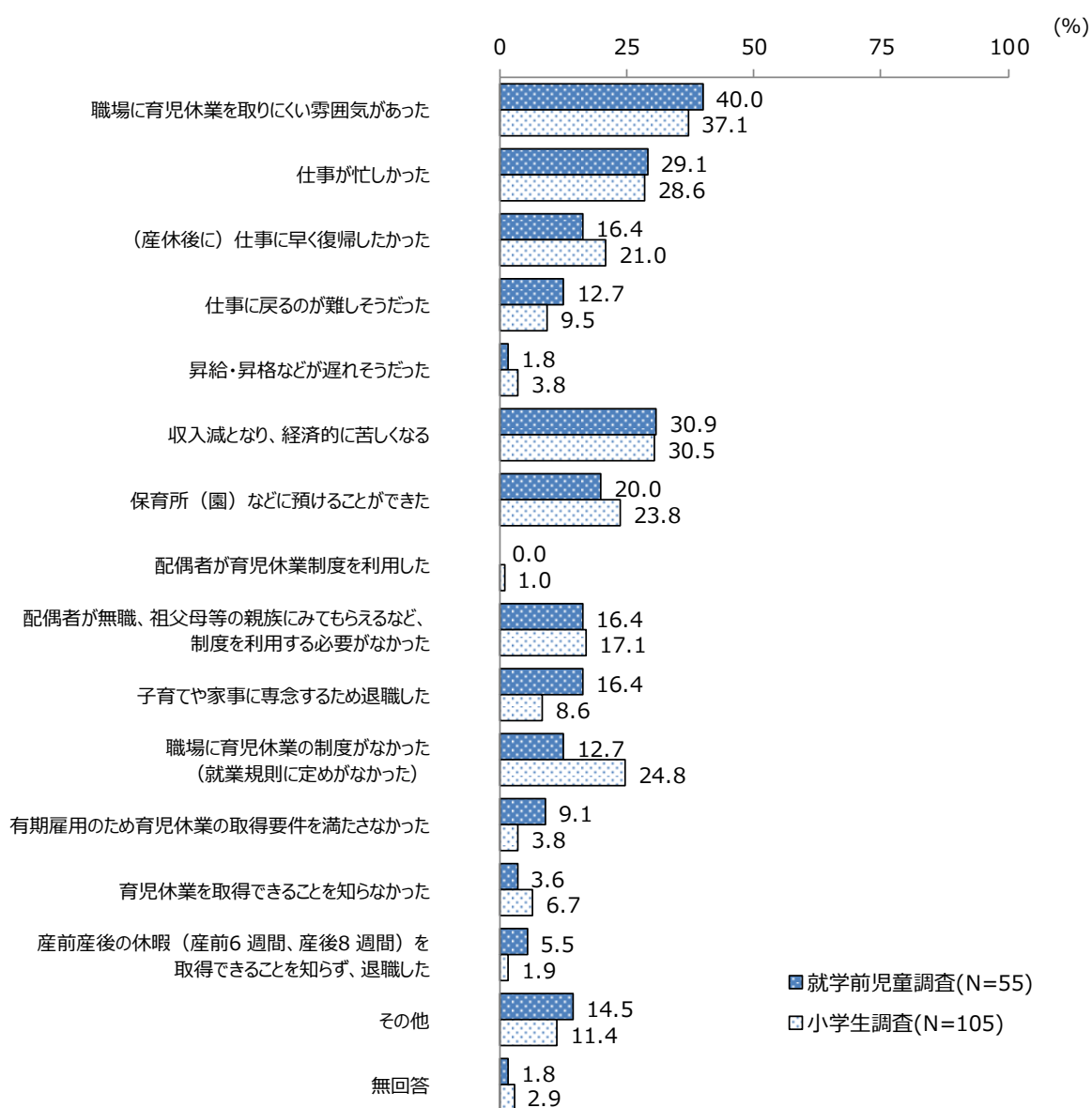
(2) 育児休暇を取得していない理由

(2)-1 母親の育児休暇を取得していない理由

就学前児童調査では、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」が40.0%と最も高く、次いで「収入減となり、経済的に苦しくなる」が30.9%、「仕事が忙しかった」が29.1%となっている。

小学生調査では、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」が37.1%と最も高く、次いで「収入減となり、経済的に苦しくなる」が30.5%、「仕事が忙しかった」が28.6%となっている。

問 33 (1) [問 29 (1)] 母親の育児休暇を取得していない理由

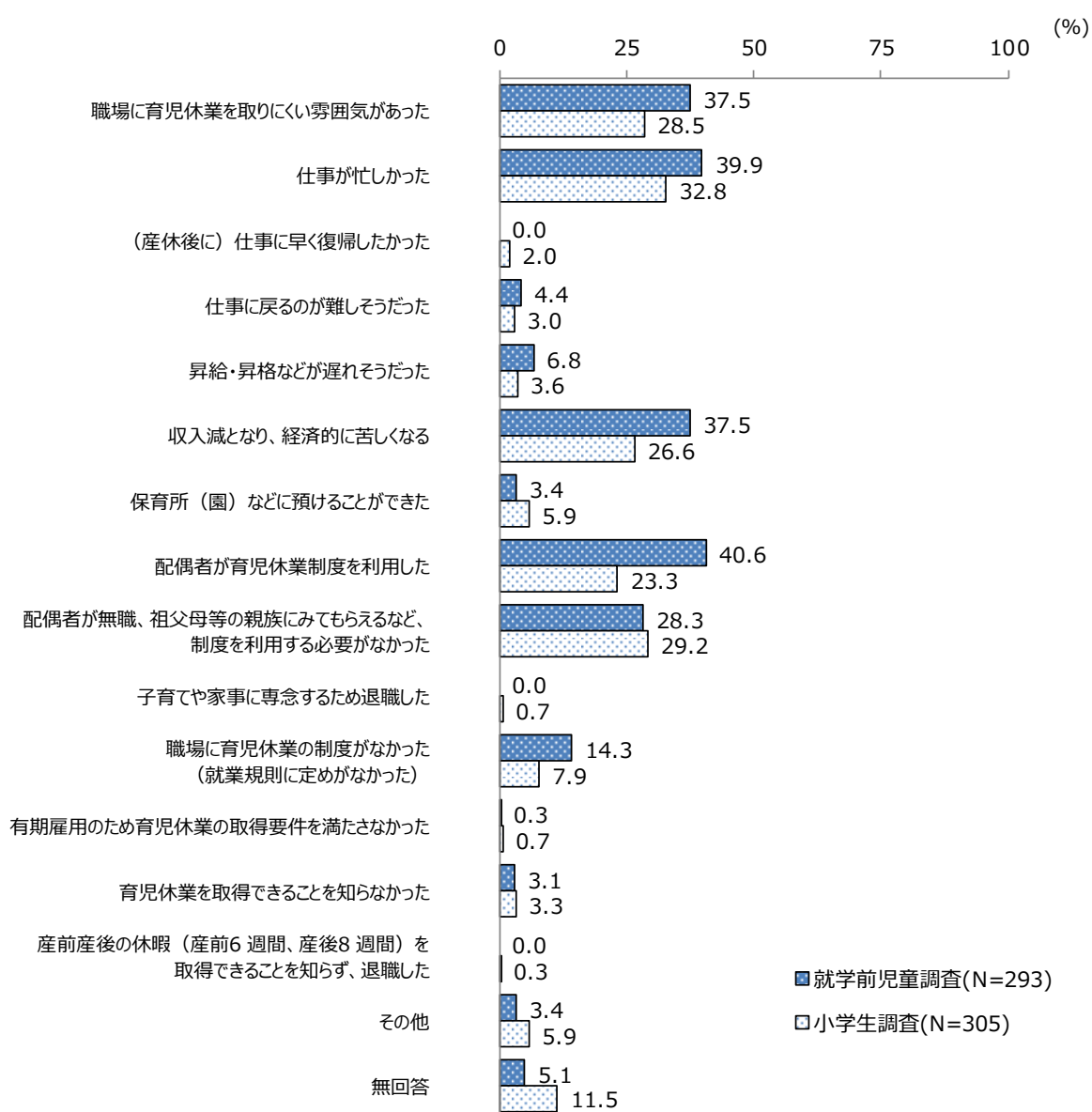


(2)-2 父親の育児休暇を取得していない理由

就学前児童調査では、「配偶者が育児休業制度を利用した」が40.6%と最も高く、次いで「仕事が忙しかった」が39.9%、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」及び「収入減となり、経済的に苦しくなる」が37.5%となっている。

小学生調査では、「仕事が忙しかった」が32.8%と最も高く、次いで「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」が29.2%、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」が28.5%となっている。

問 33 (2) [問 29 (2)] 父親の育児休暇を取得していない理由

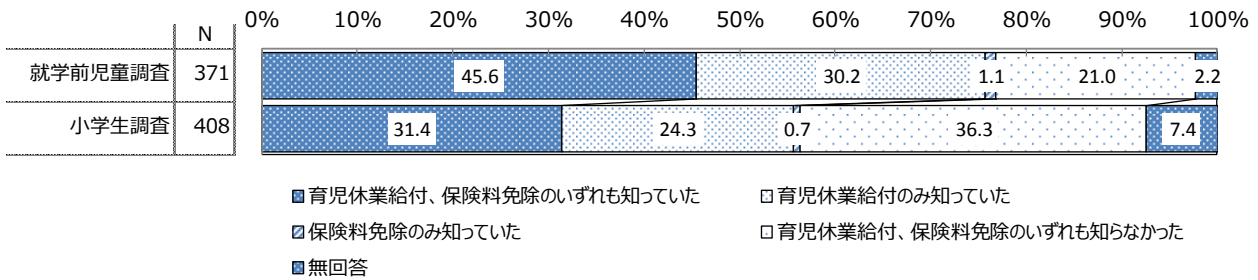


(3) 育児休業給付、保険料免除の制度について

就学前児童調査では、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた」が45.6%と最も高く、次いで「育児休業給付のみ知っていた」が30.2%、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった」が21.0%となっている。

小学生調査では、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった」が36.3%と最も高く、次いで「育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた」が31.4%、「育児休業給付のみ知っていた」が24.3%となっている。

問 33-1 [問 29-1] 育児休業給付、保険料免除の制度について



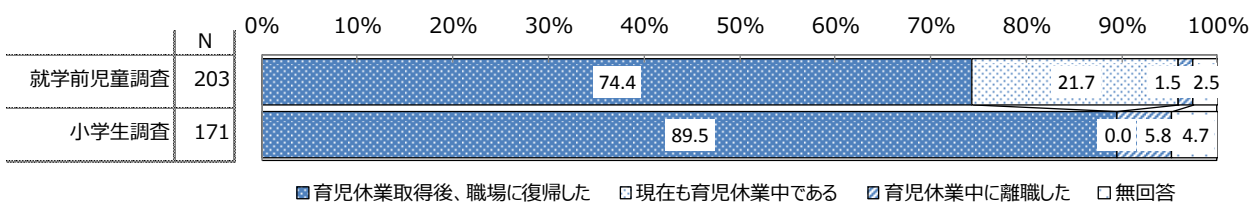
(4) 職場復帰について

(4)-1 母親の職場復帰

就学前児童調査では、「育児休業取得後、職場に復帰した」が74.4%、次いで「現在も育児休業中である」が21.7%となっている。

小学生調査では、「育児休業取得後、職場に復帰した」が89.5%、次いで「育児休業中に離職した」が5.8%となっている。

問 33-2 (1) [問 29-2 (1)] 母親の職場復帰

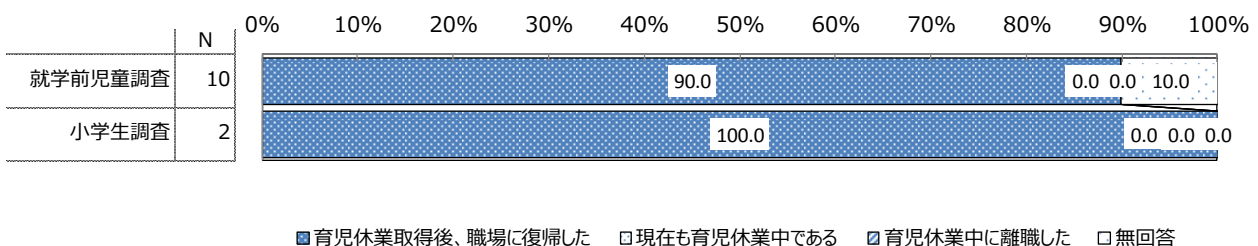


(4)-2 父親の職場復帰

就学前児童調査では、「育児休業取得後、職場に復帰した」が90.0%となっている。

小学生調査では、回答が5件未満であった。

問 33-2 (2) [問 29-2 (2)] 父親の職場復帰



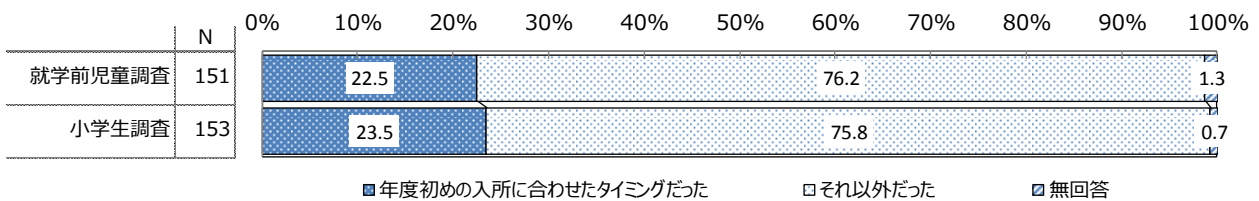
(5)職場に復帰したタイミング

(5)-1 母親の職場に復帰したタイミング

就学前児童調査では、「それ以外だった」が76.2%と最も高く、次いで「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」が22.5%、「無回答」が1.3%となっている。

小学生調査では、「それ以外だった」が75.8%と最も高く、次いで「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」が23.5%、「無回答」が0.7%となっている。

問 33-3 (1) [問 29-3 (1)] 母親の職場に復帰したタイミング

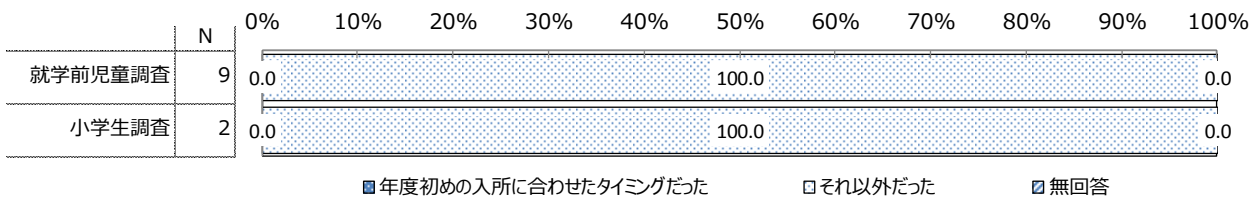


(5)-2 父親の職場に復帰したタイミング

就学前児童調査では、「それ以外だった」が100.0%となっている。

小学生調査では、回答が5件未満であった。

問 33-3 (2) [問 29-3 (2)] 父親の職場に復帰したタイミング



(6)実際に育児休業を取得した子どもの年齢

(6)-1 母親が実際に育児休業を取得した子どもの年齢

就学前児童調査では、「6ヶ月未満」が54.3%と最も高く、次いで「1歳」が44.4%、「2歳」が0.7%となっている。

小学生調査では、「6ヶ月未満」が63.4%と最も高く、次いで「1歳」が33.3%、「2歳」が2.6%となっている。

問 33-4 (1) [問 29-4 (1)] 母親が実際に育児休業を取得した子どもの年齢

	N	6ヶ月未満	6ヶ月	9ヶ月	1歳	1歳3ヶ月	1歳6ヶ月	1歳9ヶ月	2歳	2歳3ヶ月
就学前児童調査	151	54.3	0.0	0.0	44.4	0.0	0.0	0.0	0.7	0.0
小学生調査	153	63.4	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	2.6	0.0
		2歳6ヶ月	2歳9ヶ月	3歳	3歳以上	無回答				
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.7				
		0.0	0.0	0.0	0.7	0.0				

上位1位
 上位2位
 上位3位

(6)-2 父親が実際に育児休業を取得した子どもの年齢

就学前児童調査では、「6ヶ月未満」が77.8%となっている。

小学生調査は、回答が5件未満であった。

問 33-4 (2) [問 29-4 (2)] 父親が実際に育児休業を取得した子どもの年齢

	N	6ヶ月未満	6ヶ月	9ヶ月	1歳	1歳3ヶ月	1歳6ヶ月	1歳9ヶ月	2歳	2歳3ヶ月
就学前児童調査	9	77.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
小学生調査	2	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		2歳6ヶ月	2歳9ヶ月	3歳	3歳以上	無回答				
		0.0	0.0	0.0	0.0	22.2				
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				

上位1位
 上位2位
 上位3位

(7)希望として育児休業を取りたかった子どもの年齢

(7)-1 母親の希望として育児休業を取りたかった子どもの年齢

就学前児童調査では、「1歳」が64.2%と最も高く、次いで「6ヶ月未満」が12.6%、「3歳以上」が7.9%となっている。

小学生調査では、「1歳」が61.4%と最も高く、次いで「2歳」が9.2%、「3歳以上」が8.5%となっている。

問 33-4 (1) [問 29-4 (1)] 母親の希望として育児休業を取りたかった子どもの年齢

	N	6ヶ月未満	6ヶ月	9ヶ月	1歳	1歳3ヶ月	1歳6ヶ月	1歳9ヶ月	2歳	2歳3ヶ月
就学前児童調査	151	12.6	0.0	0.0	64.2	0.0	0.0	0.0	7.3	0.0
小学生調査	153	7.2	0.0	0.0	61.4	0.0	0.0	0.0	9.2	0.0
		2歳6ヶ月	2歳9ヶ月	3歳	3歳以上	無回答				
		0.0	0.0	0.0	7.9	7.9				
		0.0	0.0	0.0	8.5	13.7				

上位1位
 上位2位
 上位3位

(7)-2 父親の希望として育児休業を取りたかった子どもの年齢

就学前児童調査では、無回答を除き「6ヶ月未満」が33.3%となっている。

小学生調査は、回答が5件未満であった。

問 33-4 (2) [問 29-4 (2)] 父親の希望として育児休業を取りたかった子どもの年齢

	N	6ヶ月未満	6ヶ月	9ヶ月	1歳	1歳3ヶ月	1歳6ヶ月	1歳9ヶ月	2歳	2歳3ヶ月
就学前児童調査	9	33.3	0.0	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
小学生調査	2	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

	2歳6ヶ月	2歳9ヶ月	3歳	3歳以上	無回答
就学前児童調査	0.0	0.0	0.0	0.0	55.6
小学生調査	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0

上位1位
 上位2位
 上位3位

(8) 3歳まで育児休業が取得できる場合の、親が休業を希望する子どもの年齢

(8)-1 3歳まで育児休業が取得できる場合の、母親が休業を希望する子どもの年齢

就学前児童調査では、「1歳」が43.7%と最も高く、次いで「3歳以上」が35.8%、「2歳」が9.9%となっている。

小学生調査では、「3歳以上」が47.1%と最も高く、次いで「1歳」が34.6%、「2歳」が9.8%となっている。

問 33-5 (1) [問 29-5 (1)] 3歳まで育児休業が取得できる場合の、母親が休業を希望する子どもの年齢

	N	6ヶ月未満	6ヶ月	9ヶ月	1歳	1歳3ヶ月	1歳6ヶ月	1歳9ヶ月	2歳	2歳3ヶ月
就学前児童調査	151	6.6	0.0	0.0	43.7	0.0	0.0	0.0	9.9	0.0
小学生調査	153	3.9	0.0	0.0	34.6	0.0	0.0	0.0	9.8	0.0

	2歳6ヶ月	2歳9ヶ月	3歳	3歳以上	無回答
就学前児童調査	0.0	0.0	0.0	35.8	4.0
小学生調査	0.0	0.0	0.0	47.1	4.6

上位1位
 上位2位
 上位3位

(8)-2 3歳まで育児休業が取得できる場合の、父親が休業を希望する子どもの年齢

就学前児童調査では、無回答を除き「1歳」が33.3%と最も高く、次いで「2歳」が22.2%となっている。

小学生調査は、回答が5件未満であった。

問 33-5 (2) [問 29-5 (2)] 3歳まで育児休業が取得できる場合の、父親が休業を希望する子どもの年齢

	N	6ヶ月未満	6ヶ月	9ヶ月	1歳	1歳3ヶ月	1歳6ヶ月	1歳9ヶ月	2歳	2歳3ヶ月
就学前児童調査	9	11.1	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	22.2	0.0
小学生調査	2	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

	2歳6ヶ月	2歳9ヶ月	3歳	3歳以上	無回答
就学前児童調査	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3
小学生調査	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0

上位1位
 上位2位
 上位3位

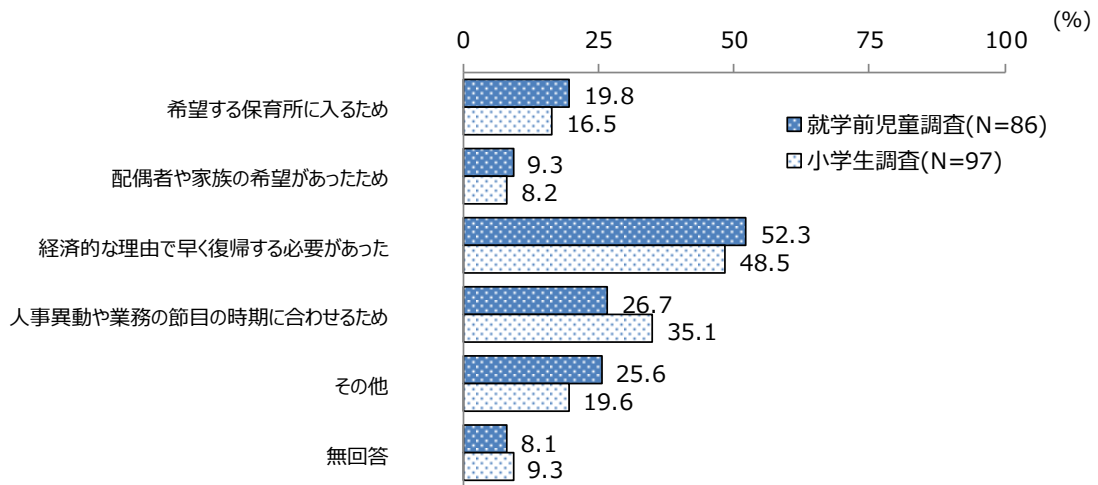
(9)実際の希望よりも早く職場復帰した理由

(9)-1 母親が実際の希望よりも早く職場復帰した理由

就学前児童調査では、「経済的な理由で早く復帰する必要があった」が52.3%と最も高く、次いで「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」が26.7%となっている。

小学生調査では、「経済的な理由で早く復帰する必要があった」が48.5%と最も高く、次いで「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」が35.1%となっている。

問 33-6 (1) (1) [問 29-6 (1) (1)] 母親が実際の希望よりも早く職場復帰した理由

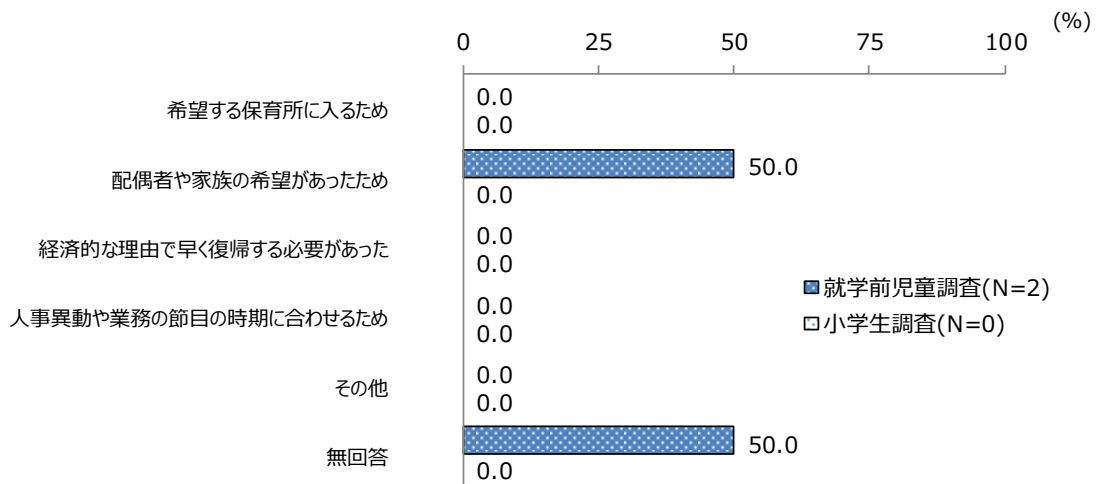


(9)-2 父親が実際の希望よりも早く職場復帰した理由

就学前児童調査は、回答が5件未満であった。

小学生調査では、回答がなかった。

問 33-6 (1) (2) [問 29-6 (1) (2)] 父親が実際の希望よりも早く職場復帰した理由



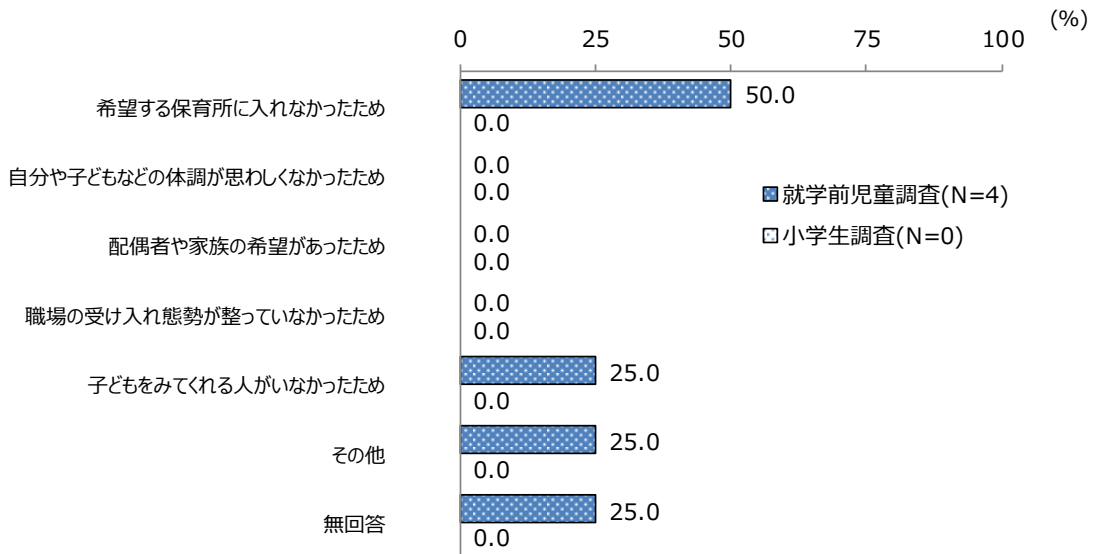
(10)実際の希望よりも遅く職場復帰した理由

(10)-1 母親が実際の希望よりも遅く職場復帰した理由

就学前児童調査は、回答が5件未満であった。

小学生調査では、回答がなかった。

問 33-6 (2) (1) [問 29-6 (2) (1)] 母親が実際の希望よりも遅く職場復帰した理由



(10)-2 父親が実際の希望よりも遅く職場復帰した理由

※ 就学前児童調査、小学生調査ともに該当なし。

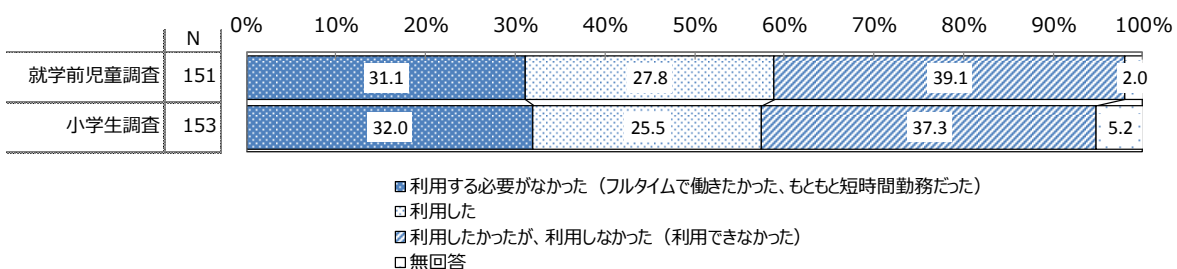
(11)短時間勤務制度の利用について

(11)-1 母親の短時間勤務制度の利用について

就学前児童調査では、「利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」が39.1%と最も高く、次いで「利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった）」が31.1%、「利用した」が27.8%となっている。

小学生調査では、「利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」が37.3%と最も高く、次いで「利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった）」が32.0%、「利用した」が25.5%となっている。

問 33-7 (1) [問 29-7 (1)] 母親の短時間勤務制度の利用について

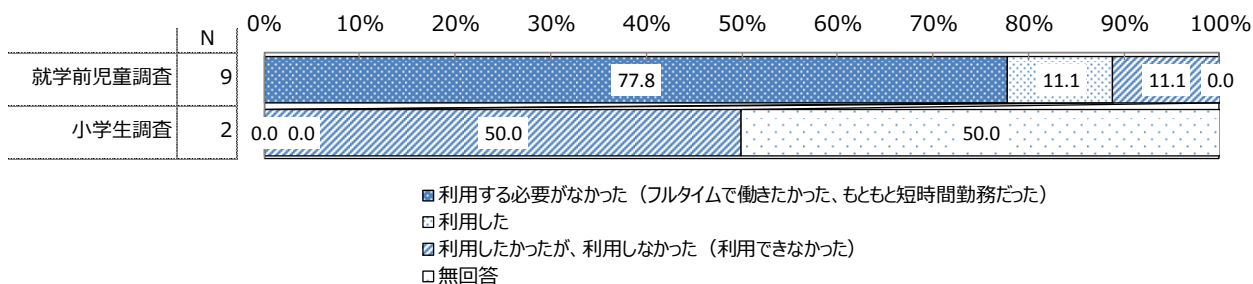


(11)-2 父親の短時間勤務制度の利用について

就学前児童調査では、「利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった）」が77.8%と最も高く、次いで「利用した」及び「利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」が11.1%となっている。

小学生調査は、回答が5件未満であった。

問 33-7 (2) [問 29-7 (2)] 父親の短時間勤務制度の利用について

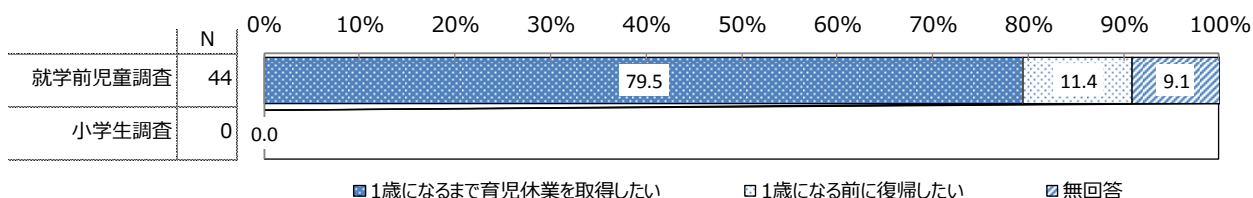


(11)-3 母親は預けられる事業があれば1歳になるまで育児休業を取得するか

就学前児童調査では、「1歳になるまで育児休業を取得したい」が79.5%、次いで「1歳になる前に復帰したい」が11.4%となっている。

小学生調査は該当なし。

問 33-8 (1) [問 29-8 (1)] 母親は預けられる事業があれば1歳になるまで育児休業を取得するか



(11)-4 父親は預けられる事業があれば1歳になるまで育児休業を取得するか

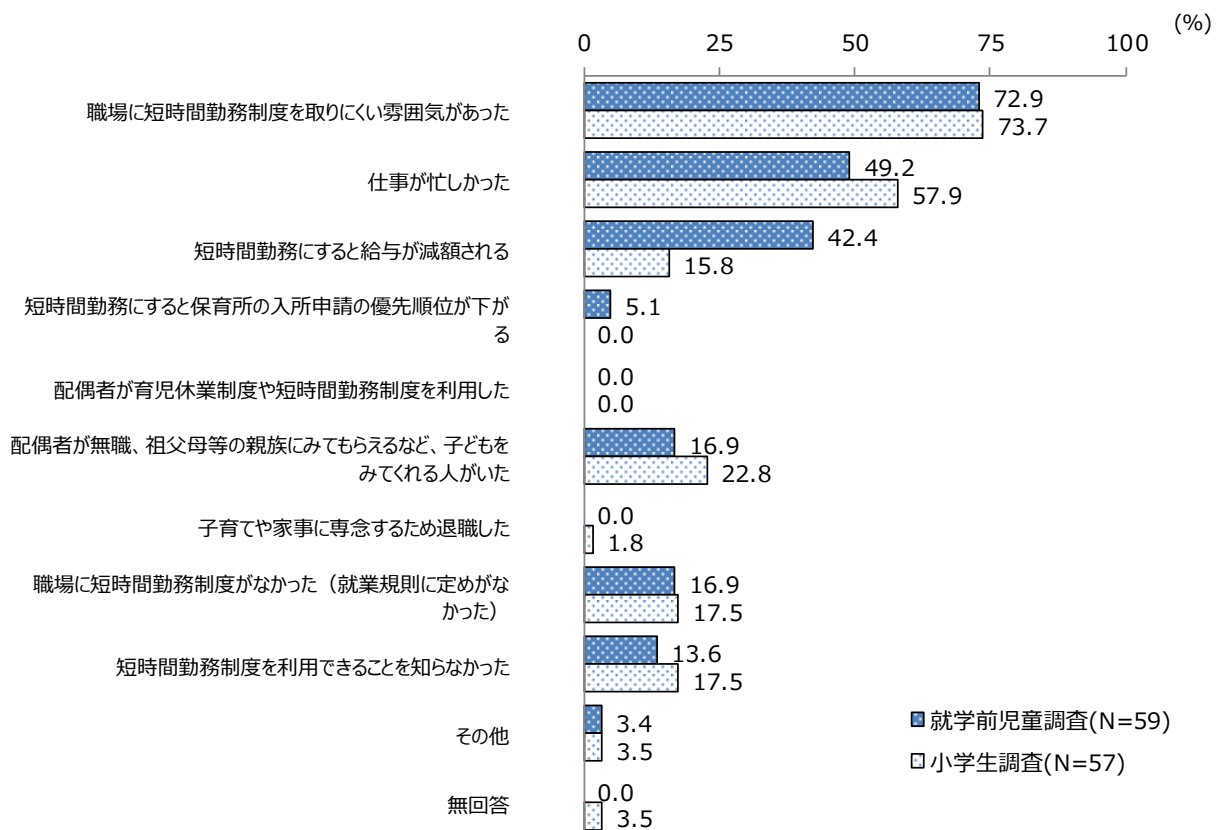
※ 就学前児童調査、小学生調査ともに該当なし。

(11)-5 母親が短時間勤務制度を利用しなかった理由

就学前児童調査では、「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」が72.9%と最も高く、次いで「仕事が忙しかった」が49.2%、「短時間勤務にすると給与が減額される」が42.4%となっている。

小学生調査では、「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」が73.7%と最も高く、次いで「仕事が忙しかった」が57.9%、「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、子どもをみてくれる人がいた」が22.8%となっている。

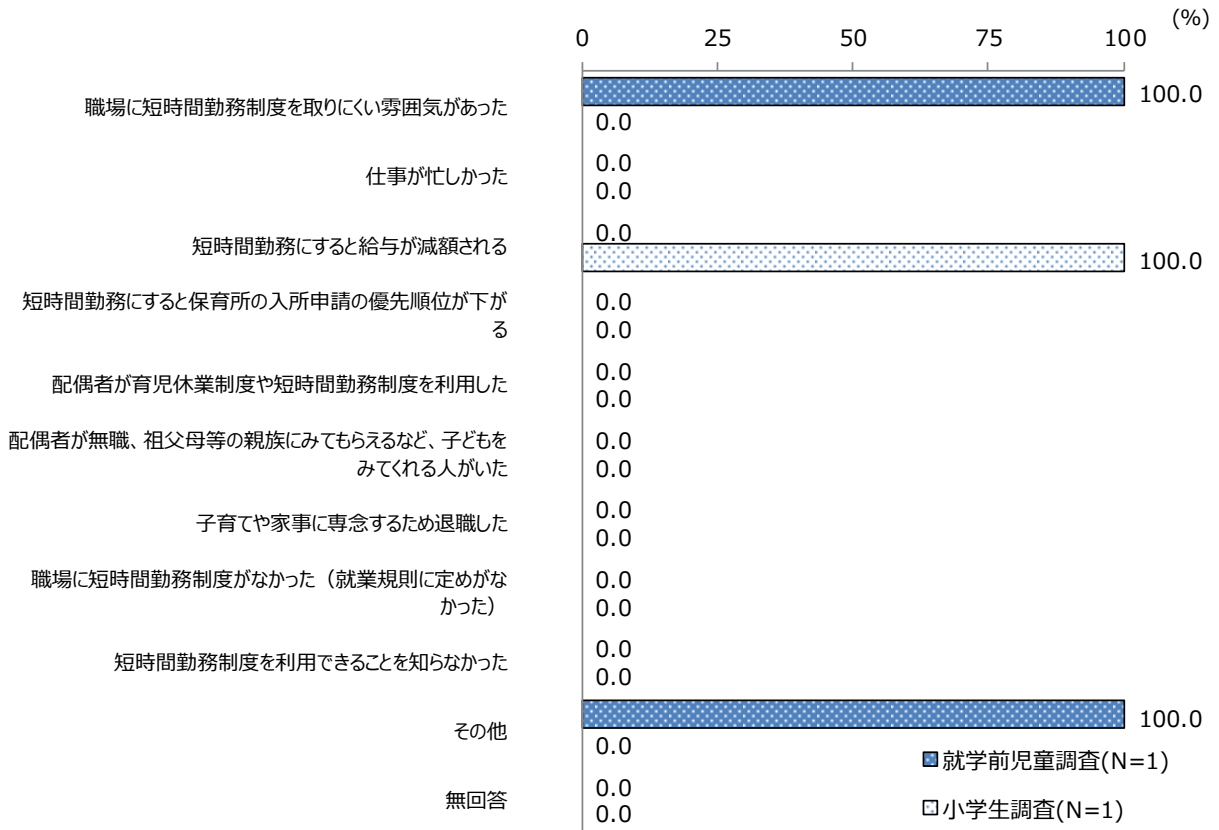
問 33-9 (1) [問 29-9 (1)] 母親が短時間勤務制度を利用しなかった理由



(11)-6 父親が短時間勤務制度を利用しなかった理由

就学前児童調査、小学生調査ともに5件未満であった。

問 33-9 (2) [問 29-9 (2)] 父親が短時間勤務制度を利用しなかった理由



IV. 酒田市の子育て、および次世代育成への取り組みに対する市民意識

1. 子育ての環境や支援に対する保護者意識調査

(1) 酒田市の子育て支援への満足感

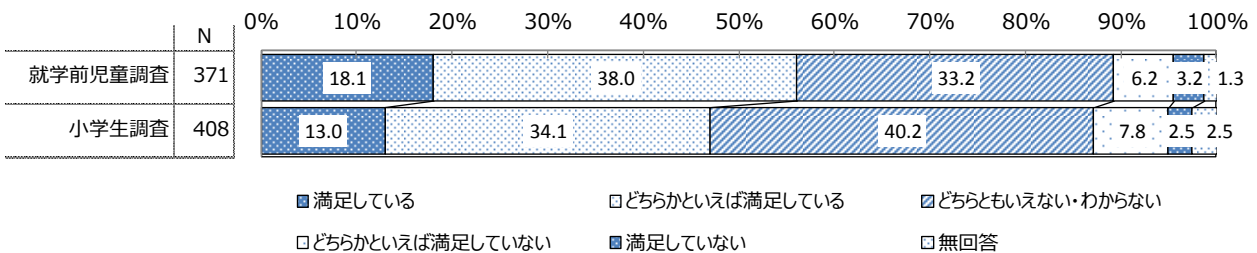
就学前児童調査では、「どちらかといえば満足している」が 38.0%と最も高く、次いで「どちらともいえない・わからない」が 33.2%、「満足している」が 18.1%となっている。

「満足している」と「どちらかといえば満足している」と肯定的な回答をした層では、「相談時の保健師の態度がよかったから」「金銭面の支援が充実しているから」の割合が高く、「満足していない」「どちらかといえば満足していない」と否定的な回答をした層では、「産科医の数が不足しているから」「金銭面の支援が不足しているから」の割合が高い。

小学生調査では、「どちらともいえない・わからない」が 40.2%と最も高く、次いで「どちらかといえば満足している」が 34.1%、「満足している」が 13.0%となっている。

「満足している」と「どちらかといえば満足している」と肯定的な回答をした層では、「金銭面の支援が充実しているから」の割合が高く、「満足していない」「どちらかといえば満足していない」と否定的な回答をした層では「産科医の数が不足しているから」の割合が高い。

問 34 [問 30] 酒田市の子育て支援への満足感



問 34-1 [問 30-1] 酒田市の子育て支援に対する評価理由

就学前児童調査

評価	N	産科医の数が十分あるから/不足しているから	産科医の設備が充実しているから/不足しているから	相談・マタニティ教室の回数や開催日が満足だから/不満だから	相談時の保健師の態度がよかったから/不満だったから	金銭面の支援が充実しているから/不足しているから	不妊治療への支援が充実しているから/不足しているから	制度の周知が十分行き届いているから/不足しているから	相談しやすいから/しにくいから	他市町村と比較して	その他	無回答
		満足している	67	9.0	34.3	26.9	38.8	38.8	1.5	14.9	16.4	3.0
どちらかといえば満足している	141	23.4	35.5	19.1	37.6	37.6	2.8	4.3	14.2	7.8	4.3	2.1
どちらかといえば満足していない	23	56.5	13.0	13.0	4.3	39.1	8.7	34.8	8.7	13.0	4.3	21.7
満足していない	12	33.3	25.0	0.0	0.0	66.7	16.7	25.0	16.7	50.0	16.7	0.0

小学生調査

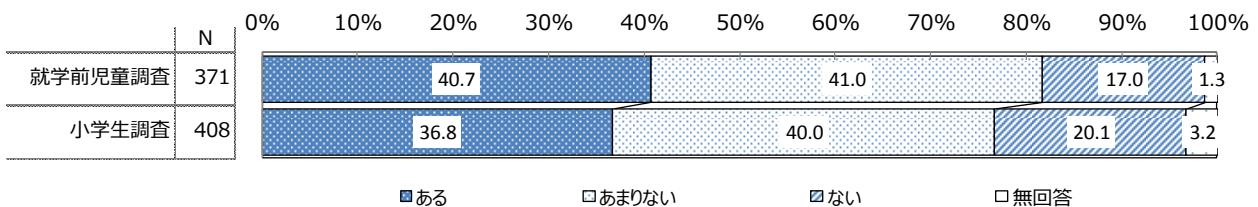
評価	N	産科医の数が十分あるから/不足しているから	産科医の設備が充実しているから/不足しているから	相談・マタニティ教室の回数や開催日が満足だから/不満だから	相談時の保健師の態度がよかったから/不満だったから	金銭面の支援が充実しているから/不足しているから	不妊治療への支援が充実しているから/不足しているから	制度の周知が十分行き届いているから/不足しているから	相談しやすいから/しにくいから	他市町村と比較して	その他	無回答
		満足している	53	9.4	17.0	37.7	32.1	41.5	0.0	13.2	11.3	7.5
どちらかといえば満足している	139	28.1	19.4	28.1	31.7	36.7	2.9	16.5	10.1	5.0	3.6	2.2
どちらかといえば満足していない	32	46.9	18.8	3.1	25.0	43.8	15.6	21.9	18.8	18.8	6.3	15.6
満足していない	10	60.0	40.0	0.0	10.0	50.0	10.0	30.0	0.0	20.0	10.0	10.0

(2)子育てに関する不安や負担感

就学前児童調査では、「あまりない」が41.0%と最も高く、次いで「ある」が40.7%、「ない」が17.0%となっている。

小学生調査では、「あまりない」が40.0%と最も高く、次いで「ある」が36.8%、「ない」が20.1%となっている。

問 35 [問 31] 子育てに関する不安や負担感

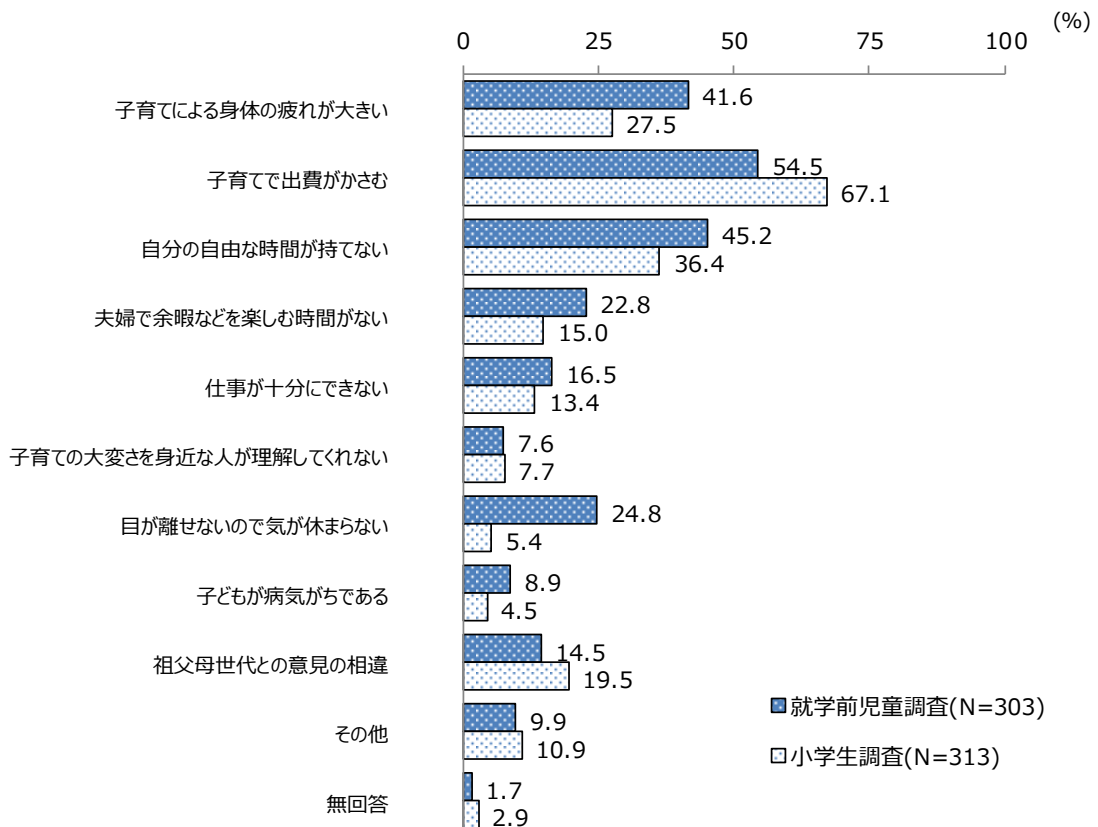


(2)-1 不安や負担を感じる事項

就学前児童調査では、「子育てで出費がかさむ」が54.5%と最も高く、次いで「自分の自由な時間が持てない」が45.2%、「子育てによる身体の疲れが大きい」が41.6%となっている。

小学生調査では、「子育てで出費がかさむ」が67.1%と最も高く、次いで「自分の自由な時間が持てない」が36.4%、「子育てによる身体の疲れが大きい」が27.5%となっている。

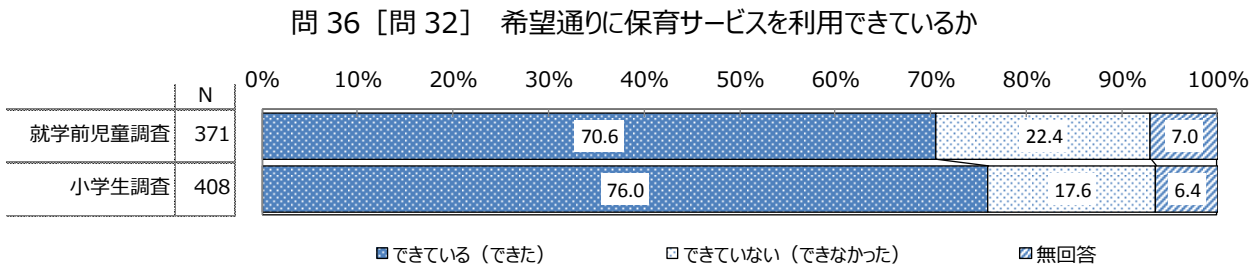
問 35-1 [問 31-1] 不安や負担を感じる事項



(3)希望通りに保育サービスを利用できているか

就学前児童調査では、「できている（できた）」が70.6%、次いで「できていない（できなかった）」が22.4%となっている。

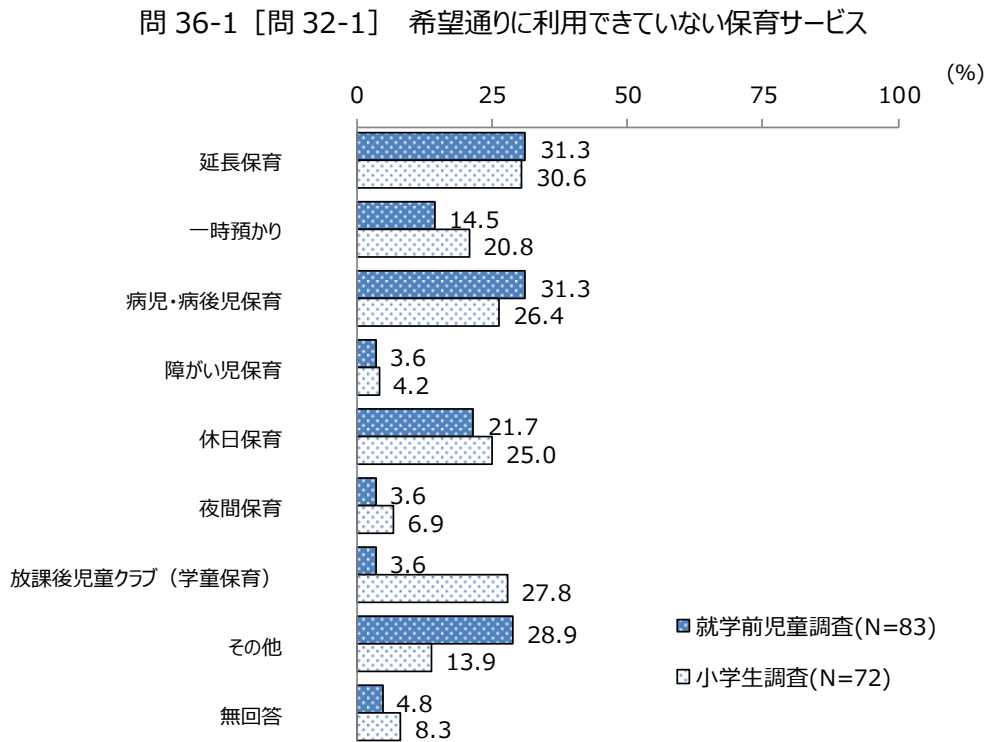
小学生調査では、「できている（できた）」が76.0%、次いで「できていない（できなかった）」が17.6%となっている。



(3)-1 希望通りに利用できていない保育サービス

就学前児童調査では、「延長保育」及び「病児・病後児保育」が31.3%と最も高く、次いで「その他」が28.9%となっている。

小学生調査では、「延長保育」が30.6%と最も高く、次いで「放課後児童クラブ（学童保育）」が27.8%、「病児・病後児保育」が26.4%となっている。



(4)子どもの教育環境の整備への取り組みの評価

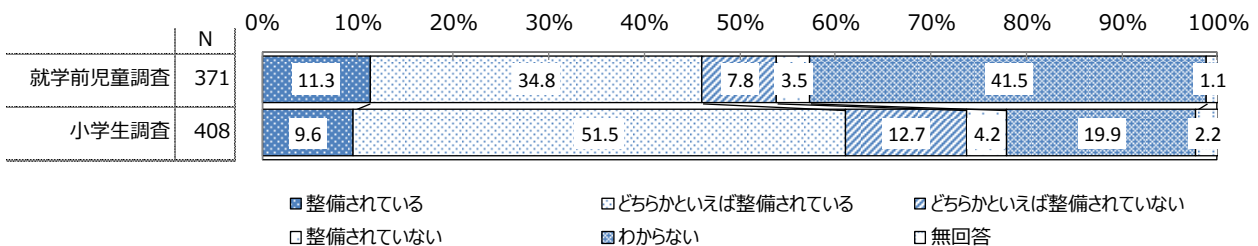
就学前児童調査では、「わからない」が41.5%と最も高く、次いで「どちらかといえば整備されている」が34.8%、「整備されている」が11.3%となっている。

「整備されている」と「どちらかといえば整備されている」と肯定的な回答をした層では、「教育環境づくりに関する情報提供が十分されているから」の割合が高く、「整備されていない」と「どちらかといえば整備されていない」と否定的な回答をした層では、「児童に応じた指導が行き届いていないから」「学童保育施設や職員体制が不足しているから」の割合が高い。

小学生調査では、「どちらかといえば整備されている」が51.5%と最も高く、次いで「わからない」が19.9%、「どちらかといえば整備されていない」が12.7%となっている。

「整備されている」と「どちらかといえば整備されている」と肯定的な回答をした層では、「教育環境づくりに関する情報提供が十分されているから」「生活体験・自然体験・職場体験活動が充実しているから」の割合が高く、「整備されていない」と「どちらかといえば整備されていない」と否定的な回答をした層では、「教育環境づくりに関する情報提供が不足しているから」「児童に応じた指導が行き届いていないから」の割合が高い。

問 37 [問 33] 子どもの教育環境の整備への取り組みの評価



問 37-1 [問 33-1] 子どもの教育環境の整備への取り組みの評価理由

就学前児童調査

評価	N	教育環境づくりに関する情報提供が十分されているから/不足しているから	学校等の耐震化が進んでいるから/進んでいないから	児童に応じた指導が行き届いているから/行き届いていないから	教育相談室やスクールカウンセラーの相談体制が整っているから/整っていないから	生活体験・自然体験・職場体験活動が充実しているから/不足しているから	学童保育施設や職員体制が充実しているから/不足しているから	他市町村と比較して	その他	無回答
		整備されている	42	54.8	4.8	40.5	19.0	31.0	21.4	2.4
どちらかといえば整備されている	129	41.1	14.7	17.8	13.2	34.1	22.5	10.1	2.3	2.3
どちらかといえば整備されていない	29	31.0	3.4	24.1	6.9	17.2	48.3	37.9	13.8	0.0
整備されていない	13	30.8	7.7	46.2	7.7	7.7	30.8	38.5	23.1	15.4

小学生調査

評価	N	教育環境づくりに関する情報提供が十分されているから/不足しているから	学校等の耐震化が進んでいるから/進んでいないから	児童に応じた指導が行き届いているから/行き届いていないから	教育相談室やスクールカウンセラーの相談体制が整っているから/整っていないから	生活体験・自然体験・職場体験活動が充実しているから/不足しているから	学童保育施設や職員体制が充実しているから/不足しているから	他市町村と比較して	その他	無回答
		整備されている	39	56.4	15.4	41.0	41.0	48.7	25.6	0.0
どちらかといえば整備されている	210	34.3	14.8	28.6	23.3	40.5	22.9	5.7	2.4	4.3
どちらかといえば整備されていない	52	38.5	3.8	30.8	25.0	23.1	25.0	28.8	7.7	5.8
整備されていない	17	47.1	0.0	52.9	11.8	23.5	47.1	35.3	11.8	0.0

(5)環境づくりへの評価

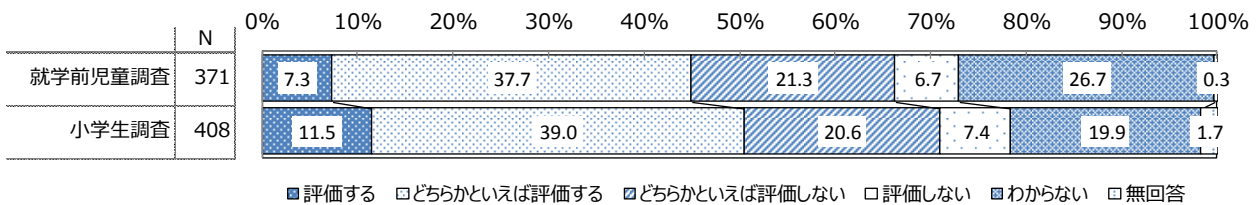
就学前児童調査では、「どちらかといえば評価する」が 37.7%と最も高く、次いで「わからない」が 26.7%、「どちらかといえば評価しない」が 21.3%となっている。

「評価する」と「どちらかといえば評価する」と肯定的な回答をした層では、「子育てに関する情報提供が十分されているから」「公園施設（遊具、休憩施設等）の点検、改修が行き届いているから」の割合が高く、「評価しない」と「どちらかといえば評価しない」と否定的な回答をした層では、「公園施設（遊具、休憩施設等）の点検、改修が行き届いていないから」の割合が高い。

小学生調査では、「どちらかといえば評価する」が 39.0%と最も高く、次いで「どちらかといえば評価しない」が 20.6%、「わからない」が 19.9%となっている。

「評価する」と「どちらかといえば評価する」と肯定的な回答をした層では、「子育てに関する情報提供が十分されているから」「公園施設（遊具、休憩施設等）の点検、改修が行き届いているから」の割合が高く、「評価しない」と「どちらかといえば評価しない」と否定的な回答をした層では、「公園施設（遊具、休憩施設等）の点検、改修が行き届いていないから」の割合が高い。

問 38 [問 34] 環境づくりへの評価



問 38-1 [問 34-1] 環境づくりへの評価への回答理由

就学前児童調査

評価	N	子育てに関する情報提供が十分されているから／不足しているから	公共施設への子ども用便器等の設置が進んでいるから／進んでいないから	子育て世帯への住宅に関する支援（融資及び補助、公営住宅入居の配慮）が十分されているから／されていないから	公園施設（遊具、休憩施設等）の点検、改修が行き届いているから／行き届いていないから	歩道のバリアフリー化が進んでいるから／進んでいないから	他市町村と比較して	その他	無回答
評価する	27	63.0	44.4	18.5	48.1	7.4	3.7	0.0	0.0
どちらかといえば評価する	140	40.0	35.0	12.9	45.0	9.3	5.7	5.0	5.7
どちらかといえば評価しない	79	30.4	41.8	22.8	59.5	16.5	19.0	8.9	3.8
評価しない	25	24.0	32.0	32.0	64.0	12.0	28.0	20.0	8.0

小学生調査

評価	N	子育てに関する情報提供が十分されているから／不足しているから	公共施設への子ども用便器等の設置が進んでいるから／進んでいないから	子育て世帯への住宅に関する支援（融資及び補助、公営住宅入居の配慮）が十分されているから／されていないから	公園施設（遊具、休憩施設等）の点検、改修が行き届いているから／行き届いていないから	歩道のバリアフリー化が進んでいるから／進んでいないから	他市町村と比較して	その他	無回答
評価する	47	59.6	31.9	8.5	51.1	12.8	8.5	4.3	4.3
どちらかといえば評価する	159	40.3	29.6	13.8	42.8	10.7	8.8	3.8	8.8
どちらかといえば評価しない	84	28.6	39.3	20.2	67.9	17.9	20.2	10.7	3.6
評価しない	30	23.3	23.3	16.7	66.7	26.7	26.7	23.3	0.0

(6)地域における交通安全活動や防犯活動への評価

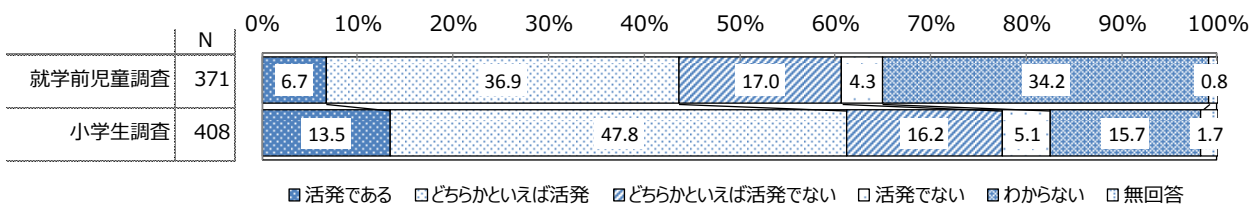
就学前児童調査では、「どちらかといえば活発」が36.9%と最も高く、次いで「わからない」が34.2%、「どちらかといえば活発でない」が17.0%となっている。

「活発である」と、「どちらかといえば活発」と肯定的な回答をした層では、「見守り隊の活動が目に見えて行われているから」の割合が高く、「活発でない」と、「どちらかといえば活発でない」と否定的な回答をした層では、「街灯が十分整備されていないから」の割合が高い。

小学生調査では、「どちらかといえば活発」が47.8%と最も高く、次いで「どちらかといえば活発でない」が16.2%、「わからない」が15.7%となっている。

「活発である」と、「どちらかといえば活発」と肯定的な回答をした層では、「見守り隊の活動が目に見えて行われているから」の割合が高く、「活発でない」と、「どちらかといえば活発でない」と否定的な回答をした層では、「子どもや歩行者への交通マナーがドライバーに浸透していないから」「街灯が十分整備されていないから」の割合が高い。

問 39 [問 35] 地域における交通安全活動や防犯活動への評価



問 39-1 [問 35-1] 地域における交通安全活動や防犯活動への評価理由

就学前児童調査

評価	N	交通安全の活動が目に見えて行われているから/行われていないから	見守り隊の活動が目に見えて行われているから/行われていないから	活動内容の周知が十分に行われているから/行われていないから	街灯が十分整備されているから/整備されていないから	どの地域でも活動が活発に行われているから/行われていないから	子どもや歩行者への交通マナーがドライバーに浸透しているから/いないから	他市町村と比較して	その他	無回答
		活発である	25	52.0	96.0	8.0	20.0	8.0	4.0	0.0
どちらかといえば活発	137	46.0	91.2	4.4	12.4	6.6	4.4	1.5	1.5	0.7
どちらかといえば活発でない	63	39.7	25.4	36.5	49.2	12.7	41.3	6.3	4.8	3.2
活発でない	16	50.0	31.3	18.8	62.5	12.5	25.0	12.5	12.5	0.0

小学生調査

評価	N	交通安全の活動が目に見えて行われているから/行われていないから	見守り隊の活動が目に見えて行われているから/行われていないから	活動内容の周知が十分に行われているから/行われていないから	街灯が十分整備されているから/整備されていないから	どの地域でも活動が活発に行われているから/行われていないから	子どもや歩行者への交通マナーがドライバーに浸透しているから/いないから	他市町村と比較して	その他	無回答
		活発である	55	65.5	98.2	7.3	16.4	20.0	1.8	5.5
どちらかといえば活発	195	48.2	85.6	9.7	12.3	8.7	5.1	1.5	2.6	2.1
どちらかといえば活発でない	66	31.8	19.7	21.2	51.5	13.6	39.4	7.6	3.0	6.1
活発でない	21	42.9	42.9	23.8	28.6	9.5	47.6	0.0	14.3	4.8

(7)特別な支援を必要とする子どもに対する支援体制への評価

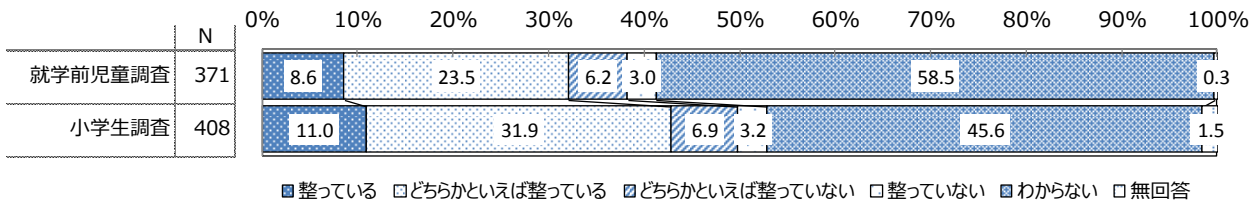
就学前児童調査では、「わからない」が58.5%と最も高く、次いで「どちらかといえば整っている」が23.5%、「整っている」が8.6%となっている。

「整っている」と、「どちらかといえば整っている」と肯定的な回答をした層では、「支援内容が充実しているから」の割合が高く、「整っていない」と、「どちらかといえば整っていない」と否定的な回答をした層では、「療養機関、ことばの教育を行う機関が充実していないから」「個々の家庭の状況把握・サポートが行き届いていないから」の割合が高い。

小学生調査では、「わからない」が45.6%と最も高く、次いで「どちらかといえば整っている」が31.9%、「整っている」が11.0%となっている。

「整っている」と、「どちらかといえば整っている」と肯定的な回答をした層では、「支援内容が充実しているから」の割合が高く、「整っていない」と、「どちらかといえば整っていない」と否定的な回答をした層では、「個々の家庭の状況把握・サポートが行き届いていないから」「支援内容が充実していないから」の割合が高い。

問 40 [問 36] 特別な支援を必要とする子どもに対する支援体制への評価



問 40-1 [問 36-1] 特別な支援を必要とする子どもに対する支援体制への評価理由

就学前児童調査

評価	N	支援内容が充実しているから/いないから	相談できる場所が充実しているから/いないから	個々の家庭の状況把握・サポートが行き届いているから/行き届いていないから	他市と比較して支援等が充実しているから/いないから	支援を利用できる条件が適当だから/厳しすぎるから	療養機関、ことばの教育を行う機関が充実しているから/いないから	発達に関して気軽に相談できる医療機関が充実しているから/いないから	わからない	無回答
整っている	32	75.0	43.8	25.0	0.0	0.0	9.4	6.3	3.1	3.1
どちらかといえば整っている	87	43.7	42.5	11.5	4.6	8.0	9.2	17.2	14.9	1.1
どちらかといえば整っていない	23	26.1	34.8	26.1	30.4	13.0	60.9	34.8	0.0	4.3
整っていない	11	27.3	45.5	63.6	18.2	45.5	9.1	27.3	0.0	9.1

小学生調査

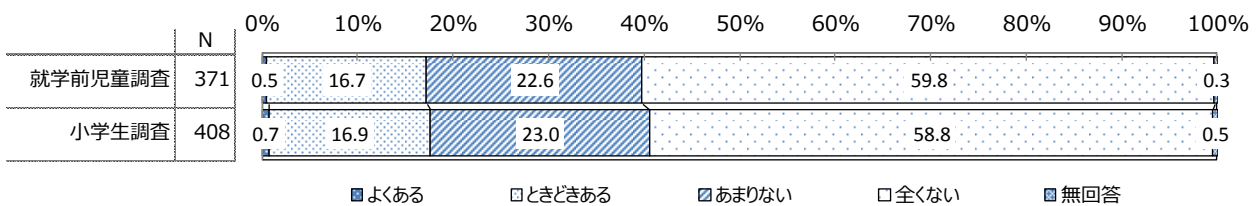
評価	N	支援内容が充実しているから/いないから	相談できる場所が充実しているから/いないから	個々の家庭の状況把握・サポートが行き届いているから/行き届いていないから	他市と比較して支援等が充実しているから/いないから	支援を利用できる条件が適当だから/厳しすぎるから	療養機関、ことばの教育を行う機関が充実しているから/いないから	発達に関して気軽に相談できる医療機関が充実しているから/いないから	わからない	無回答
整っている	45	66.7	48.9	8.9	6.7	8.9	11.1	20.0	2.2	11.1
どちらかといえば整っている	130	34.6	32.3	9.2	10.0	19.2	13.1	14.6	11.5	6.2
どちらかといえば整っていない	28	35.7	35.7	46.4	21.4	14.3	14.3	21.4	3.6	10.7
整っていない	13	53.8	23.1	53.8	15.4	30.8	7.7	7.7	0.0	23.1

(8)子どもを虐待しているのではないかと思うこと

就学前児童調査では、「全くない」が 59.8%と最も高く、次いで「あまりない」が 22.6%、「ときどきある」が 16.7%となっている。

小学生調査では、「全くない」が 58.8%と最も高く、次いで「あまりない」が 23.0%、「ときどきある」が 16.9%となっている。

問 41 [問 37] 子どもを虐待しているのではないかと思うこと

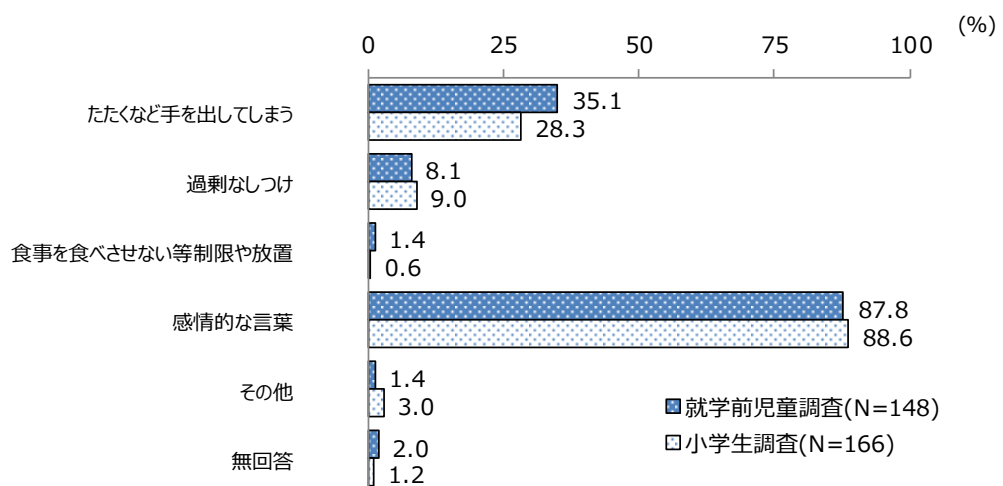


(8)-1 (虐待をしていると思うことがある場合) どんな場合か

就学前児童調査では、「感情的な言葉」が 87.8%と最も高く、次いで「たたくなど手を出してしまう」が 35.1%、「過剰なしつけ」が 8.1%となっている。

小学生調査では、「感情的な言葉」が 88.6%と最も高く、次いで「たたくなど手を出してしまう」が 28.3%、「過剰なしつけ」が 9.0%となっている。

問 41-1 [問 37-1] (虐待をしていると思うことがある場合) どんな場合か

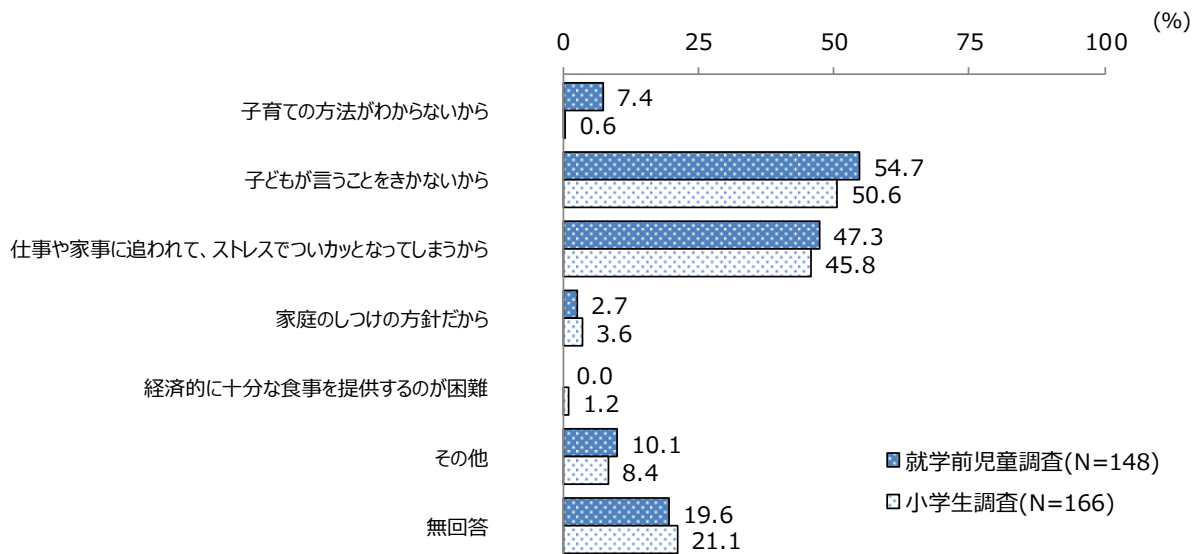


(8)-2 (虐待をしていると思うことがある場合) その理由

就学前児童調査では、「子どもが言うことをきかないから」が54.7%と最も高く、次いで「仕事や家事に追われて、ストレスでついカッとなってしまうから」が47.3%、「無回答」が19.6%となっている。

小学生調査では、「子どもが言うことをきかないから」が50.6%と最も高く、次いで「仕事や家事に追われて、ストレスでついカッとなってしまうから」が45.8%、「無回答」が21.1%となっている。

問 41-2 [問 37-2] (虐待をしていると思うことがある場合) その理由

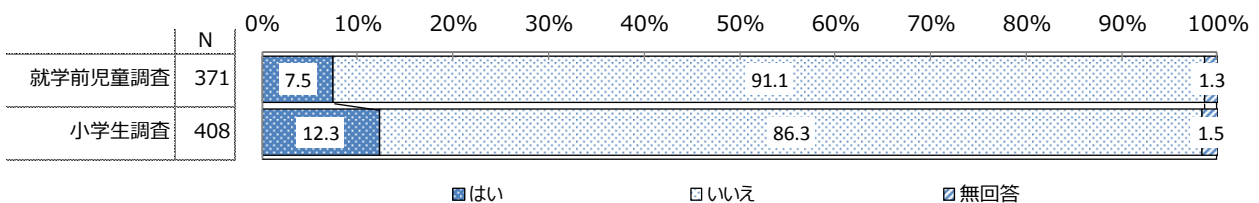


(8)-3 身近で児童虐待と思われるようなことはあるか

就学前児童調査では、「いいえ」が91.1%と最も高く、次いで「はい」が7.5%、「無回答」が1.3%となっている。

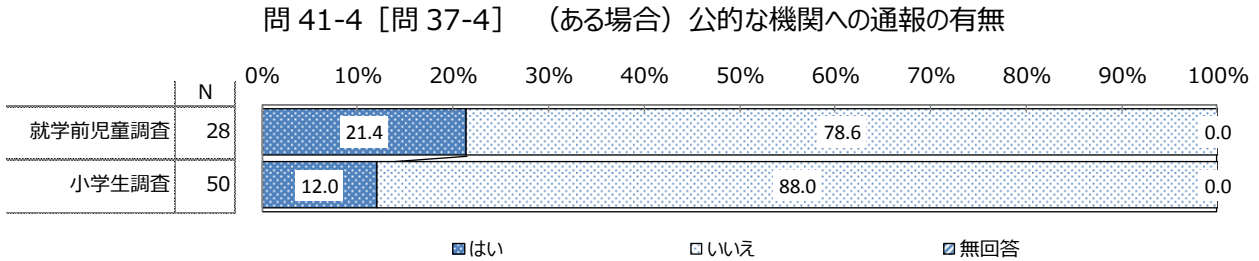
小学生調査では、「いいえ」が86.3%と最も高く、次いで「はい」が12.3%、「無回答」が1.5%となっている。

問 41-3 [問 37-3] 身近で児童虐待と思われるようなことはあるか



(8)-4 (ある場合) 公的な機関への通報の有無

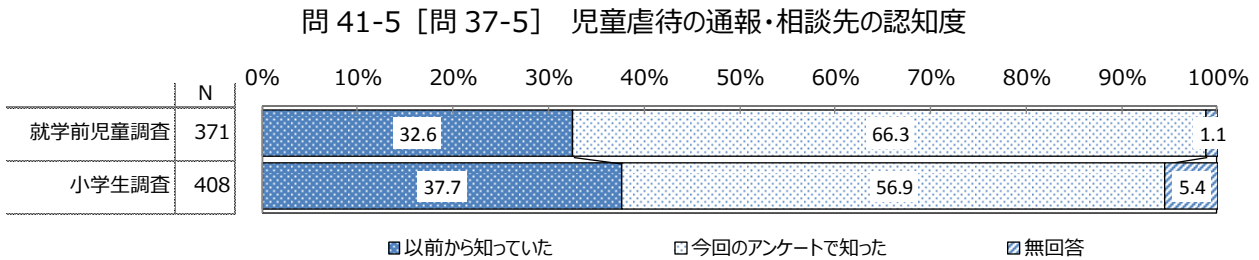
就学前児童調査では、「はい」が21.4%、小学生調査では、「はい」が12.0%となっている。



(8)-5 児童虐待の通報・相談先の認知度

就学前児童調査では、「今回のアンケートで知った」が66.3%、次いで「以前から知っていた」が32.6%となっている。

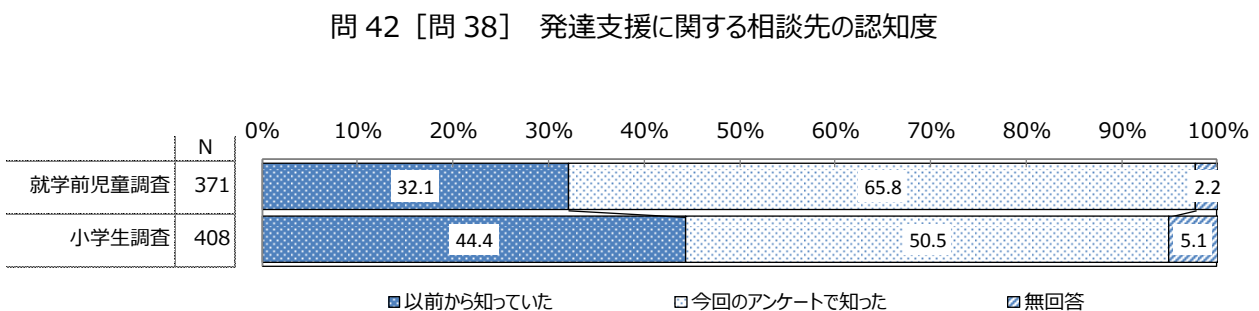
小学生調査では、「今回のアンケートで知った」が56.9%、次いで「以前から知っていた」が37.7%となっている。



(9) 発達支援に関する相談先の認知度

就学前児童調査では、「今回のアンケートで知った」が65.8%、次いで「以前から知っていた」が32.1%となっている。

小学生調査では、「今回のアンケートで知った」が50.5%、次いで「以前から知っていた」が44.4%となっている。

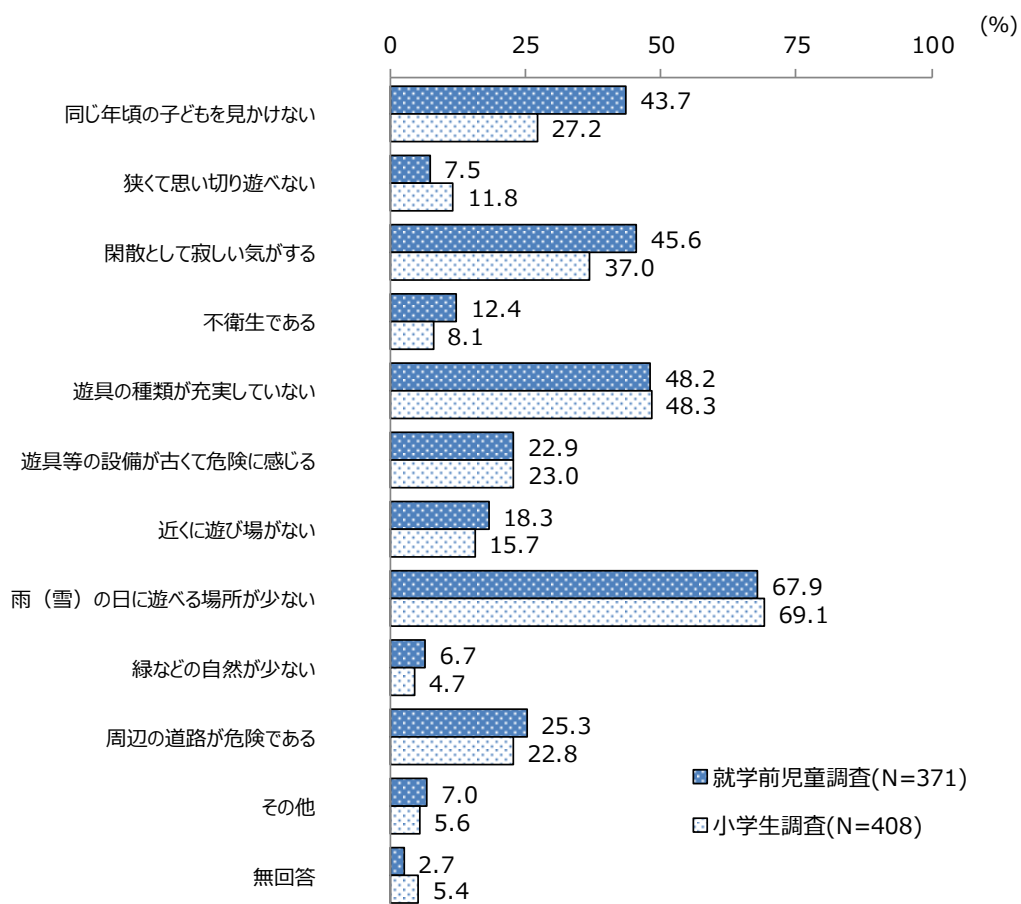


(10)子どもの遊び場について

就学前児童調査では、「雨（雪）の日に遊べる場所が少ない」が67.9%と最も高く、次いで「遊具の種類が充実していない」が48.2%、「閑散として寂しい気がする」が45.6%となっている。

小学生調査では、「雨（雪）の日に遊べる場所が少ない」が69.1%と最も高く、次いで「遊具の種類が充実していない」が48.3%、「閑散として寂しい気がする」が37.0%となっている。

問 43 [問 39] 子どもの遊び場について

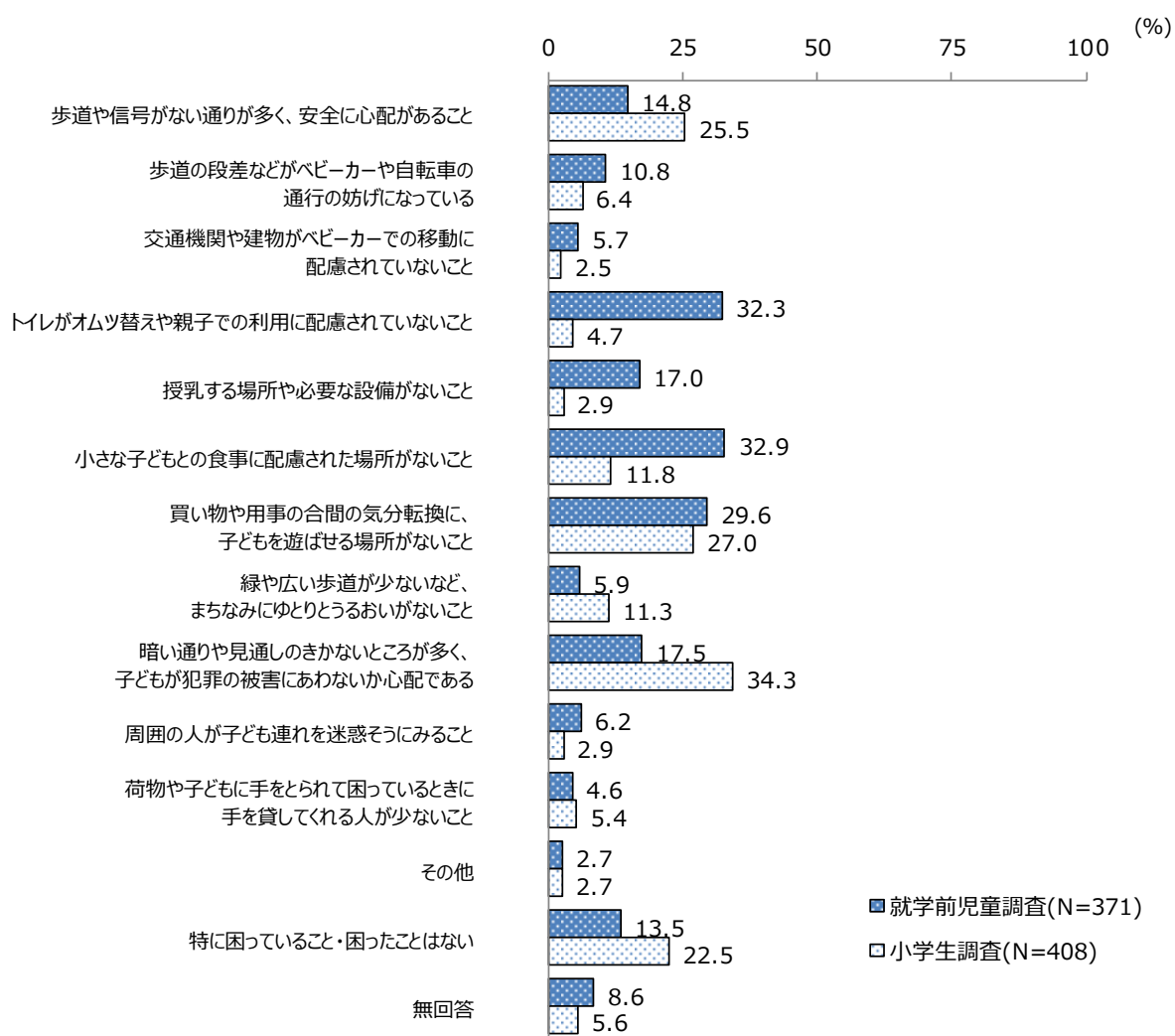


(11)子どもの外出の際、困ること

就学前児童調査では、「小さな子どもとの食事に配慮された場所がないこと」が32.9%と最も高く、次いで「トイレがオムツ替えや親子での利用に配慮されていないこと」が32.3%、「買い物や用事の合間の気分転換に、子どもを遊ばせる場所がないこと」が29.6%となっている。

小学生調査では、「暗い通りや見通しのきかないところが多く、子どもが犯罪の被害にあわないか心配である」が34.3%と最も高く、次いで「買い物や用事の合間の気分転換に、子どもを遊ばせる場所がないこと」が27.0%、「歩道や信号がない通りが多く、安全に心配があること」が25.5%となっている。

問 44 [問 40] 子どもの外出の際、困ること

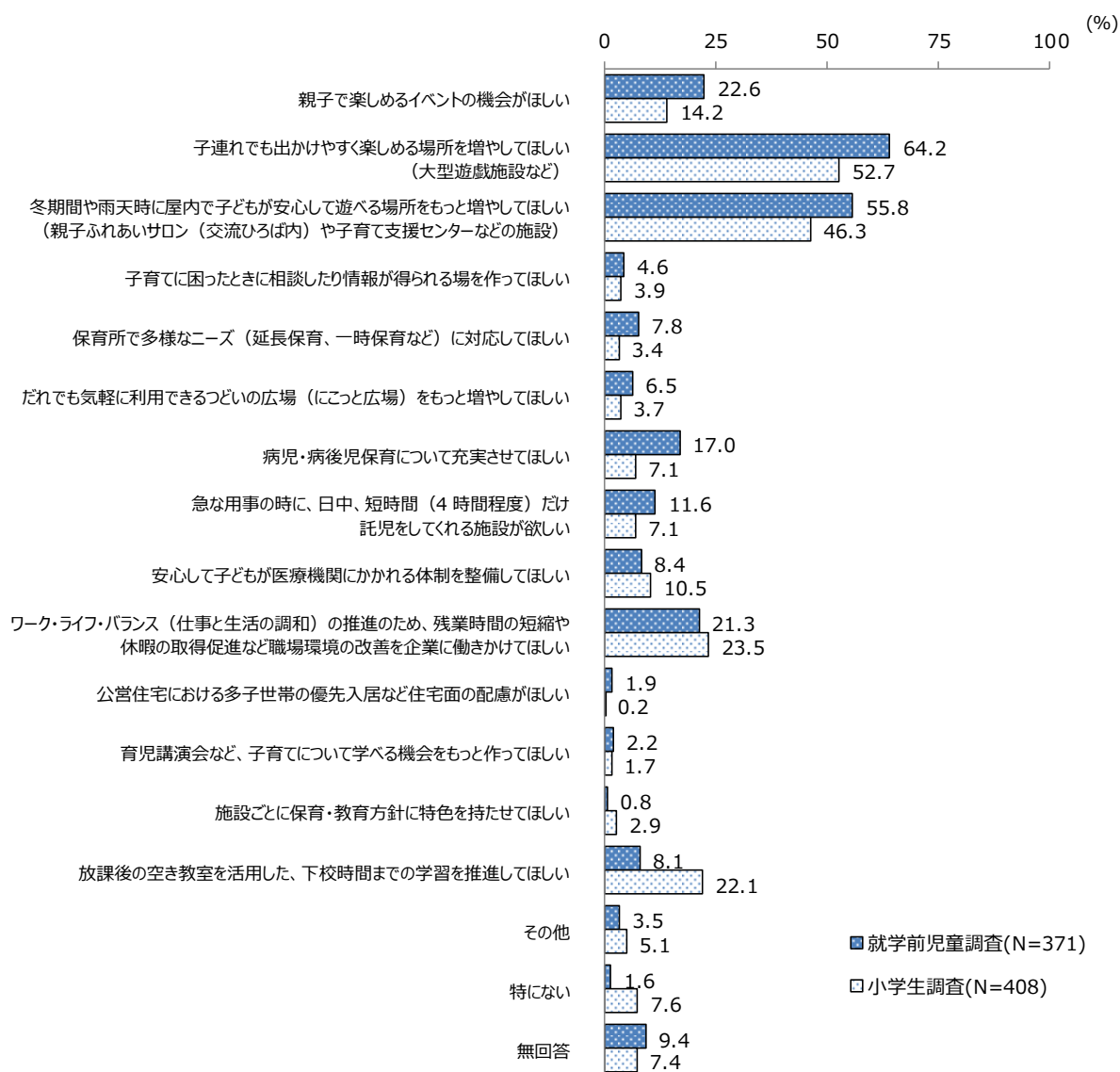


(12)子育て環境の充実のための支援策

就学前児童調査では、「子連れでも出かけやすく楽しめる場所を増やしてほしい（大型遊戯施設など）」が64.2%と最も高く、次いで「冬期間や雨天時に屋内で子どもが安心して遊べる場所をもっと増やしてほしい」が55.8%、「親子で楽しめるイベントの機会がほしい」が22.6%となっている。

小学生調査では、「子連れでも出かけやすく楽しめる場所を増やしてほしい（大型遊戯施設など）」が52.7%と最も高く、次いで「冬期間や雨天時に屋内で子どもが安心して遊べる場所をもっと増やしてほしい」が46.3%、「ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の推進のため、残業時間の短縮や休暇の取得促進など職場環境の改善を企業に働きかけてほしい」が23.5%となっている。

問 45 [問 41] 子育て環境の充実のための支援策

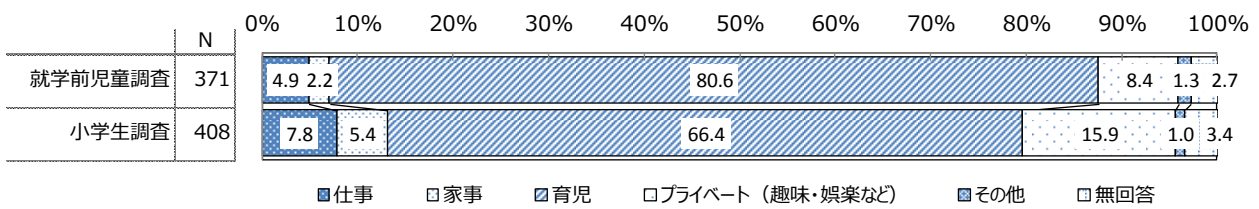


(13)希望する生活の優先度

就学前児童調査では、「育児」が80.6%と最も高く、次いで「プライベート（趣味・娯楽など）」が8.4%、「仕事」が4.9%となっている。

小学生調査では、「育児」が66.4%と最も高く、次いで「プライベート（趣味・娯楽など）」が15.9%、「仕事」が7.8%となっている。

問 46 [問 42] 希望する生活の優先度

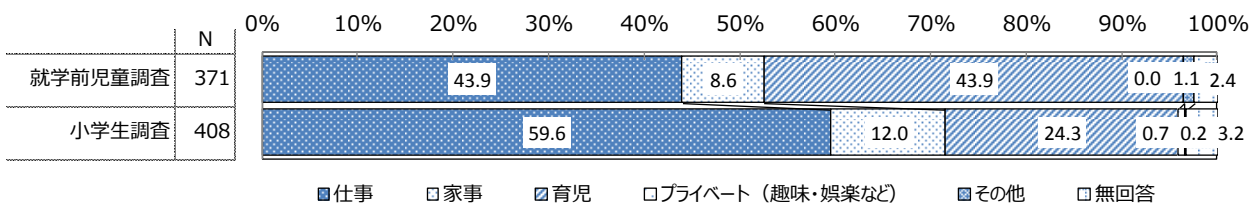


(14)現実の生活の優先度

就学前児童調査では、「仕事」及び「育児」が43.9%と最も高く、次いで「家事」が8.6%となっている。

小学生調査では、「仕事」が59.6%と最も高く、次いで「育児」が24.3%、「家事」が12.0%となっている。

問 46 [問 42] 現実の生活の優先度



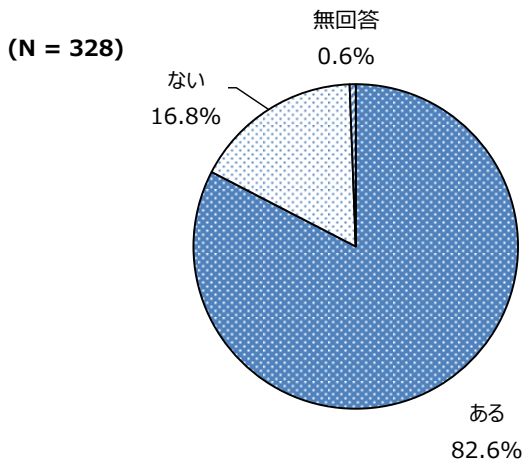
2. 子育てに関する高校生意識調査

(1) 乳幼児とふれあった経験の有無

「ある」が82.6%となっている。

学校別では、特段の差異はみられない。

問1 乳幼児とふれあった経験の有無



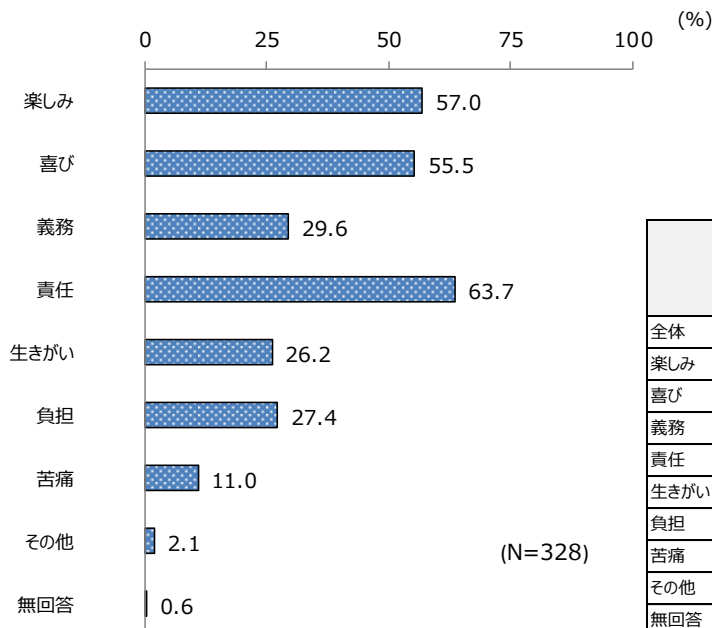
	合計		学校別			
	N	%	酒田西高校		酒田南高校	
			N	%	N	%
全体	328	100.0	198	100.0	130	100.0
ある	271	82.6	162	81.8	109	83.8
ない	55	16.8	35	17.7	20	15.4
無回答	2	0.6	1	0.5	1	0.8

(2) 子育てに関するイメージ

「責任」が63.7%と最も高く、次いで「楽しみ」が57.0%、「喜び」が55.5%となっている。

学校別では、いずれの学校も同じ順位となっている。また、酒田西高校は「責任」の割合が、酒田南高校を10ポイント以上上回っている。

問2 子育てに関するイメージ



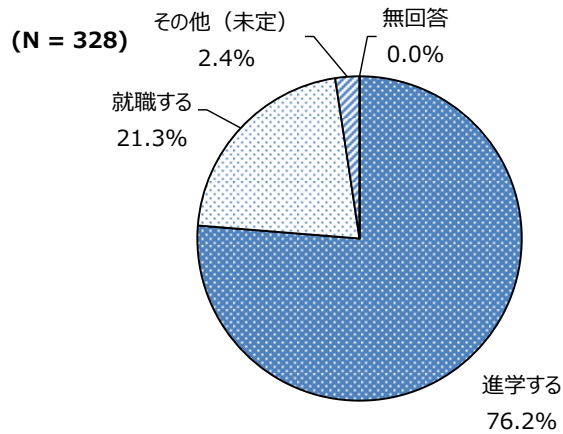
	合計		学校別			
	N	%	酒田西高校		酒田南高校	
			N	%	N	%
全体	328	100.0	198	100.0	130	100.0
楽しみ	187	57.0	114	57.6	73	56.2
喜び	182	55.5	111	56.1	71	54.6
義務	97	29.6	59	29.8	38	29.2
責任	209	63.7	135	68.2	74	56.9
生きがい	86	26.2	46	23.2	40	30.8
負担	90	27.4	67	33.8	23	17.7
苦痛	36	11.0	21	10.6	15	11.5
その他	7	2.1	2	1.0	5	3.8
無回答	2	0.6	2	1.0	0	0.0

(3)卒業後の進路

「進学する」が76.2%と最も高く、次いで「就職する」が21.3%、「その他（未定）」が2.4%となっている。

学校別では、酒田西高校は「進学する」が9割以上に対し、酒田南高校は「進学する」「就職する」が、いずれも4割台となっている。

問3 卒業後の進路



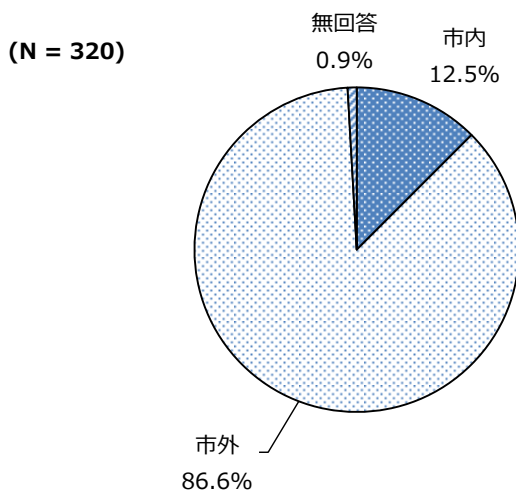
	合計		学校別			
			酒田西高校		酒田南高校	
	N	%	N	%	N	%
全体	328	100.0	198	100.0	130	100.0
進学する	250	76.2	186	93.9	64	49.2
就職する	70	21.3	9	4.5	61	46.9
その他 (未定)	8	2.4	3	1.5	5	3.8
無回答	0	0.0	0	0.0	0	0.0

(3)-1 市内と市外の希望（進学・就職予定者のみ）

「市外」が86.6%と最も高く、次いで「市内」が12.5%、「無回答」が0.9%となっている。

学校別では、酒田西高校は「市内」が1割未満に対し、酒田南高校は「市内」が25.6%とおよそ4人に1人が市内を希望している。

問3-1 市内と市外の希望（進学・就職予定者のみ）



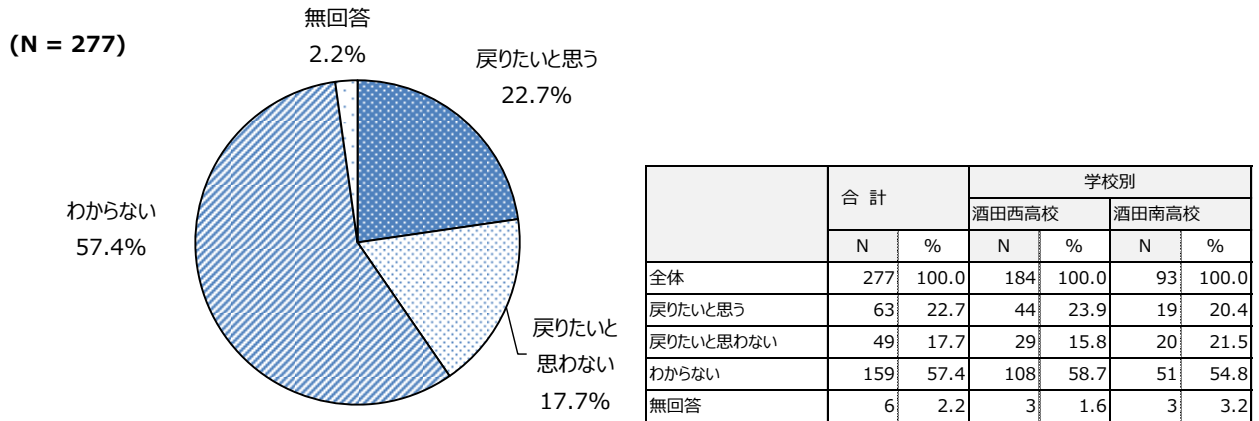
	合計		学校別			
			酒田西高校		酒田南高校	
	N	%	N	%	N	%
全体	320	100.0	195	100.0	125	100.0
市内	40	12.5	8	4.1	32	25.6
市外	277	86.6	184	94.4	93	74.4
無回答	3	0.9	3	1.5	0	0.0

(3)-2 (市外希望者のみ) 将来的に酒田市へ戻る希望の有無

「わからない」が57.4%と最も高く、次いで「戻りたいと思う」が22.7%、「戻りたいと思わない」が17.7%となっている。

学校別では、いずれも「わからない」が過半数で最も高い。

問 3-2 (市外希望者のみ) 将来的に酒田市へ戻る希望の有無

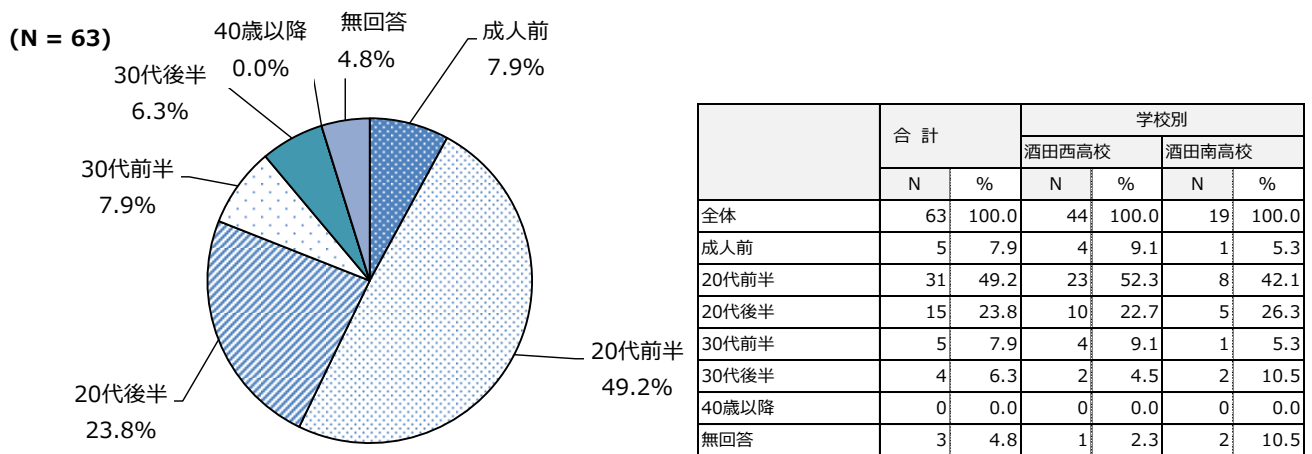


(3)-3 (希望がある場合) 戻りたい年代

「20代前半」が49.2%と最も高く、次いで「20代後半」が23.8%、「成人前」及び「30代前半」が7.9%となっている。

学校別では、酒田西高校は「20代前半」が酒田南高校を上回り、酒田南高校は「30代後半」が酒田西高校を上回っている。

問 3-3 (希望がある場合) 戻りたい年代

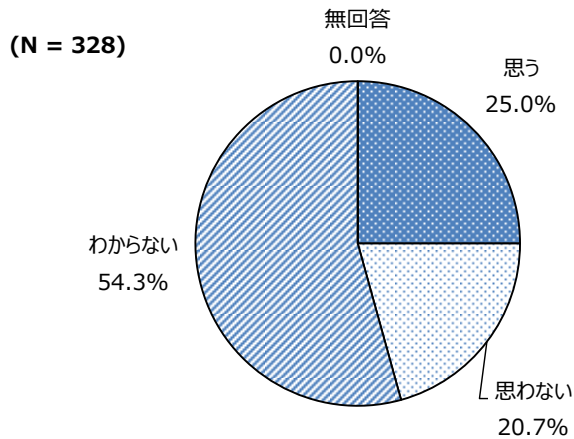


(4) 将来の酒田市での生活や子育てをしたいと思うか

「わからない」が54.3%と最も高く、次いで「思う」が25.0%、「思わない」が20.7%となっている。

学校別では、酒田西高校は「思わない」が1割台に対し、酒田南高校は2割台と高い。

問 4 将来の酒田市での生活や子育てをしたいと思うか



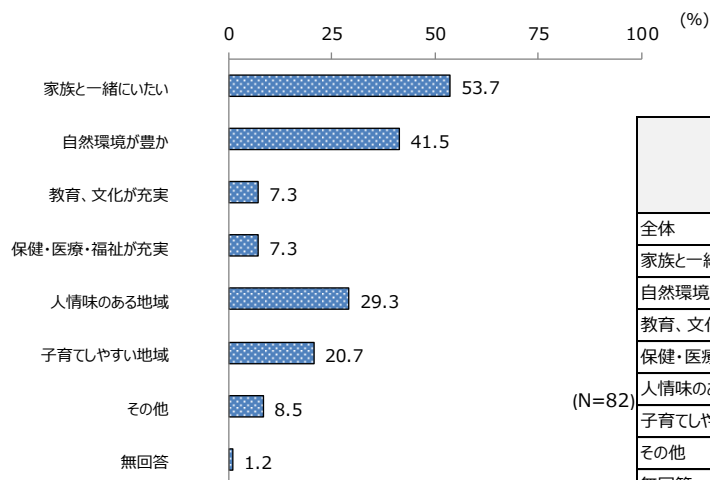
	合計		学校別			
	N	%	酒田西高校		酒田南高校	
			N	%	N	%
全体	328	100.0	198	100.0	130	100.0
思う	82	25.0	50	25.3	32	24.6
思わない	68	20.7	34	17.2	34	26.2
わからない	178	54.3	114	57.6	64	49.2
無回答	0	0.0	0	0.0	0	0.0

(4)-1 酒田市での生活や子育てをしたいと思う理由

「家族と一緒にいたい」が53.7%と最も高く、次いで「自然環境が豊か」が41.5%、「人情味のある地域」が29.3%となっている。

学校別では、いずれも「家族と一緒にいたい」が最も高く、「自然環境が豊か」が次いで高い。

問 4-1 酒田市での生活や子育てをしたいと思う理由



(N=82)

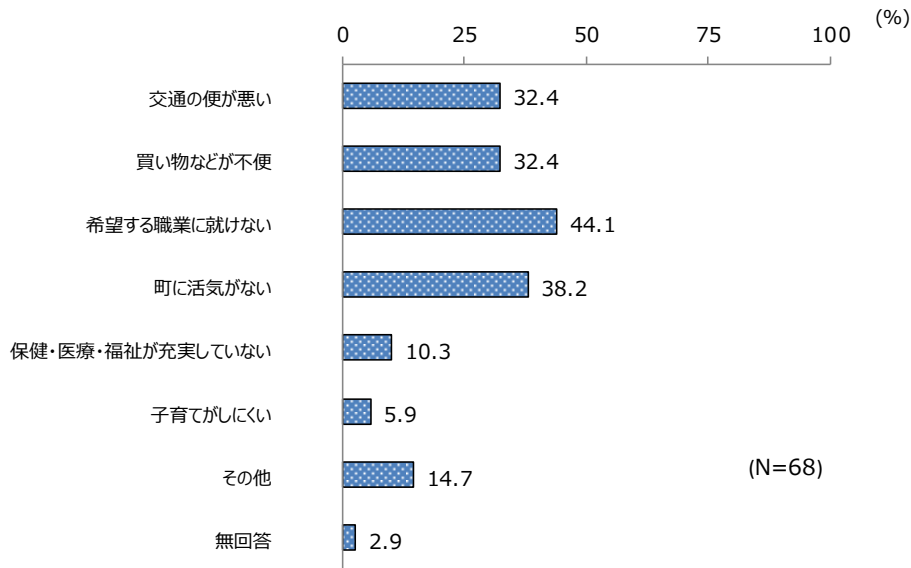
	合計		学校別			
	N	%	酒田西高校		酒田南高校	
			N	%	N	%
全体	82	100.0	50	100.0	32	100.0
家族と一緒にいたい	44	53.7	24	48.0	20	62.5
自然環境が豊か	34	41.5	20	40.0	14	43.8
教育、文化が充実	6	7.3	2	4.0	4	12.5
保健・医療・福祉が充実	6	7.3	0	0.0	6	18.8
人情味のある地域	24	29.3	16	32.0	8	25.0
子育てしやすい地域	17	20.7	9	18.0	8	25.0
その他	7	8.5	5	10.0	2	6.3
無回答	1	1.2	0	0.0	1	3.1

(4)-2 酒田市での生活や子育てをしたいと思わない理由

「希望する職業に就けない」が44.1%と最も高く、次いで「町に活気がない」が38.2%、「交通の便が悪い」及び「買い物などが不便」が32.4%となっている。

学校別では、酒田西高校は「買い物などが不便」「町に活気がない」が最も高く、酒田南高校は「希望する職業に就けない」が最も高い。

問 4-2 酒田市での生活や子育てをしたいと思わない理由



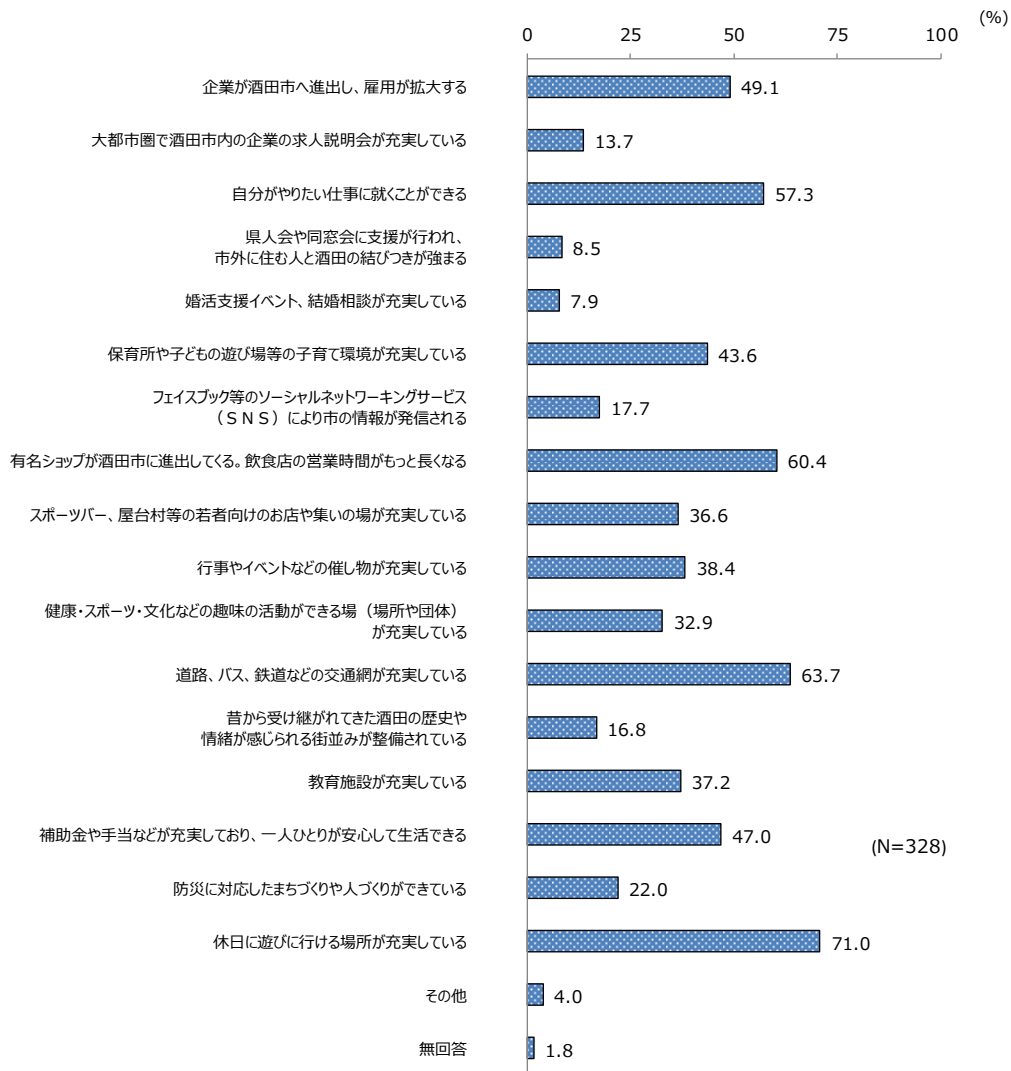
	合計		学校別			
	N	%	酒田西高校		酒田南高校	
			N	%	N	%
全体	68	100.0	34	100.0	34	100.0
交通の便が悪い	22	32.4	14	41.2	8	23.5
買い物などが不便	22	32.4	15	44.1	7	20.6
希望する職業に就けない	30	44.1	14	41.2	16	47.1
町に活気がない	26	38.2	15	44.1	11	32.4
保健・医療・福祉が充実していない	7	10.3	4	11.8	3	8.8
子育てがしにくい	4	5.9	2	5.9	2	5.9
その他	10	14.7	2	5.9	8	23.5
無回答	2	2.9	1	2.9	1	2.9

(5)進学や就職で大都市圏に転出した若者を酒田に呼び戻すためにあればいいこと

「休日に遊びに行ける場所が充実している」が71.0%と最も高く、次いで「道路、バス、鉄道などの交通網が充実している」が63.7%、「有名ショップが酒田市に進出してくる。飲食店の営業時間がもっと長くなる」が60.4%となっている。

学校別では、酒田西高校は「道路、バス、鉄道などの交通網が充実している」、酒田南高校は「有名ショップが酒田市に進出してくる。飲食店の営業時間がもっと長くなる」が最も高い。

問 5 進学や就職で大都市圏に転出した若者を酒田に呼び戻すためにあればいいこと



	合 計		学校別			
			酒田西高校		酒田南高校	
	N	%	N	%	N	%
全体	328	100.0	198	100.0	130	100.0
企業が酒田市へ進出し、雇用が拡大する	161	49.1	100	50.5	61	46.9
大都市圏で酒田市内の企業の求人説明会が充実している	45	13.7	28	14.1	17	13.1
自分がやりたい仕事に就くことができる	188	57.3	113	57.1	75	57.7
県人会（※）や同窓会に支援が行われ、市外に住む人と酒田の結びつきが強まる	28	8.5	16	8.1	12	9.2
婚活支援イベント、結婚相談が充実している	26	7.9	13	6.6	13	10.0
保育所や子どもの遊び場等の子育て環境が充実している	143	43.6	99	50.0	44	33.8
フェイスブック等のソーシャルネットワーキングサービス（SNS）により市の情報が発信される	58	17.7	35	17.7	23	17.7
有名ショップが酒田市に進出して来る。飲食店の営業時間がもっと長くなる	198	60.4	121	61.1	77	59.2
スポーツバー、屋台村等の若者向けのお店や集いの場が充実している	120	36.6	71	35.9	49	37.7
行事やイベントなどの催し物が充実している	126	38.4	83	41.9	43	33.1
健康・スポーツ・文化などの趣味の活動ができる場（場所や団体）が充実している	108	32.9	68	34.3	40	30.8
道路、バス、鉄道などの交通網が充実している	209	63.7	135	68.2	74	56.9
昔から受け継がれてきた酒田の歴史や情緒が感じられる街並みが整備されている	55	16.8	35	17.7	20	15.4
教育施設が充実している	122	37.2	80	40.4	42	32.3
補助金や手当などが充実しており、一人ひとりが安心して生活できる	154	47.0	98	49.5	56	43.1
防災に対応したまちづくりや人づくりができています	72	22.0	48	24.2	24	18.5
休日に遊びに行ける場所が充実している	233	71.0	147	74.2	86	66.2
その他	13	4.0	7	3.5	6	4.6
無回答	6	1.8	3	1.5	3	2.3

※県人会：出身都道府県から離れた地域で結成される、各都道府県出身者単位の親睦会や親睦団体

V. 量の見込みについて

1. 人口推計

下記データを活用し、コーホート変化率法によって平成 32 年度以降の各年度 4 月 1 日時点における児童人口の推計を行った。

- ①平成 26～30 年の各 3 月末時点の各歳別人口
- ②平成 25～29 年の各 10 月 1 日時点の年齢 5 歳階級別女子人口
- ③平成 25～29 年度（各 1 月 1 日～12 月 31 日）の母親年齢 5 歳階級別の総出生数
- ④平成 25～29 年度（各 1 月 1 日～12 月 31 日）の男子出生数

（データの出典）

- ①及び②：酒田市の「住民基本台帳」年齢別人口に基づく

(http://www.city.sakata.lg.jp/shisei/toukei/toukeishiryou/toukei_jyuukidaicyou.html)

- ③及び④：厚生労働省「人口動態調査」に基づく

(<https://www.mhlw.go.jp/toukei/list/81-1.html>)

コーホート変化率法の考え方については、厚生労働省の「地域行動計画策定の手引き」に基づいている。

(<https://www.mhlw.go.jp/topics/bukyoku/seisaku/syousika/030819/2.html>)

【推計結果】

（単位：人）

年齢	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
0歳	598	603	584	568	551	532	517
1歳	642	599	604	585	569	552	533
2歳	680	648	604	609	590	574	557
3歳	667	671	640	596	601	582	566
4歳	702	661	665	634	590	595	576
5歳	707	689	648	652	622	579	584
小計	3,996	3,871	3,745	3,644	3,523	3,414	3,333
6歳	687	698	681	641	645	616	573
7歳	762	682	693	677	637	641	612
8歳	793	757	677	688	672	632	636
9歳	811	787	751	671	682	666	626
10歳	837	815	791	755	674	685	669
11歳	803	832	810	786	750	669	680
小計	4,693	4,571	4,403	4,218	4,060	3,909	3,796
合計	8,689	8,442	8,148	7,862	7,583	7,323	7,129

※2018 年度は酒田市住民基本台帳データに基づく実績。

- ・コーホート変化率法による推計の結果、酒田市の 0 歳～11 歳の児童数は 2018 年度の 8,689 人から 6 年後の 2024 年度には 7,129 人と、約 18%の減少が想定される。
- ・上記のうち 0 歳～5 歳の児童数は 2018 年度の 3,996 人から 2024 年度には 3,333 人と、約 16.6%の減少、6 歳～11 歳の児童数は 2018 年度の 4,693 人から 2024 年度には 3,796 人と、約 19.1%の減少が想定される。

2. 量の見込みの算出方法

人口推計結果及び未就学児童の保護者に対するアンケート調査結果をもとに、各事業における量の見込みの算出を行った。

量の見込み算出の考え方については、内閣府の「市町村子ども・子育て支援事業計画における「量の見込み」の算出等のための手引き」及び「第二期市町村子ども・子育て支援事業計画における「量の見込み」の算出等の考え方」(※)に基づいている。

(※) 内閣府「子ども・子育て本部」

<https://www8.cao.go.jp/shoushi/index.html>

【手順1 現在の家庭類型を算出する】

ニーズ調査結果から、対象となる子どもの父母の有無、就労状況から家庭類型を8タイプに分類する。

家庭類型	父母の有無と就労状況
タイプA	ひとり親
タイプB	フルタイム×フルタイム
タイプC	フルタイム×パートタイム(就労時間：月120時間以上+48~120時間の一部)
タイプC'	フルタイム×パートタイム(就労時間：下限時間未満+48~120時間の一部)
タイプD	専業主婦(夫)
タイプE	パート×パート(就労時間：双方月120時間以上+64~120時間の一部)
タイプE'	パート×パート(就労時間：いずれかが64時間未満+64~120時間の一部)
タイプF	無業×無業

【手順2 潜在的な家庭類型を算出する】

母親の就労状況の変化に着目し、現在パートタイムで就労している方がフルタイム就労する予定があるのか、無業の方がフルタイムまたはパートタイムで就労する予定があるのかといった意向を踏まえ、潜在家庭類型(割合)を算出する。

例1) 現在専業主婦であるが、今後パートタイム就労の意向がある

→ タイプD ⇒ タイプC またはタイプC'

例2) 現在の就労状況はフルタイム(父親)とパートタイム(母親)だが、

今後は両親ともにフルタイムとなる意向がある

→ タイプC またはタイプC' ⇒ タイプB

【手順3 利用意向率や利用意向回数を算出する】

ニーズ調査の結果から、(年齢別)潜在家庭類型別に、各事業の利用意向率や利用意向回数を算出する。

【手順4 量の見込みを算出する】

事業ごとに以下の(ア)～(イ)の計算方法により算出する。

※「家庭類型別児童数」は、「推計児童数(人)」×「潜在家庭類型(割合)」によって求められている。

(ア) 量の見込みを「単位：人」で算出する事業(「教育・保育」など)

「家庭類型別児童数(人) × 「利用意向率(割合)」 = 量の見込み(人)

(イ) 量の見込みを「単位：人日」で算出する事業(「子育て短期支援事業」など)地域子ども・子育て支援事業)

「家庭類型別児童数(人) × 「利用意向率(割合)」 × 「利用意向日数(日)」
= 量の見込み(人日)

※本報告書における「人日」とは、年間で何人が何日利用したいかということを表している。
例えば、1年間で3日利用したい人が10人いれば30人日となる。

(ウ) 量の見込みを「単位：人回」で算出する事業(「地域子育て支援拠点事業」)

※本報告書における「人回」とは、年間で何人が1か月にあたり何回利用したいかということを表している。例えば、1年間で1か月の間に3回利用したい人が10人いれば30人回となる。

3. 量の見込み

◎教育・保育

2020年度	認定区分				計
	1号認定 (認定こども園 及び幼稚園)	2号認定		3号認定 (認定こども園 及び保育所 +地域型保育)	
		幼児期の学校 教育の利用 希望が強いもの	認定こども園 及び保育所		
量の見込み	30人	121人	1,788人	1,610人	3,548人

2021年度	認定区分				計
	1号認定 (認定こども園 及び幼稚園)	2号認定		3号認定 (認定こども園 及び保育所 +地域型保育)	
		幼児期の学校 教育の利用 希望が強いもの	認定こども園 及び保育所		
量の見込み	29人	117人	1,723人	1,583人	3,451人

2022年度	認定区分				計
	1号認定 (認定こども園 及び幼稚園)	2号認定		3号認定 (認定こども園 及び保育所 +地域型保育)	
		幼児期の学校 教育の利用 希望が強いもの	認定こども園 及び保育所		
量の見込み	27人	112人	1,659人	1,536人	3,336人

2023年度	認定区分				計
	1号認定 (認定こども園 及び幼稚園)	2号認定		3号認定 (認定こども園 及び保育所 +地域型保育)	
		幼児期の学校 教育の利用 希望が強いもの	認定こども園 及び保育所		
量の見込み	27人	109人	1,607人	1,490人	3,232人

2024年度	認定区分				計
	1号認定 (認定こども園 及び幼稚園)	2号認定		3号認定 (認定こども園 及び保育所 +地域型保育)	
		幼児期の学校 教育の利用 希望が強いもの	認定こども園 及び保育所		
量の見込み	26人	107人	1,580人	1,444人	3,157人

【認定区分の対象となる潜在家庭類型・対象年齢】

1号認定（認定こども園及び幼稚園）→タイプC'、タイプD、タイプE'、タイプF・3歳以上

2号認定（幼児期の学校教育の利用希望が強いもの）→タイプA、タイプB、タイプC、タイプE・3歳以上

2号認定（認定こども園及び保育所）→タイプA、タイプB、タイプC、タイプE・3歳以上

3号認定（認定こども園及び保育所+地域型保育）→タイプA、タイプB、タイプC、タイプE・0歳、1・2歳

◎地域子ども・子育て支援事業

時間外保育事業

年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
量の見込み	1,797人	1,749人	1,691人	1,638人	1,600人

放課後児童健全育成事業

年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	
量の見込み	低学年	1,262人	1,234人	1,202人	1,162人	1,120人
	高学年	824人	775人	738人	708人	692人

子育て短期支援事業

年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
量の見込み	1,829人	1,779人	1,720人	1,667人	1,627人

地域子育て支援拠点事業

年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
量の見込み	2,325人回	2,286人回	2,218人回	2,151人回	2,085人回

一時預かり事業、トワイライトステイ、ファミリー・サポート・センター事業(病児・緊急対応除く)
・幼稚園における在園児を対象とした一時預かり(預かり保育)

年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
量の見込み	0人日	0人日	0人日	0人日	0人日

・預かり保育以外

年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
量の見込み	31,634人日	30,608人日	29,529人日	28,604人日	28,032人日

病児病後児保育、ファミリー・サポート・センター(病児・病後児)

年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
量の見込み	7,167人日	6,974人日	6,742人日	6,534人日	6,379人日

ファミリー・サポート・センター事業(就学児のみ)

年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	
量の見込み	低学年	0人	0人	0人	0人	0人
	高学年	0人	0人	0人	0人	0人

4. まとめ

- ・「教育・保育」の量の見込みは、2020年度から2024年度にかけて毎年、前年度比96%から98%の間で減少傾向で推移している。人口推計の2020年度から2024年度の推移をみると、こちらも毎年、前年度比96%から98%の間で減少傾向で推移しており、おおむね同様の傾向で推移しているといえる。
- ・「地域子ども・子育て支援事業」の量の見込みは、各事業の2020年度から2024年度にかけての推移をみると、対象人数が0人であった「幼稚園における在園児を対象とした一時預かり（預かり保育）」および「ファミリー・サポート・センター事業（就学児のみ）」をのぞいて毎年、前年度比96%から98%の減少傾向で推移している。こちらも人口推計とおおむね同様の傾向で推移が見込まれる。
- ・推計児童数とニーズ量から算出する充足率について、児童の年齢別と認定種別でみると、0歳家庭の<3号認定>（認定こども園及び保育所＋地域型保育）は92.4%、1・2歳家庭の<3号認定>（認定こども園及び保育所＋地域型保育）は88.7%と9割前後となっている。一方、3歳～就学前家庭では、<1号認定>（認定こども園及び幼稚園）は1.5%、<2号認定>（幼稚園）は6.2%、<2号認定>（認定こども園及び保育所）は91.5%という結果となっている。「平成29年就業構造基本調査」の結果では、育児をしている女性の就業率が山形県は79.0%と全国で4番目に高くなっており、本調査（就学前児童調査）でも、フルタイム、パート・アルバイトを含めて母親が就労している割合は約82%（父親は約93%）と、共働きの世帯が多数を占めていると考えられる。そのため、0歳及び1・2歳の認定こども園及び保育所利用や、3歳以上でも幼稚園よりも保育時間の長い認定こども園及び保育所利用の需要が高いと推測される。

以上